資料編

1　施策評価シート（P1～）

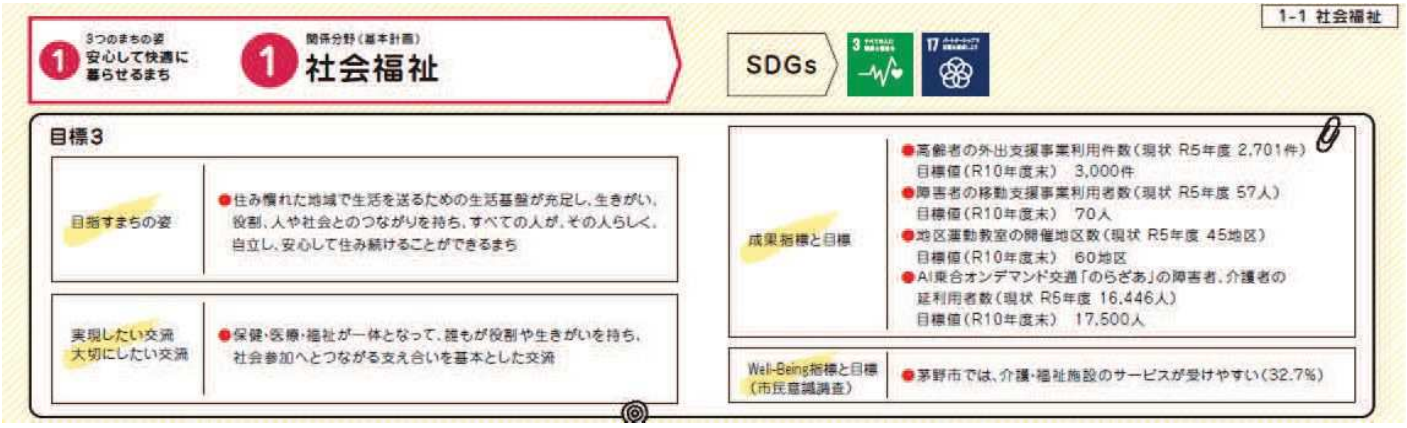
2　総合戦略　令和 7 年度実績一覧（P52～）

3　令和 7 年度分　デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）対象事業の実績等について（P59～）

4　令和 7 年度分　地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の実績等について（P61）

5　令和7年度　市民意識調査結果（P62～）

6　令和7年度　高校生アンケート結果（P83～）



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	地域支援事業による地区運動教室の実施に加え、新たな住民集いの場創出の取組としてDXを活用したオンライン講師によるフレイル予防講座（SSAP+）の地域展開を目指し、いきいき健康ルームと中大塩CCでのトライアルを実施しており、今後は全市的な展開を進めていく。 移動支援の利用により、日常生活の維持及び障害児者の外出や余暇活動への支援の充実が図られているが、移動支援は介護員の付添いで、移動手段が徒歩又は公共交通機関に限られ、余暇活動の幅を広げる上では車両移送による外出支援について検討が必要。就労継続支援事業所への通所補助については、対象がB型に限られ、自立支援の目的にそぐわないことから要綱を見直した。

◆ 成果指標の動向

●高齢者の外出支援事業利用件数（件）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	71	透析、定期受診通院を目的とした利用が大半を占めていたが、自宅前仮想停留所や車いす対応などのらざあの利便性が高まったことにより、のらざあ利用者が増加し、外出支援事業として社協が実施している移送サービス利用者数は減少傾向にある。
実績値	2,701	2,238	2,138						

●障害者の移動支援事業利用者数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		60	65	70	75	75	70	105	余暇活動参加の他、自身の健康維持のための運動（ウォーキング等）や、買い物といった日常生活の維持向上につながる利用を希望しての申請が増加傾向にある。
実績値	57	67	68						

●地区運動教室の開催地区数（地区）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		60	60	60	60	60	60	87	開催地区にとって地区運動教室の実施が、高齢者の通いの場として定着してきている。
実績値	45	51	52						

●AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の障害者、介護者の延利用者人数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	130	自宅前仮想停留所の設置、福祉車両の導入により、障害者、要介護者がのらざあを利用しやすくなり、移送手段の改善・充実が図られている。
実績値	16,446	18,560	22,778						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

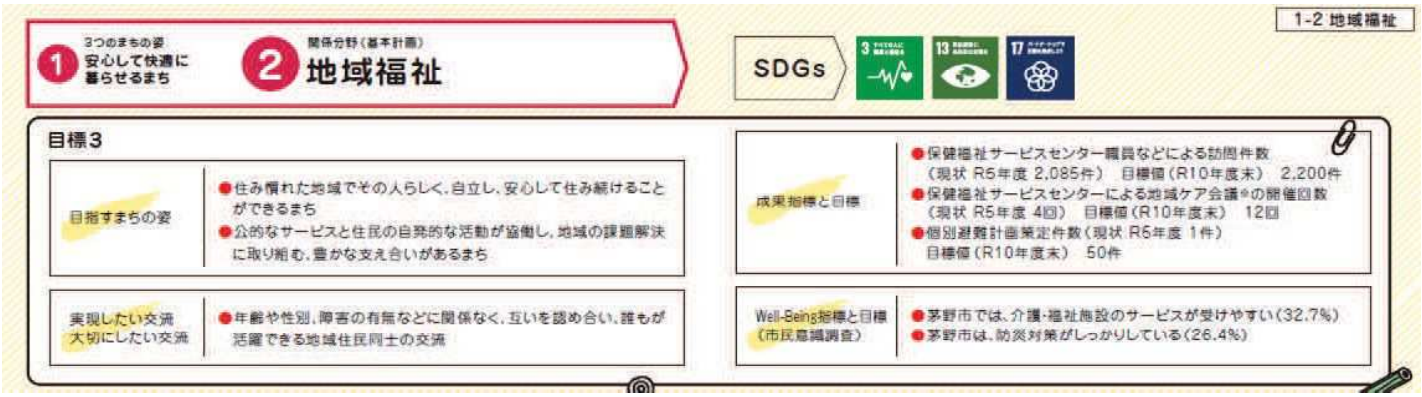
Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	35.0%	32.7%

◆ 各重点施策と成果

生活基盤・セーフティーネットの整備による在宅福祉の推進【高齢者福祉】	（担当課・係名）	保健福祉サービスセンター
主な取組内容と成果	▸福祉21茅野の外出支援ワーキンググループにおいて障害者、要介護者ののらざあ利用について検討し、自宅前仮想停留所の設置について茅野市新地域公共交通検討会議に意見を提出したことで、自宅前仮想停留所の設置、福祉車両の導入などにつなげた。 ▸外出支援事業は社会福祉協議会に委託して継続して実施した。	
課　　題	のらざあ運行エリア外の地域における外出支援を含む地域課題を、地域ケア会議等の開催により検討していく必要がある。	
今後の方向性	既に自宅前仮想停留所は32か所の登録がされており、障害者、要介護者がのらざあを利用しやすくなっていることから、今後も移送手段の充実を図っていく。ただし、のらざあ運行エリア外の地域における外出支援については、引き続き検討していく。	

高齢者の社会参加と福祉的予防の推進【高齢者福祉】	（担当課・係名）	保健福祉サービスセンター
主な取組内容と成果	▸地区運動教室を52ヶ所で開催し、身近な地域での社会参加の場として、介護予防・健康づくり活動につなげている。 ▸生活支援体制整備事業を通じ、生活支援コーディネーター（CSW）と地域住民との連携による身近な地域での集いの場として、新たに「おうちDEサロン」を計画し、18回開催した。 ▸生活支援コーディネーター（CSW）による民生児童委員や地区社協、ボランティア団体等地域住民との関係構築の回数は730回、そのほか、訪問活動等による本人や関係者等との関係構築やニーズの把握をした。 ▸重層的支援体制整備事業を実施し、CSWの訪問（アウトリーチ支援）から重層的支援体制整備事業相談受付に至った人数は14名あった。	
課　　題	▸身近な地域での集いの場の創出は、地域の互助の向上も目的としており、自主運営につながる運営支援が必要。 ▸生活支援体制整備事業により生活支援コーディネーターCSWが把握したニーズに対し、地域課題として検討する機会が必要。 ▸山間地域等の介護サービスが届き難い地域のサービス提供体制。 ▸認知症高齢者のピアサポートにつながる取組みが不足している。	
今後の方向性	▸生活支援体制整備事業を通じ把握したニーズに対し、生活支援コーディネーター（CSW）が関係を構築した関係者等の参画・協力により支援体制を構築していく。 ▸介護サービスを中心としたサービス提供体制から、健診受診、フレイル予防の取組みにより、要介護状態に至るまでの期間の延伸につなげていく。 ▸市内関係機関と連携したオレンジカフェの拡充。	

地域を基盤とした自立生活の支援【障害者福祉】	（担当課・係名）	社会福祉課 障害福祉課係
主な取組内容と成果	▸高校（支援学校高等部）卒業前に、各種相談窓口等の情報が得られるよう、学校側への情報提供、アプローチについて、第4次障害者保健福祉計画推進ネットワーク会議で検討を開始した。 ▸障害者の外出時の移動手段としては、ルートが決まっている就労継続支援事業所への通所や受診等には、AIオンデマンド交通「のらざあ」を利用し、介助者の同伴・付添いが必要な余暇等の外出には、地域生活支援事業（障害者移動移送支援事業の移動支援）の利用と、外出の目的や利用者の状態に合わせた移動手段の選択ができるようになった。 ▸就労支援の強化に向けては、就労継続支援A型等の障害者就労支援施設の利用のみでなく、「諏訪圏域障がい者就業・生活支援センターすわーくらいふ」や、「茅野市生活就労支援センターまいさぽ茅野市」の就労支援員など、対象者の状態に合わせた、多様な就労支援につなげている。	
課　　題	▸高校（支援学校高等部）卒業後の「狭間」だけでなく、一般就労を退職して次（相談等）につながるまで等、様々な情報や制度の「狭間」があり、求められる支援も多岐に渡る。 ▸障害者の特性に応じた就労状況の把握だけでなく、就労先の合理的配慮の理解度や、特性に応じた対応力を底上げする企業等への支援が充実しなければ、就労支援の強化は難しい。	
今後の方向性	▸第4次障害者保健福祉計画推進ネットワーク会議を通して、「年齢の狭間」、「一般就労と福祉的就労の狭間」等に関する課題と必要な支援を明確にしていく。 ▸合理的配慮や特性に応じた対応について、企業等への周知及び研修等の機会について検討。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	令和7年度から、複雑化、複合化した地域住民の課題に対応するため、「断らない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を、従来の機能を活用しながら一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」を開始しており、保健福祉サービスセンターでは、多機関の協働による支援体制の強化を図っている。

◆ 成果指標の動向

●保健福祉サービスセンター職員などによる訪問件数（件）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	107	保健福祉サービスセンターの職員の意識として、なるべく外に出て実際の相談者の生活実態等を把握するために積極的に訪問をしていくという意識が高まってきていると感じる。
実績値	2,085	2,188	2,343						

●保健福祉サービスセンターによる地域ケア会議の開催回数（回）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		12	12	12	12	12	12	100	重層的支援体制整備事業の実施により重層的支援会議の開催が各保健福祉サービスセンターで浸透してきている。
実績値	4	8	12						

●個別避難計画策定件数（件）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		10	15	20	30	40	50	213	それぞれの保健福祉サービスセンターで少しずつではあるが着実に件数を伸ばしている。
実績値	1	18	32						

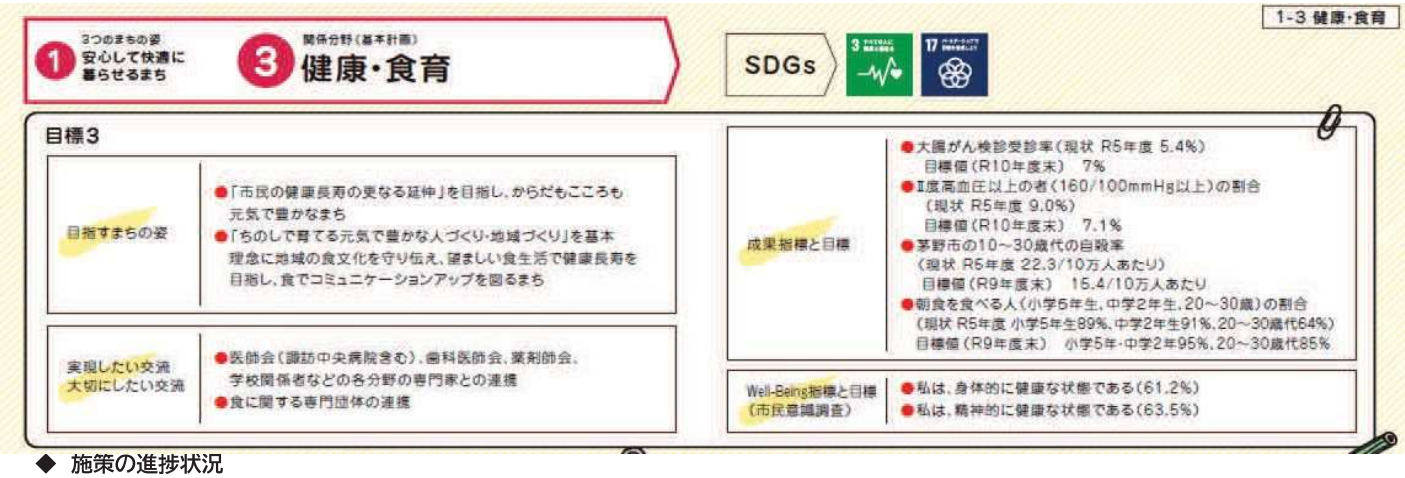
◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	35.0%	32.7%
茅野市は、防災対策がしっかりしている	36.1%	26.4%

◆ 各重点施策と成果

日常生活支援の充実・地域の支え合いの促進	（担当課・係名）	保健福祉サービスセンター・全係
主な取組内容と成果	令和7年度から開始した重層的支援体制整備事業により、相談支援体制強化のための新たな庁内情報共有ツールの運用を実施し、庁内関係部署や社協との連携強化に取り組み、成果指標として掲げた目標をひと通り達成することができた。	
課　　題	相談件数の実績値が減少しているが、相談内容は年々複雑化複合化しており、1件あたりに多大な時間を要する解決困難な事例は減っていない状況である。	
今後の方向性	超高齢化・人口減少社会に向けて、職員の業務効率化に取り組むとともに今後の保健福祉サービスセンターのあり方についても検討していく必要がある。	

災害時の対応の拡充	（担当課・係名）	保健福祉サービスセンター・福祉21推進係
主な取組内容と成果	令和7年度は新規に14件の個別避難計画を作成した。個別避難計画は一人ひとりに対し、身体状況等具体的なヒアリング、支援者の確保と同意、多職種多機関との連携、実効性の検証等を行いながら作成する必要があり、1件あたりに多大な時間をかけながらも着実に作成を進めている。	
課　　題	避難行動要支援者名簿に記載されている人の中から、個別避難計画を作成すべき人をハザードマップ上の居住地を加味した上で優先的に選別し、個別避難計画作成の加速化を進める必要がある。	
今後の方向性	個別避難計画の作成には、区・自治会の協力が不可欠であるが、ある程度行政主導で進めなければ加速化が図れないこともあり、個別避難計画作成の効率化の視点から、システム化を検討していく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	大腸がん検診受診率については、令和7年度時点で令和10年度末の目標値を達成している。諏訪中央病院と連携し、がん検診の早期受診の重要性を市民に伝え、更なる受診率の向上を図っていきたいと考える。 特定健診の受診率は増加傾向にある一方、高血圧の問題が解決していない。また、若い世代で肥満が増加していることなど、課題が多い状況となっている。引き続き、生活習慣病予防のポピュレーションアプローチに取り組んで行く。 食習慣の乱れは、生活習慣病につながってしまうため、朝食を食べて生活リズムを整えることは重要となってくる。また、年代によって食習慣の問題が違うため、ライフステージごとアプローチする必要がある。

◆ 成果指標の動向

●大腸がん検診受診率（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		5.7	6.0	6.4	6.7	7.0	7.0	117	主に諏訪中央病院との連携による各種取組により受診者数が増加している。
実績値	5.4	6.6	7.0						

●Ⅱ度高血圧以上の者（160/100mmHg以上）の割合（%）　※減少目標　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		8.6	8.2	7.8	7.4	7.1	7.1	91	特定健診受診率の増加に伴い、未検診者で血圧数値の悪い方も受けたため横ばいとなった。早期発見には寄与している。
実績値	9.0	8.9	9.0						

●茅野市の10～30歳代の自殺率（10万人あたり）　※減少目標　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		20.5	19.2	17.9	16.6	15.4	15.4（R9年度）	103	関係団体と連携し、自殺防止対策を継続して実施したことによる。
実績値	22.3	21.2	18.7						

●朝食を食べる人（小学5年生、中学2年生、20～30歳）の割合　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		90	91	92	93	95	小5…95 中2…95 20～30歳…85 （R9年度）	101	継続して実施している小中学校における食育の取組や市民全体に対するポピュレーションアプローチにより、朝食を食べる大切さが少しずつ浸透して増加した。
実績値	小5…89 中2…91 20～30歳…64	小5…90	92						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
私は、身体的に健康な状態である	58.8%	61.2%
私は、精神的に健康な状態である	67.4%	63.5%

◆ 各重点施策と成果

がん検診の受診率向上、生活習慣病の重症化予防【からだの健康】	（担当課・係名）	健康づくり推進課 健康総務係、健康推進係
主な取組内容と成果	がん検診の受診率向上において、特に大腸がん検診について取り組みを進めている。主な取組みとしては、諏訪中央病院と連携し、医師が地域等へ出向く出張講座や病院祭、健康フェスタでがん検診に関するブースを設置し受診勧奨を行った。また、11月～1月にかけて、追加検診を実施し、受診機会の拡大を図った。受診者数が前年度比で約300人増加した。特定健診の受診率向上の取組として、医療機関と連携しみなし健診の拡充、ハイリスク者への訪問を実施している。高血圧の資料を作成し、ポピュレーションアプローチを実施。広報誌に高血圧情報を掲載した。高血圧管理台帳、糖尿病管理台帳を作成し未治療者、治療中断者への保健指導を行っている。		
課　　題	大腸がん検診受診者数は増加しているが、リピーター数が横ばいであるため、継続した受診の必要性を多くの方に知っていただく必要がある。また、胃がんや肺がんなど受診率が増えていないことも課題である。 特定健診受診率は上がってきているが、高血圧Ⅱ度以上の割合は減少していない。重症化予防のためにも効果的な保健指導やポピュレーションアプローチが必要である。		
今後の方向性	メディアと自治体が協力して受診率向上を目指す「希望の虹プロジェクト」へ参加し周知を図っていく。また、医師による講演や冬季の検診追加も継続実施していく。 生活習慣病重症化予防の視点からも連続未受診者への受診勧奨、病院定期受診者の受診勧奨により一層力を入れて、受診率向上に努める。広報、ライン等を活用し正しい高血圧情報の配信に努める。効果的な保健指導ができるようスタッフの力量形成に努める。		

「生きる」自殺対策の取組の推進【こころの健康】	（担当課・係名）	健康づくり推進課・健康総務係
主な取組内容と成果	臨床心理士による対面型相談と市内の企業でのメンタルヘルス講座を実施。また、茅野市職員（令和7年度は係長職）を対象に自殺対策庁内連携会議を行い、事例検討を通じてゲートキーパーの役割等について共有する機会を設けた。		
課　　題	男性の自殺者数が増加している。また、被雇用、勤め人の自殺割合が高い傾向にある。自殺者の原因、動機として、健康問題が最も多く、経済・生活問題、勤務問題、家庭問題も多い。		
今後の方向性	自殺者数の更なる減少を目指して、庁内外の各種団体と連携し対策の強化に努めていく。また、特に被雇用、勤め人の自殺者数を増やさないためにも、臨床心理士によるメンタルヘルスを継続していく。		

健康寿命を目指す望ましい食生活の実践	（担当課・係名）	健康づくり推進課・健康推進係
主な取組内容と成果	広報で給食レシピの紹介、ビーナネットで動画を配信し、多くの市民に見てもらうことができた。 幼少期からの食習慣が大切なので、乳幼児健診等で保護者へ望ましい食生活について啓発している。 減塩商品のPR（高血圧対策） 健康づくりポイント事業の協賛店を追加（1食で野菜が120g以上のメニュー）		
課　　題	食習慣の乱れは、生活習慣病につながってしまうため、すべての年代で、生活習慣病予防のための食生活を実践する必要がある。 年代によって食習慣の問題が違うため、ライフステージごとアプローチする必要がある。 食の大切さを情報発信する方法を考える必要がある。		
今後の方向性	広報やホームページ等を活用し、生活習慣病の予防や、重症化予防のための、望ましい食生活の具体的な方法を伝えていく。 一人暮らしの方が増えている状況もあり、手作り料理でなくてもバランスのとれた食を選択するための支援をしていく。 乳幼児健診等で保護者の方へ望ましい食生活について伝えていく。		



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	医療機関数については、新たに開院した病院もあるが、閉院した病院もあるので総数に大きな変動はない。 小児オンライン相談サービスの登録者数や相談件数も増加しており、徐々にではあるが浸透してきていると考える。 引き続き、目標値を上回るように努めたい。

◆ 成果指標の動向

●茅野市は、医療機関が充実している							単年目標	
	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		51.6	51.6	51.6	51.6	51.6	51.6	111	医療機関数については大きな変動はなく、医療機関を受診できる環境は比較的整っていることから。
実績値	51.6	52.9	57.4						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、医療機関が充実している	57.4%	51.6%

◆ 各重点施策と成果

医療提供体制の充実	（担当課・係名）	健康づくり推進課・健康総務係保険課・国保年金係
主な取組内容と成果	▸小児オンライン相談サービスの周知として、乳幼児健診や乳幼児訪問の際、案内チラシを配布。登録者数は前年度から1,022人増加した（前年比約172%増）。また、相談件数としては、月平均46.5件の相談があった。 ▸令和7年度に予算化した、諏訪中央病院組合に係る運営費等の繰出金の他に、当該組合経費に影響した物価高及び人件費高騰を抑制する目的で、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、負担金を追加投入した。	
課　　題	▸小児オンライン相談サービスの認知度を更に高め、浸透させる必要がある。 登録はしたものの、実際に「どのような症状で相談すべきか」を迷い、利用に至らない層も存在するのではないかと推測する。 ▸人口減少に加え、診療報酬の伸びが物価高や人件費の高騰に追いつかない状況が今後も見込まれる中、病院自体の収益力には限界があることから、医療体制の維持継続については深刻な状況が続く。このため、今後も、運営費にかかる構成3市村の負担金は増加の一途を辿ると予測している。	
今後の方向性	▸医療機関への受診を迷う場合の相談先の一つとして活用していただけるようチラシ配布の他、デジタル媒体等も活用し更なる周知を図っていく。 特に感染症流行期や医療機関が休みとなるお盆や年末年始等の前にお知らせすることも有効であると考えている。 ▸国・長野県の策定する新たな地域医療構想を踏まえ、構成市村とともに地域医療体制構築のための検討の場を設け、諏訪中央病院の役割と機能について将来の在り方を検討する。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
C	環境に関連する指標は環境に関連する法令、及び携わる市民や地域の状況に大きく左右されるので、慎重な進め方が求められます。進捗状況が低い状況ではありますが、市民の理解を第一に考え、目標達成に向けて施策を進めていきたいと考えます。

◆ 成果指標の動向

●支援団体による森林整備の実施面積（㎡）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000	29	信州の森作り事業補助金に関連して、令和6年度に地域振興局の林務課の確認が行われた際、森林が大きく育っており、主伐（皆伐）の時期が来ていると判断され、間伐補助金の申請が困難になっています。支援団体では間伐を中心とした森林整備を行っているので、主伐は行いません。散策路に関する危険木処理を行う面積にとどまっているため、整備面積の大きな増加が見込めない状況です。
実績値	なし	2,900	4,275						

●営農型太陽光発電、小水力など新たな手法による再エネ推進（kw）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		5,610	5,610	5,610	5,610	5,610	28,050	0	営農型太陽光発電や小水力などの新たな手法による再エネは、導入が難しく調査研究に時間を掛けているところです。
実績値	なし	6	0						

●可燃ごみ量　平成17年度比削減率（%）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		22.8	23.7	25.7	26.1	30.0	30.0	103	人口減少の影響もあり、排出される可燃ごみの総量については、概ね計画通りに減少が進んでいる。
実績値	22.6	21.8	22.9						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、身近に自然を感じることができる	91.4%	93.7%
茅野市の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる	93.6%	89.5%
自宅の近辺では、騒音に悩まされている	11.0%	11.4%
茅野市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	55.8%	48.9%

◆ 各重点施策と成果

良好な自然環境の確保（環境保全）	（担当課・係名）	環境課　環境保全係
主な取組内容と成果	市民参加による山岳の美化活動、里山の森林保全、里地の外来種駆除など継続的に取り組みを行った。 地域の景観保全等のために条例を改正し、野立て太陽光発電設備の設置を抑制している。 市民の森及び永明寺山を活用した森林体験を行っている。参加者は年々増加しており、参加意欲が向上している。 特に永明寺山では学校との連携を行っており、里山における作業体験や環境学習が定着している。	
課　　題	各団体の会員の高齢化や担い手不足等が深刻化している。 会の中心となっている方が固定化されており、会と一緒に年を重ねてしまっている状況。 活動団体を長期的に維持するには担い手の新規参入が欠かせない。	
今後の方向性	主催する団体の会員が参加者と共に楽しめるような内容を検討し、継続的な情報発信に取り組むことで、環境への意識向上を狙い、イベントを活性化することが各会の会員増加等に繋がるよう進めていく。 また、里山に関する各団体については、既存の事業について連携の可能性を模索していく。	

低炭素型まちづくりの推進（ゼロカーボン推進）	（担当課・係名）	ZC推進室　ZC推進係
主な取組内容と成果	2025年ゼロカーボンは国が国際的にコミットしていることであり、それぞれの基礎自治体が取り組まなければならないものである。しかし脱炭素は一朝一夕で成し得るものでは無いため、地道な取り組みが必要である。今は新たな手法の再エネ方法について調査研究を行っている。	
課　　題	寒冷地である茅野市では温暖化に対する危機感が乏しい。環境学習を通して機運の醸成を図る。 脱炭素インフラ整備には多額の費用が掛かるため、民間や国の補助金を活用する。 民間の環境団体と協力し、さらに八ヶ岳西麓の三市町で事業を行なう。	
今後の方向性	「茅野市ゼロカーボン戦略」に掲げられた項目を実践していく。 屋根載せ太陽光の普及 EV 自動車の普及と充電機の整備 ソーラーシェアリング、PPA の実践 現在出来ることから着手し、水素や新しいエネルギーについてもアンテナを高くし取り組んで行く。 市民のゼロカーボン推進に対する意識向上の醸成に取り組む。	

安全な生活環境の確保（公害衛生）	（担当課・係名）	環境課　公害衛生係
主な取組内容と成果	軽微な公害苦情等については、即時解決させ、長引きそうなものについても、年度内解決を目標に取り組んでいる。	
課　　題	人口減少による空き家や空き地などの所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。また、居住地と農地との混在による野焼きなどに対しての苦情も多い。 騒音、大気汚染については、法的な規制はクリアしているが、市民感情で苦情を相談されるケースがほとんどである。	
今後の方向性	近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分を聞きつつ、実際に状況確認を行い、公平性のある対応にあたる。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。 苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期解決を図っていく。	

循環型社会の形成（一般廃棄物処理）	（担当課・係名）	美サイクルセンター　業務係
主な取組内容と成果	・環境自治会連合会や美サイクル茅野と連携した廃棄物の適正排出への啓発活動や市内美化活動を実施し、分別への意識啓発を推進した。 ・不燃物処理場廃止後の事後処理として、土壌入替を実施し、敷地内の土壌の浄化を図った。 ・生ごみ処理機への補助金交付事業の実施により、生ごみの搬入量の削減を図った。 ・分別アプリの利用促進により、適正な分別に関する周知を行った。	
課　　題	廃棄物の減量について、分別の意識定着もあり、ある程度は進んできた（直近10年間で約10%の削減）が、持ち込まれる可燃ごみの内訳をみると、本来は資源ごみであるはずの紙類が3割、プラ類が2割含まれるなど、まだごみ減量の余地は十分にあると感じる。	
今後の方向性	更なるごみ減量のための施策として、家庭系ごみの有料化について検討をするため審議会を組織し、導入の可能性や制度設計について具体的な検討を行っていく。導入の方向で進められた場合、ごみの排出に対する経済的な負担をごみ減量の意識に繋げていきたい。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	茅野市環境審議会
主な意見	環境問題に対する意識が社会の中で高まっている。市民から広く意見を求め、環境の保全、及び再生可能エネルギーの有効性が高まる茅野市を目指してください。
市の考えや対応など	茅野市環境基本計画の目標値達成を目指し、環境に係る市民の幸福度・生活満足度が高まる様な施策の推進に努めます。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
C	・橋梁長寿命化計画に基づくレベルⅢ判定の橋梁の修については、計画どおりに進捗している。今後も計画的に対策を進めるとともに、定期点検により新たにレベルⅢ判定となる橋梁との優先順位を精査しながら、必要に応じて計画の見直しを行っていく。 ・河川自然災害防止事業に基づく河川の改修については、関係機関との協議に時間を要していることから、現時点で事業着手に至っていない状況である。今後は、進捗状況を踏まえ計画内容の見直しを行いながら、早期の事業着手に向けて取り組んでいく。

◆ 成果指標の動向

●レベルⅢ判定の橋梁数（橋） ※減少目標　　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		16	11	9	6	5	5	100	・変動なし。
実績値	18	16	11						

●改修河川数（5年間累計）（河川）　　累計目標

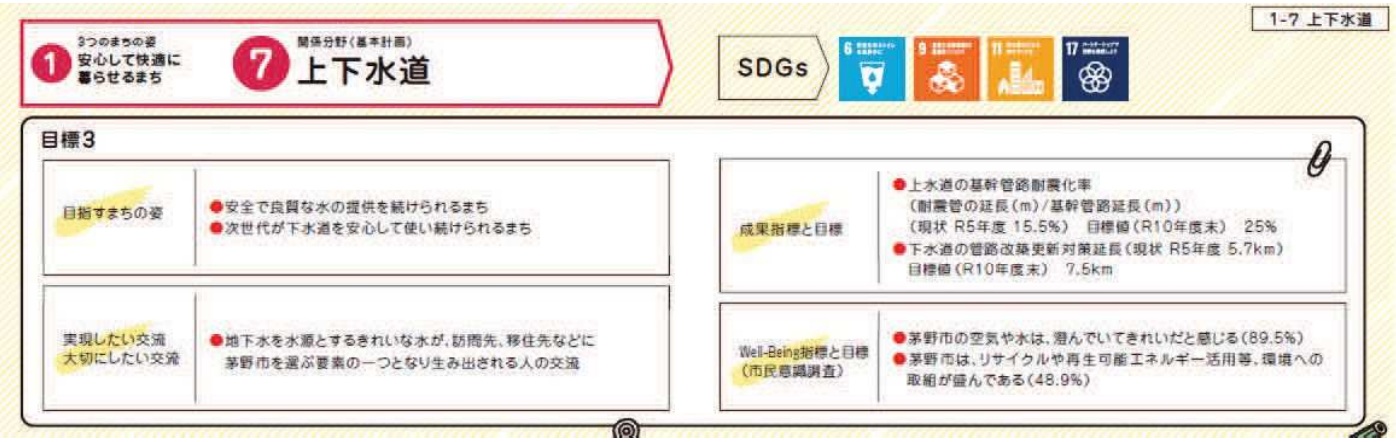
	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		0	1	1	1	1	4	0	・関係機関との協議に時間を要し、事業着手できていないため。
実績値	0	0	0						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市（行政）は、地域のことを真剣に考えていると思う	28.7%	29.0%
茅野市は、防災対策がしっかりしている	36.1%	26.4%

◆ 各重点施策と成果

安全・快適な道路・河川の構築（管理対策）	（担当課・係名）	建設課建設係
主な取組内容と成果	・道路橋メンテナンス事業において、レベルⅢ判定を受けた5橋の補修工事を実施した。このことにより、橋梁の安全性の向上が図られ、安全・安心なインフラ施設の提供につながった。 （跨線橋、4-949号一の橋、4-1151号二の橋、槻木下大橋、大沢大橋） ・河川自然災害防止事業については、関係機関と協議に時間を要したことから、事業着手ができていない。	
課　　題	・当市の管理する橋梁数は、486橋と非常に多く、今後、老朽化が進行に伴い維持管理・更新に係る事業費の増大が見込まれている。このため、橋梁長寿命化計画を策定し、計画的な修繕による事業費の平準化に取り組んでいる。しかしながら、近年の物価高騰や労務単価の上昇により、事業費は増加傾向にある。 ・河川自然災害防止事業については、関係機関と協議に時間を要していることから、現時点において事業着手に至っていない。	
今後の方向性	・道路橋メンテナンス事業費の抑制を図るため、既設橋のラインニングコスト、安全性および利用状況を踏まえながら、橋梁の撤去、集約化および更新について詳細な検証を進めていく。 ・河川自然災害防止事業については、関係機関との協議が円滑に進むよう調整・働きかけに努めるとともに、事業の遅れを取り戻すため、適宜事業計画の見直しを行いながら、早期着手に向けて取り組んでいく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	・「水道・下水道事業の健全化経営の維持」について、下水道事業の使用料改定に向けて審議会に諮問するための準備が整った。 ・「災害に強く強靭でしなやかな水道」について、成果指標の上水道の基幹管路耐震化率は、目標値を若干下回っているが概ね計画的に進めることができた。基幹管路以外についても、老朽化した御狩野配水池の更新に着手した。自然災害時における給水活動体制の確保については、引続き体制確立に向けて取り組んでいく必要がある。 ・「快適な暮らしを実現、持続する下水道」について、成果指標の下水道の管路改築更新対策延長は、目標値を上回るペースで実施できている。引き続き改築更新を進める上で、交付金を活用するために水の官民連携（ウォーターPPP）の導入に向けて取り組んでいる。未接続家屋対策については、引続き取り組んでいく必要がある。雨天時浸入水対策については、計画を策定したことから、今後は計画に基づき対策を実施していく必要がある。

◆ 成果指標の動向

●上水道の基幹管路耐震化率（耐震管の延長（m）/基幹管路延長（m））（%）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		17.0	18.6	20.2	21.8	23.4	25.0	92	漏水が発生する老朽管路の更新も同時に図る必要があり、緊急性を考慮しながら優先順位を決めて実施した。
実績値	15.5	16.0	17.2						

●下水道の管路改築更新対策延長（km）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		6.0	6.3	6.6	6.9	7.2	7.5	114	交付金については補正予算の追加要望を行い進捗の前倒しを図った。また、枝線である住宅地の管きょについても老朽化対策工事を実施した。
実績値	5.7	6.3	7.2						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

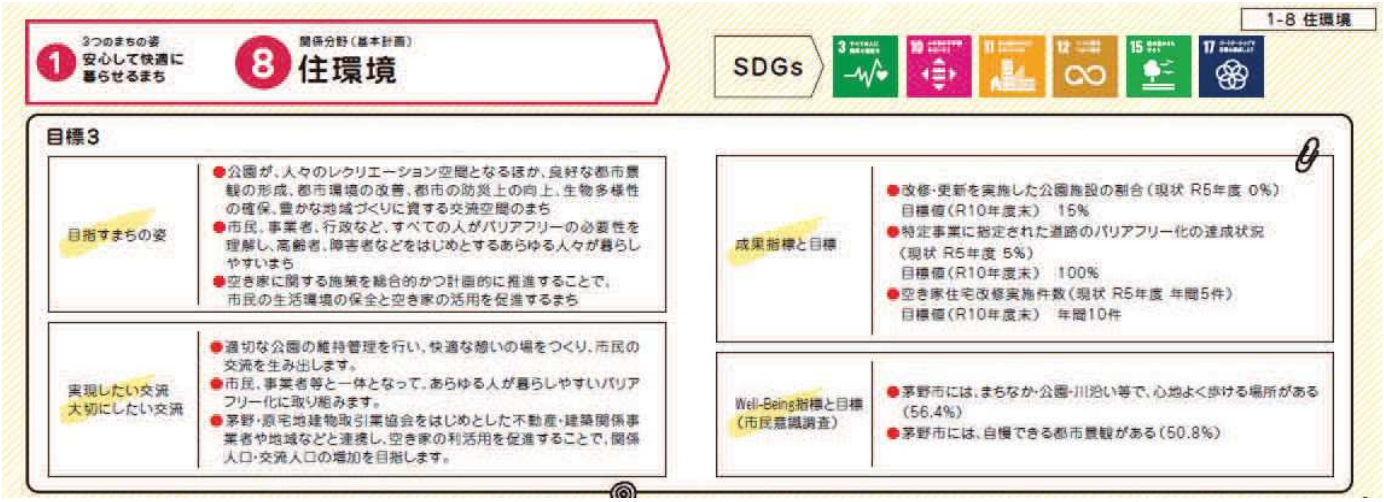
Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる	93.6%	89.5%
茅野市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	55.8%	48.9%

◆ 各重点施策と成果

水道・下水道事業の健全な経営の維持	（担当課・係名）	上下水道課庶務経営係
主な取組内容と成果	財政推計の結果、上水道事業は令和11年度から、下水道事業は令和9年度から赤字になる見込みとなった。上水道事業はまだ若干の余裕があることからここでの改定は見送るが、下水道事業は使用料改定が避けられないことから、令和9年4月の改定に向けて準備を進めた。上下水道事業運営審議会を立ち上げ、使用料改定を審議してもらう環境を整え、審議会にかける使用料改定案及び資料の作成をした。	
課　　題	上水道、下水道ともに使用料金を改定しないと施設の管理・更新ができず、生活インフラを維持していくことができなくなってしまうため、改定が必要である。一方、改定すると市民生活や企業活動に大きな影響が出ることになる。上水道・下水道事業の置かれている状況と、使用料金改定の必要性について理解してもらうことが、一番の課題となる。	
今後の方向性	下水道使用料については、令和8年4月に審議会に諮問をした。令和8年7月を目途に答申を得て、令和8年9月定例会に使用料改定の条例改正案を上程し、令和9年4月をもって改定する予定。 上水道料金については、令和8年・令和9年でアセットマネジメントと基本計画の見直しを実施する。その結果を踏まえて令和10年度に改定の検討をし、必要なら最短で令和11年度に改定をする。	

災害に強く強靭でしなやかな水道	（担当課・係名）	上下水道課上水道整備係
主な取組内容と成果	北大塩中区配水池と埴原田配水池を結ぶ管路の更新事業がR7で完了した。また、横河川を横断する水管橋についても、県道橋の新設に伴い添加する形での更新を行い耐震性も向上された。これにより、中区配水池から埴原田配水池への総水量は20t/h増量した。防災拠点配水管整備として中央病院・運動公園までの管路耐震化も図っている。R7は粟沢区内の管路の耐震化と中央病院への専用管設置を行いR8も継続する。	
課　　題	資材費の高騰、材料不足が深刻化しており、費用の増大が見込まれる。また、基幹管路の耐震化の実施箇所が市街地へと移動してきたことから、交通など住民への配慮が必要となり、今後の計画に影響が生じることが懸念される。	
今後の方向性	中央病院への専用管の設置、防災拠点である運動公園まではR11で、また、埴原田配水区域の市役所及び永明小中学校への耐震化についてはR12までに完了させたい。	

快適な暮らしを実現、持続する下水道	（担当課・係名）	上下水道課下水道整備係
主な取組内容と成果	①未接続家屋について、接続状況の再調査を実施した。未接続家屋については接続の啓発を継続して行っているが、未接続家屋の正確な管理を行うため全体確認を行った。 ②ストックマネジメント計画に基づき改築工事を実施した。交付金については低内示であったが、追加要望を実施し工事の進捗を図った。 ③雨天時浸入水対策計画を策定。今後対策を進めるうえでの方向性を示すことが出来た。	
課　　題	①未接続家屋の原因としては、年齢や経済的理由によるものが多いため、根本的な原因が解決しない限り未接続の解消は困難である。 ②改築工事の優先度が高い現在の工事箇所は、汚水量が多く管径が大きいため工事費が高くなり、小口径の汚水管に比べて整備延長が伸びない。また、交付金が要望額に対して低内示であるため計画的な工事が困難である。 ③雨天時浸入水については公共下水道からの浸入の他、排水設備の破損、雨樋のご接続等様々な原因が考えられるため優先順位をつける中での対策が求められる。	
今後の方向性	①未接続家屋については、問題解決に向けて有効な手段についての検討及び情報収集を行う中で今後も未接続家屋について啓発を実施する。 ②交付金については、引き続き国の補正予算の動向を見ながら追加要望をして計画的な改築工事を目指す。また、ウォーターPPPの導入が改築工事関わる国費要件となることから、その導入に向けた取り組みを引き続き実施する。 ③策定した計画を基に詳細調査を実施。公共下水道については下水道施設の改築・修繕に併せた対策を行い、排水設備については原因の特定を行った後、原因者に対して改修を働きかける。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
C	公園施設の更新や道路のバリアフリー化など、安全・安心な生活環境の整備が着実に進んでいる。一方で、公園施設の更新需要の集中や、国・県事業の進捗に左右される道路整備、空き家所有者ニーズの多様化など、課題も見られる。今後は、計画的な施設更新や関係機関との連携強化に加え、地域との連携による空き家対策の充実を図り、持続可能な住環境づくりを進めていく必要がある。

◆ 成果指標の動向

●改修・更新を実施した公園施設の割合（%）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		1.0	5.0	10.0	12.0	15.0	15.0	98	令和7年度より国庫補助金事業を活用し、公園施設（複合遊具、転落防護柵、照明灯）の更新などが実施された。
実績値	0.0	0.8	4.9						

●特定事業に指定された道路等のバリアフリー化の達成状況（%）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		30.0	30.0	40.0	60.0	90.0	100	70	・国・県の事業の進捗状況によって、実績値は大きく左右される。 ・R8に駅前から市役所までの無電柱化事業1工区が終了予定。 ・市役所西から市役所東までの無電柱化事業2工区は、R8から詳細設計を実施予定。 ・国道20号の拡幅事業は、用地交渉中。
実績値	5.0	13.0	21.0						

●空き家住宅改修実施件数（件）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		10	10	10	10	10	10	40	改修補助については、昨年度と比較して割合が減少しているが、空き家の利活用だけでなく、相続後の家財整理や老朽化した空き家の解体など、所有者が抱える課題が多様化しており、家財処分や解体補助の活用が増加している。併せて、不安定な国際情勢により資材費が高騰していることも影響していると思われる。
実績値	5	10	4						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には、まちなか・公園・川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	56.7%	56.4%
茅野市には、自慢できる都市景観がある	52.4%	50.8%

◆ 各重点施策と成果

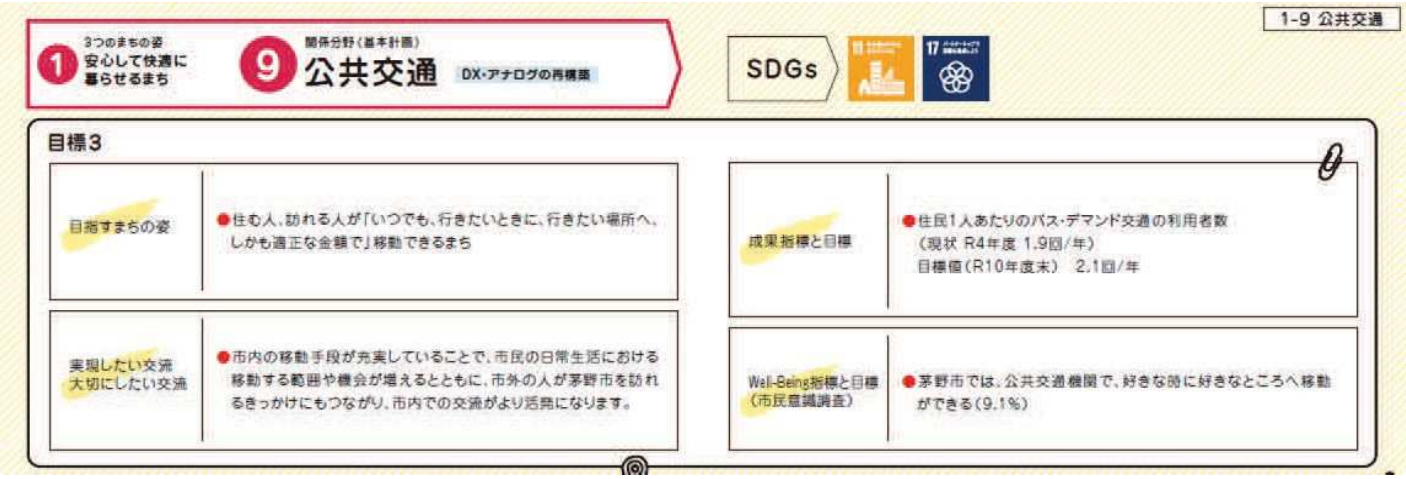
公園の安全・安心の確保	（担当課・係名）	都市計画課・公園景観係
主な取組内容と成果	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した複合遊具及び転落防護柵の更新（弓振公園）・転落防護柵及び照明灯の更新（永明寺山）・フェンス修繕（花畤公園）を実施しました。計画的に公園施設の更新・修繕により、公園利用者の安全・安心の確保をするとともに、事後保全から予防保全への転換による将来的な維持管理コストの縮減や施設の長寿命化を図りました。	
課　　題	長寿命化計画に策定されていない、街区公園の施設についても計画的に修繕・更新・撤去などの対策が必要。また、植栽された樹木が大きくなり、倒木の危険性や周辺環境への影響が増大している。	
今後の方向性	公園施設長寿命化計画の対象としていない、街区公園等について、ライフサイクルコストの縮減、予算の平準化を図るため、街区公園等施設の修繕・更新計画を作成していく。併せて公園の樹木診断も計画していく。	

バリアフリー化の推進	（担当課・係名）	建設企画課・建設企画係
主な取組内容と成果	重点整備地区内において基準に適合した道路の拡幅整備など、バリアフリー化された道路のネットワーク形成を進める。 県事業で茅野停車場八子ヶ峰公園線（駅前）の無電柱化を進めている。	
課　　題	国・県の事業の進捗状況によって、大きく左右される。	
今後の方向性	工事着手までは、成果や影響が形となって見えにくいが、引き続き国・県への協力、調整を図る。	

空き家の増加抑制と活用の促進	（担当課・係名）	都市計画課・住宅係
主な取組内容と成果	空き家対策については、空き家の利活用促進及び管理不全空き家の発生抑制を目的として、主に「空き家バンクの運営」、「空き家対策促進事業補助金」、「空き家相談会」の3つの取組を実施した。空き家バンクについては、これまで市場に出ていなかった空き家について、利活用に向けた相談や登録につながるケースが見られたほか、移住希望者等からの問い合わせもあり、移住・定住施策の受け皿としての役割も果たした。次に、空き家対策促進事業補助金については、空き家の利活用や適正管理、危険空き家化の防止につながった。また、空き家相談会については、所有者の不安軽減や課題整理につながり、空き家利活用に向けた第一歩を後押しする機会となった。	
課　　題	空き家を求める移住希望者等のニーズは高い一方で、実際に流通可能な空き家は限られており、需要と供給のミスマッチが生じている。市が実施する調査だけでは、地域内に存在する空き家の実態把握に限界があり、市場に出ていない潜在的な空き家の掘り起こしが課題となっている。利活用が難しい老朽空き家については、改修・解体費用の負担が大きく、所有者による対応が進みにくいことから、管理不全空き家化を未然に防ぐ取組が必要となっている。	
今後の方向性	空き家バンクや補助制度、相談会等の既存施策を継続するとともに、これまで市場に流通していない潜在的な空き家へのアプローチを強化し、空き家の掘り起こしに取り組んでいく。特に、地域内の情報やつながりを活かした取組が重要であることから、区・自治会・コミュニティセンター等と連携しながら、地域に過度な負担をかけない形で空き家情報の把握や相談体制の構築を進めていく。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	茅野市空家等対策協議会
主な意見	①地域の力で空き家対策に取り組むなどの動きに発展するよう、空き家相談会で定期的に実施しているミニセミナー等を地域における会議やイベントにおいて開催することを要望する。 ②空き家バンクのマッチング機会を増やすため、諏訪地方の広域連携について研究していただきたい。
市の考えや対応など	①地域おこし協力隊制度を活用し、地区・行政区・自治会との関係構築を図り、地域内の空き家情報の把握に努め、出張相談会や空き家ツアーの開催につなげたい。 ②長野県が主導する諏訪地域連絡会を活用し、各市町村の取り組み状況や課題を共有しながら、広域化の可能性について研究をしていきたい。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	・令和6年度に茅野市公共交通ローリングプランを策定し、このプランに基づき取組を進めている。 ・成果指標については、令和10年度末の目標値のみ定めているが、すでに目標値はクリアできている。 ・おおむね計画どおりに事業に取り組めているが、通学・通勤バスについては運行事業者のうち1社から令和8年度末で撤退したい旨の意向が示され、運行体制を抜本的に見直さざるを得ない状況である。

◆ 成果指標の動向

●住民1人あたりのバス・デマンド交通の利用回数　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	138	AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の増台（車いす対応車両の導入）により、特に「のらざあ」の利用者が増えた。 目標値は単年度目標で、第6次総合計画及び茅野市・原村地域公共計画に合わせ令和10年度に2.1回としている。（評価上各年度とも同値とする）
実績値	1.9	2.7	2.9						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	10.8%	9.1%

◆ 各重点施策と成果

地域内公共交通の構築	（担当課・係名）	地域創生課地域創生係
主な取組内容と成果	【取組】・AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」運行補助 ・AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」運行管理システムの効果的な運用 ・通学通勤バス運行補助 ・市内公共交通状況の周知、広報活動 【成果】・法定協議会路線（2路線）利用者数 16,149人 ・のらざあ、通学通勤バス利用者数　計144,389人（車いす対応車両増台 2台）	
課　　題	「のらざあ」の利用料金の見直し ・蓼科湖方面バスの実証運行の実施 ・通学・通勤バスの運行体制等の見直し	
今後の方向性	・「のらざあ」の利用料金の見直しは新地域公共交通検討会議で協議を進め、令和8年度中に利用料金を改定する。 ・令和8年度に実施予定の蓼科湖方面バスの実証運行は、需要を十分に把握するため必要に応じて令和9年度においても実証運行を実施する。 ・通学・通勤バスの運行体制等の見直しについては、現時点においてどのように進めていくべきか未確定であるが、多くの市民に利用されていることから、継続して運行されるよう取り組む。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	近年全国で発生する災害に対して、市民の関心は年々高まっている。災害リスクに対する不安解消には正しい知識と災害への備えが重要である。引き続き訓練や学習会等を通じた情報発信や、耐震改修の普及啓発に努めていく。

◆ 成果指標の動向

●災害・防災に関する不安を感じている市民の割合（%） ※減少目標　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2.0	1.8	1.6	1.4	1.2	1.0	100	近年、全国的に頻発化・激甚化する災害に対し、市民の災害に対する意識は年々高まっている。水防・土砂災害訓練や総合防災訓練、学習会等により災害に対する備えを周知してまいりたい。
実績値	2.0	0.0	1.8						

●住宅の耐震改修戸数（戸）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		15	15	15	15	15	15	67	当初改修予定であった希望者が、申請を取りやめたため。
実績値	11	11	10						

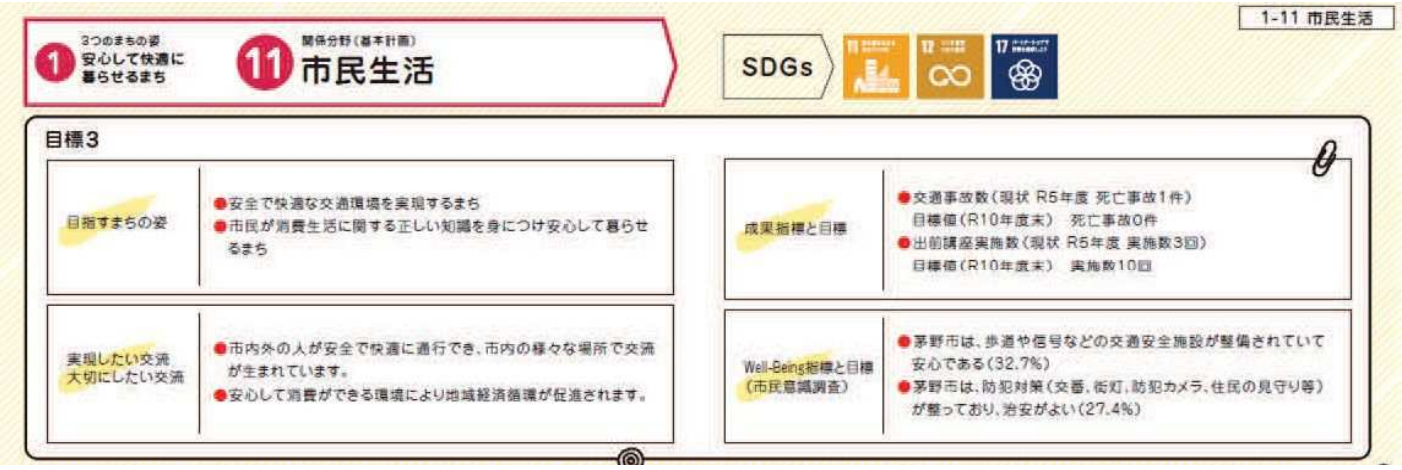
◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、防災対策がしっかりしている	36.1%	26.4%

◆ 各重点施策と成果

災害時等の迅速かつ的確な対応の確立	（担当課・係名）	危機管理防災課　危機管理防災係
主な取組内容と成果	水防・土砂災害訓練及び総合防災訓練を実施。市民の災害に対する取り組み周知と、職員が災害時に迅速に対応ができるように取り組んでいる。防災備蓄については、県のアクションプランに基づき計画的に備蓄を進めている。自主防災組織活動支援事業については、日頃から、市民の自主的な防災に対する取り組みが重要であることから、補助金等の活用を推進するべく広報周知に努めた。防災情報を市民により早く、確実に届けるため、通信確保と周辺機器の整備に努めた。	
課　　題	各種訓練については、訓練を通じていかに我が事として捉えてもらうかが大切である。訓練内容については、検証して、より良いものとしていくことが必要。自主防災組織の取組みについては、組織によって、向き合い方に濃淡がある。これまで以上に積極的に取り組んでもらうため、地域に根差した周知活動や学習会等を引き続き実践していくことが必要。	
今後の方向性	毎年実施する訓練内容については、出席者から聞き取りをしたり、先進市町村の聞き取り等を通じ、内容見直しを実施していく。自主防災組織の取り組み支援として、補助金の活用及び学習会等による周知活動を強化していく。老朽化した防災行政無線など各種防災機器、システムの的確な運用を推進するため、現状把握のための調査を実施し、結果に基づき計画的な入替・修繕を進めていく。	

住宅・建築物の耐震化の促進	（担当課・係名）	都市計画課建築係
主な取組内容と成果	耐震診断実施者に対する電話連絡等による個別周知、ロビー展の開催、チラシ回覧、パンフレット配布などを実施し、住宅耐震かに関する普及啓発を継続的に実施した。令和7年度は、耐震診断16件、耐震改修10件を実施した。電話連絡等による個別働きかけにより5件の耐震改修工事につながった。	
課　　題	建築コストの急激な高騰により、耐震化工事に係る申請者負担が大きくなっていることや、後継者がいない高齢者世帯が増加していること、耐震化工事の効果が見えにくい事等により、耐震化目標件数に対して例年目標に達さないことが多い。	
今後の方向性	引き続きアクションプログラムを継続して実施していくとともに、高齢者向けリバースモーゲージ型住宅ローン等の耐震改修に関する融資制度や耐震改修工事の減税制度の周知を積極的に行っていく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
A	交通安全対策については、園児・児童・学生から始まり、自転車・自動車の交通安全対策も求められ、交通重大事故を抑止する上で必須となる中で、さらに安全対策を進めるためには、減少した地区で行う交通安全教室を開催することで、交通安全意識の向上を図る必要がある。 出前講座実施数（回）は予定通り実施しているが、高齢者だけでなく幅広い年代に被害が及んでいる。こうした状況から、若い年代も含めた、消費者被害の未然防止活動に取り組む必要がある。

◆ 成果指標の動向

●交通事故数（件） ※減少目標　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		1	1	1	1	1	0（死亡事故）	100	近年発生している事故につきましては、自転車、自動車が単独の転落による受傷が致命傷となり、死亡している。
実績値	1（死亡事故）	1	1						

●出前講座実施数（回）　　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2	2	2	2	2	10	100	特になし
実績値	3	2	2						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、歩道や信号などの交通安全施設が整備されていて安心である	34.6%	32.7%
茅野市は、防犯対策（交番、街灯、防犯カメラ、住民の見守り等）が整っており、治安がよい	32.4%	27.4%

◆ 各重点施策と成果

交通安全対策の推進	（担当課・係名）	建設課・交通安全係
主な取組内容と成果	児童の交通重大事故（死亡・重体）を防止するため、小学校・保育園などにおいて交通安全教室を行っています。 交通安全教室を行うため、中信運転免許センターで自転車指導員の資格を取得しました。 また、交通安全対策として市内に約1700基の道路反射鏡を設置しておりますが、経年劣化により更新する必要がある道路反射鏡については、計画的に行っており、昨年も予定通り更新しました。	
課　　題	交通安全教室を行う上で、毎年道路交通法が改正されることから、最新の法解釈の上、指導することが求められています。 交通安全教室につきましては、学校によっては、自転車の教室を行うことができない学校もあることから、児童に自転車のルールを学ばせるため、区・PTAなどに対して、呼び掛けが今後必要である。 道路反射鏡更新工事につきましては、通行の頻度、劣化の程度、危険性などから撤去を含め、今後更新の必要性が求められる。	
今後の方向性	本年度も最新の知識を身に着けるべく、自転車指導員講習会に参加する。 区・PTAに対する交通安全教室開催の呼び掛けは、区長、学校に通じ呼びかけを行う。 道路反射鏡の更新工事は、現地を見た上で必要性の判断を行い、優先順位をつけ計画的に行う。	

消費者の安全の確保	（担当課・係名）	市民課・市民係
主な取組内容と成果	平成28年から富士見町・原村の住民からの相談にも対応できるように広域化を図り、消費生活相談や相談に伴う事業者とのあっせんを行っている。また、消費者被害防止のため啓発活動や出前講座により情報提供を行っている。	
課　　題	近年、特殊詐欺やSNS型投資、ロマンス詐欺の被害が増加し、幅広い年代に被害が及んでいる。	
今後の方向性	出前講座の開催を含め相談専用ダイヤルによる対応とともに、消費者被害防止の啓発は、選挙時の期日前投票所でのPRや広報及びホームページ等のさまざまな機会を利用して、消費者被害の未然防止活動に取り組みます。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	民生費の伸びや公共インフラの老朽化等により経常収支比率が上昇する厳しい財政状況にあるが、固定資産税やふるさと納税などの税収は、堅調に推移しつつある。また、窓口対応や利便性向上策が評価され、成果指標の「市民満足度」が目標を上回った。この成果をさらに高め、今後の財政需要の増加や人材不足といった課題を乗り越えるため、第6次総合計画を具現化する「スマートワークプロジェクト」による全庁横断的な業務改革の体制構築や、柔軟な人材獲得等を通じた「強靭な組織づくり」を前進させていく。 今後は、新システムやペーパーレス等新ルールの全庁的な定着、窓口業務時間の短縮に伴う代替手段の確実な構築といった課題を着実に乗り越え、業務改革で生み出した「余力」を、人にしかできない市民サービスへ還元する好循環を創出していく。あわせて、「伝わる広報」の全庁展開により発信力を強化し、市の取組に対する市民の理解と共感を得ることで、時代の変化に対応できる持続可能な行政経営基盤を確立していく。

◆ 成果指標の動向

●茅野市の行政サービス全般について満足している市民の割合（%）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	114	窓口職員の親切な対応への感謝や、「のらざあ」等による利便性向上への取組に加え、健康・福祉・環境など生活に密着した分野の取組が安定して評価されたと考えられる。 一方で、「行財政改革」や「DX」の成果が市民の実感として伝わっていないことや、市の活動に対する情報発信不足が課題である。また、道路舗装など身近なインフラ整備への改善要望は依然として多い。
実績値	なし	40.2	45.7						

●経常収支比率（%）　　減少目標　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0以下	96	経常収支比率の算定式（経常的な支出÷経常的な収入）のうち、経常的な収入は、景気の回復や個人所得の増加などを要因に増加している。しかし、物価の高騰や人件費の上昇などに伴う施設管理費や委託料の増加、諏訪広域連合や茅野市が構成自治体となっている一部事務組合への負担金の増加などを背景に、経常的な支出が経常的な収入の増を上回り、令和6年度と比較して0.6ポイント比率が悪化した。
実績値	92.0	93.6	94.2						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市（行政）は、地域のことを真剣に考えていると思う	28.5%	29.0%
茅野市では、行政サービスのデジタルサービスを利用しやすい	23.0%	12.9%

◆ 各重点施策と成果

市民サービスの質の向上	（担当課・係名）	企画課・企画係 DX推進課・自治体デジタル係
主な取組内容と成果	市民サービスの向上を図るため「茅野市スマートワークプロジェクト」を立ち上げ、全庁横断的な推進体制を構築した。令和9年4月の新環境稼働に向け、文書管理、クラウドPBX、次期業務環境の導入を一体的な業務改革として進める方針を共有し、現状調査とニーズ整理を行った。また、窓口業務時間の短縮に向けた「スマート窓口推進PT」の新設や代替手段の検討、現場を牽引する「DX推進人材」の育成方針の策定など、各種準備を進めた。	
課　　題	単なるシステム更新ではなく働き方を見直す業務改革であり、新システムと運用ルール（ペーパーレス等）の全庁的な定着が大きな課題である。また、窓口業務時間の短縮に当たっては、市民サービスの低下とならないように代替手段（オンライン申請等）の確実な構築が急務である。さらに、セキュリティポリシーの改定、DX推進人材への適正な人事評価と組織的サポート体制の確立も求められている。	
今後の方向性	令和8年度は、抽出した課題をもとに各システムの仕様を確定し、プロポーザル等の調達や詳細設計を本格化させる。同年10月の窓口業務短縮の試行開始に向け、代替手段の実装も進める。システムとルールの刷新により生み出した「余力」を、より人の手が必要な市民サービスへ還元し、サービスの質向上の好循環を創出する。令和9年4月の本格稼働に向け、徹底した研修・サポート体制を構築し、新しい働き方を浸透させていく。	

◆ 各重点施策と成果

広報の充実	（担当課・係名）	地域創生課・広報係
主な取組内容と成果	「伝える」から「伝わる」広報への転換を図るため、全職員を対象とした「ホームページ研修」を実施し、基本操作の習得を図った。また、「情報発信検討委員会」において、自治体に求められる情報発信のあり方についての研修や、効果的な発信方法の検討を実施した。これにより、行政情報を届ける役割は広報担当だけでなく全職員が担うことや、「伝わる」情報発信の重要性について、参加職員に強く意識付けることができた。	
課　　題	取組を通じて情報発信に対する意識変革は見られるものの、広報紙やホームページにおいては、市民視点に欠ける従来通りの発信も一定数見受けられる。市民意識調査においても「市の活動が伝わっていない」という声が依然として多く、情報発信検討委員会での意識付けに基づく広報活動を、委員経験者以外の全職員へどう波及・共有していくかが大きな課題である。	
今後の方向性	情報発信検討委員の選出方法を見直すとともに、委員から所属課の全職員へ効果的に知識を展開する手法を検討し、その知識が一部の職員に留まらない仕組みを構築する。全庁一丸となって「伝わる広報」を実践し、市の取組や成果を市民へ的確に届けることで、行政サービスに対する市民満足度のさらなる向上につなげていく。	

持続可能な市政経営の礎となる人・組織・財政の構築	（担当課・係名）	財政課・財政係、行革推進係
主な取組内容と成果	令和7年度の財政運営においては、適正な財政規模に向けた部枠予算の導入や事務事業評価の実施、行財政改革の推進など、多角的な取組を展開した。特に公共施設の再編では3施設の民間譲渡を実現し、ふるさと納税においても寄附額を大きく伸ばすことができた。これらの取組を通じて職員の意識改革が進み、結果として中期財政需要推計における基金取崩額の圧縮につながるなど、財政の健全化に向けた確かな成果を得ることができた。	
課　　題	景気の回復や所得の伸びなどを受け、市税、交付税といった歳入は増加している。一方、団塊の世代が後期高齢者に達し高齢化社会のピークを迎えたことに伴い、社会保障関係費が大きく伸びていること、また、物価や光熱費、労務単価の上昇などを受け、施設の維持管理費や業務委託費といった経常経費も大きく増えており、歳入の伸び以上に歳出が伸びている。 その結果、予算、決算ともに基金に頼った財政運営を強いられており、近い将来、基金が底をつく可能性がある。	
今後の方向性	昨年度に再開した事務事業評価の結果を予算に的確に反映させる「事業見直し」の仕組みを構築する。あわせて、全庁的な業務改革（BPR）と連動して行財政改革をこれまで以上に強力に推進し、限られた財源下でも市民サービスの質を維持・向上できる「持続可能な行財政構造」の構築に向けた取組を加速させる。	

持続可能な市政経営の礎となる人・組織・財政の構築	（担当課・係名）	総務課・職員係、人財育成係
主な取組内容と成果	導入した人財マネジメントシステムの新たな活用方法を模索し、今後の人財育成や人事管理の可能性を広げた。また、内製研修や要望に応じた研修を実施し、職員個々のスキルアップを図った。さらに、オンライン就職説明会やSPI試験の導入により採用応募の間口を広げ、多様で優秀な人材の獲得につなげた。	
課　　題	各種取組により個々の資質向上は図られているものの、それが組織力全体の向上に直結するに至っていない。また、中途退職や男性の育児休業取得の増加などにより、年1回の定期的な採用活動だけでは組織の欠員補充が間に合わないという、人員体制上の厳しい課題が顕在化している。	
今後の方向性	共通の視点を軸とした、組織縦断型の職層別研修や、上位職層に対する各種マネジメント研修を体系的に実施し、変化に対応できる「強靭な組織」を構築していく。あわせて、臨時的任用の制度化など柔軟な人材獲得の手法を模索する。さらに、全庁的な業務改革と連動したテレワークの本格導入や窓口時間短縮の試行を通じて職場環境の向上に努め、働きがいのある働きやすい職場を作り上げる。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	茅野市行財政審議会
主な意見	茅野市行財政審議会に対しては、定期的に「茅野市行財政改革基本方針」と「行財政改革プラン2023」の取組状況を報告し、その審議内容を踏まえて、令和8年1月に審議会から「行財政改革に関する提言書」の提出を受けた。
市の考えや対応など	提言書の内容を踏まえ、行財政改革の取組を着実に進めていく。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	成果指標のマタニティ講座、こども館0123広場については達成できたが、サポートプランの作成については、達成できなかった。今後さらに進行する少子化を見据えると、現在の手法や目的が今後も最適であり続けるわけではなく、社会変化に合わせた不断の見直しをすすめなければならない。 データをもとに5年後、10年後の未来を具体的に想像し、現在の支援や制度、施設についてあり方などを考え、今から何を準備し、どう行動するかを個別対策ではなく、子どもの環境全体として捉えていく必要がある。

◆ 成果指標の動向

●サポートプランの作成（サポートプラン作成件数/年度内の要保護児童対策地域協議会登録総数）（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	59	令和6年度と比べ、サポートプラン作成対象者が減少したことと、健康づくり推進課作成の妊婦に係るプラン作成者のうち、特定妊婦となった者が減ったことによる。
実績値	5.0	9.9	7.1						

●マタニティ講座参加者の参加満足度（5段階評価で4以上の人の割合）（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		80	80	80	80	80	80	123	母子手帳交付時にお誘いしている。 授乳についてやだっこの仕方、マタニティヨガ等、出産や子育てに役立つ知識を楽しみながら得られる講座内容とした。
実績値	なし	100	98.0						

●こども館0123広場利用満足度（5段階評価で4以上の人の割合）（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		80	80	80	80	80	80	110	特になし
実績値	なし	90	88						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、子どもたちが活き活きと暮らせる	33.6%	32.0%
茅野市は、子育て支援・補助が手厚い	14.7%	15.5%

◆ 各重点施策と成果

子ども・家庭への支援の充実	（担当課・係名）	こども課こども・家庭相談係
主な取組内容と成果	【サポートプランの作成】 ・子育てに課題を持つ家庭に対して、課題の分析を行いサポートプランを作成した。 ・支援を必要としている家庭が、自らの課題と支援内容を理解し、育児不安や育児負担の軽減を図ることができた。 ・支援に関わる関係者が、支援内容を情報共有し、効果的な支援につなげることができた。 【こども家庭センター事業】 ・子育てに課題を持つ家庭に対して、子育て短期支援事業では、児童養護施設等に子どもを預け一時的に子どもと離れることで、保護者の育児疲れの軽減ができた。子育て世帯訪問支援事業では、家事支援等を行い、家事育児の負担軽減ができた。支援事業を利用することで、保護者が子育てに前向きに取り組むことができた。	
課　　題	【サポートプランの作成】 サポートプランを作成し支援する際は、子育ての課題を持つ家庭と一緒に作ることが必要となる。そのためには、支援対象者と職員の信頼関係の構築が重要となる。併せて、サポートプラン作成の理解を得られない場合が多いため、目標よりも件数が少ない。 【こども家庭センター事業】 子育ての不安、負担を軽減することや、一時的に子どもと離れることにより、子どもの安全を守り虐待防止につなげるため、事業の委託先を増やすことが必要。	
今後の方向性	【サポートプランの作成】 ・支援家庭との対話を重ね丁寧な支援を行い、信頼関係の構築を進める。 ・重大事案が起こる前に必要な支援を行い、子どもの安全を守り虐待防止につなげる。 【こども家庭センター事業】 ・必要な時に利用できるように、委託先の開拓を進める。 ・支援家庭への事業説明資料を作成し、必要な家庭に積極的に利用勧奨していく。	

保健・福祉事業の充実	（担当課・係名）	健康づくり推進課健康推進係
主な取組内容と成果	パパママ講座、マタニティ講座を実施し、安心して出産が迎えられるよう支援している。 妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談の応じる伴走型相談支援を行っている。 産後ケア事業で、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう支援している。	
課　　題	少子化、核家族化により初めての妊娠、出産、子育てに対して孤立感、不安感を持つことは少なくないため、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援が必要	
今後の方向性	母子手帳交付時は、全員と面談ができるため、妊婦さんの話をよく聞き、安心して出産、育児ができるように必要な支援をする。 産後ケア事業を使いやすいように見直す。	

居場所づくりの推進	（担当課・係名）	こども課こども係
主な取組内容と成果	・地区こども館のあり方の取組は、利用者アンケートや利用者数、時間の分析をすすめ、住民ニーズと適正な配置について共有し、各地域と検討をすすめた。また、広報紙での特集記事、健康管理センターなどでの広報活動など、開館時間中の利用促進のための取組を行った。 ・学童クラブ、地区こども館の今後の可能性について課内で議論し、周辺自治体のヒアリングを行った。 ・子どもの居場所づくり推進事業補助金を6団体へ交付した。市民活動に必要な情報の提供や勉強会を開催し、自立への支援を実施した。	
課　　題	・地区こども館は、設置からの経過年数が長いにも関わらず、住民ニーズ調査や社会の変化による設置意義の見直しを行ってこなかったため、硬直化した施設となっている。施設の利用目的として、放課後の子どもの居場所という位置づけが大きく、分室や子育て支援拠点としての役割は少なくなっている。 ・地域の子どもの居場所（こども食堂）は地域のつながりの場としての評価はできるが、支援が必要な子ども・家庭に直接支援をする事業でないため、補助金のあり方を検討する必要がある。	
今後の方向性	・地区こども館は、学童クラブとの統合、地区CCの複合化、学校再編など、様々な状況の中で、今以上に変化への柔軟な対応が必要となる。子どもの居場所はそれぞれの地域にとって今後も必要か、そのニーズに地域はどう関われるのか、必要だとしたらどんな役割の場所なのかを、データなどの情報を共有しながら繰り返し地域と話していく必要がある。 ・子どもの居場所づくり推進事業補助金について、目的の再確認を行い、あり方を検討する必要がある。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	こども・家庭応援会議
主な意見	各団体からは、専門とする活動分野での課題や現在の状況などの意見が多い。計画や子育て支援についての意見はあまり出ていない。
市の考えや対応など	計画策定について、策定プロセスが目的化されており、策定後の進捗確認や計画の評価、検証が形骸化となっている。評価や改善の方法を策定時に入れておくことが必要。子育て環境について情報を交換したり、話し合うだけなら、計画がなくても実施できるのではないか。計画を作ることに一生懸命になってしまっているため、このプランの第4次を策定するのかどうかの判断から行う必要がある。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	多様性を包み込み一人ひとりの良さを伸ばすを学校を目指し、縄文のビーナスプランを基調とし取り組んでいる。児童生徒の満足度が上昇していることは、取り組みが定着していると評価できる。一方で保育園と小学校の連携による取組による小学校1年生の学校生活における満足度は若干減少した。 今後も2030 年の茅野市を見据え、共生社会づくりに参画する教育の実現を目指す。そのために一人ひとりの持つ多様性を大切にし、良さを伸ばすことができる幼保小中（高）と地域との連携を目指す。

◆ 成果指標の動向

●一日保育士体験参加率（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	85	一日保育士体験の様子を保護者に配信し、参加に繋がるよう促し、父親の参加は若干減少したが、母親の参加が増加した。
実績値	34.1	32.5	34.1						

●小学校1年生における学校生活の満足度（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	94	満足度の指数が、年に1回の「学校が楽しいか」のアンケート結果で幼保小連携教育の成果としてよいのか。何をもって幼保小連携の成果とするのか、検討が必要と思われる。
実績値	95.0	92.0	89.0						

●児童生徒の学校に対する満足度（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95	学校への満足度は昨年度と比較し、2.4ポイント上昇した。これまでの取り組みが定着していると評価している。
実績値	87.0	87.4	89.8						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、教育環境（小中高校）が整っている	44.3%	42.9%
茅野市では、子どもたちがいきいきと暮らせる	33.6%	32.0%

◆ 各重点施策と成果

親育ちの推進【幼児教育】	（担当課・係名）	幼児教育課・幼児教育係
主な取組内容と成果	保護者が一日保育士体験を通じ我が子や他の子と触れ合うことで、子育ての楽しさや、家庭の育児を見直すきっかけとなり「親」としての役割や責任を、喜びを感じてもらう。保育士自身の資質向上にもつなげる。	
課　　題	参加に繋がるように促しをしているが、父親の参加率が減少している。	
今後の方向性	引続き子育ての楽しさや、家庭の育児の見直すきっかけづくりに繋げていく。	

育ちと学びをつなげる取組の推進【幼児教育、学校教育】	（担当課・係名）	学校教育課・学務係 幼児教育課・幼児教育係
主な取組内容と成果	・幼児期から児童期への移行について、保育園、幼稚園、学校、家庭が相互理解を深めながら、接続期に育ちをささえていく。 ・小学校に少しずつ慣れるためのスタートカリキュラムを実施し、保育園等から小学校への接続期における子どもの滑らかで連続的な育ちの支援	
課　　題	・保育園での経験と体験の積み重ねにより、身に付けてきた力を小学校でいかに発揮できるようにしていくか。 ・一人ひとり成長には個人差があり、授業実施の際、柔軟な対応が必要。	
今後の方向性	・保育園と小学校の相互理解をさらに深めて、小学校区ごと取組みを更に充実されていく。 ・学校が、安心・安全な場所として感じてもらえるよう、小学区ごとに幼保小連携教育を推進する。	

次世代を担うひとづくりの推進【学校教育】	（担当課・係名）	学校教育課・学務係
主な取組内容と成果	いじめ・不登校、特別支援教育に関する支援 一人一台端末の更新やネットワーク環境の整備 特別支援教育支援員の配置等により、学びの環境を支援	
課　　題	・端末更新に際し、学校現場における不具合に対する保守作業の増加。 ・ICT環境が進展していくなか、教員による活用レベルに差がでないようにすること。 ・学校からの特別支援教育支援員の要望の増	
今後の方向性	・ICTを活用することで、どのような学びができるのか、学校全体で共有し、併せて学校の働き方改革を進める。 ・支援を必要とする児童生徒の割合は年々増加しているが、教員による支援体制を再構築し、限られた体制の中、継続した支援を協議していく。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	茅野市保育所運営審議会
主な意見	重点施策である「一日保育士体験」及び「幼保小連携教育」について諮ったところ意見はなかった。
市の考えや対応など	引き続き第三期茅野市子ども・子育て支援事業計画（R7～R11）の経過報告と新たな事業について協議・審議をしていく。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	家庭、保育園、認定こども園、学校、地域、図書館など読書活動をする活動の場ごとに、読み聞かせやお話し会、ファーストブック等実施できた。また、調べる学習は概ね順調に進めることができた。

◆ 成果指標の動向

●読書に関する意識（読書への興味関心）の割合（小学6年生）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		87	87	87	87	87	87	95	読書教育に関する調査は3年に1回行う。次回調査は2028年度。
実績値	86（R4年度）	86	83						

●読書に関する意識（読書への興味関心）の割合（中学生）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		82	82	82	82	82	82	93	読書教育に関する調査は3年に1回行う。次回調査は2028年度。
実績値	81（R4年度）	81	76						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、子どもたちがいきいきと暮らせる	33.6%	32.0%

◆ 各重点施策と成果

ことばとこころを育てる読書活動の推進	（担当課・係名）	こども読書活動応援センター

主な取組内容と成果	・各活動の場ごとに工夫をしながら、読み聞かせを毎日欠くことがなく、続けてきたことは読書活動の推進につながった。 ・ファーストブック・セカンドブックプレゼントでは、各場の実情に合わせ、時間や場所、手渡し方、読み聞かせの仕方を工夫しながら、途切れることなく実施し、これらの本を活用した異年齢の読み聞かせ等、活用の広がりもみられる。 ・小中高共に、朝読書の継続の評価が高く、学校生活に根付いた活動になっている。
課　　題	・小中学校における調べる学習への取り組みは、かなり定着している。しかし、様々な場面で、調べる学習を進める中で、子どもたちがAIとどう付き合っていくかを考えていかなければならない。情報収集の際にAIを頼るのではなく、本を使って正しい情報を選択したり、人に聞いたりしながら、自分の考えを練り上げていく力をつけ、AIに負けない子どもを育てていきたい。自分の考えを裏付けるために「どこのどんな資料を使ったか」ということを意識させ、出典を明記し信頼のおける情報源であることを確認し、正しい情報を見極める力が大切である。
今後の方向性	・『図書館を使った調べる学習ナビ』を有効に活用しながら、具体的な指導を積み重ねて、理解を深めていく。 ・市全校の取組として、縄文のビーナスプランにおける「探究的な学び」と関連させた読書図書館教育を大切に考えている。調べる学習への取組を通して、子どもたちの「気づき」や「ハテナ」を捉え、一人ひとりの多様な考えや追求の道すじを大切に「調べて、まとめて、伝える」活動を積み重ねて、本を使って調べてわかることの楽しさを大事に、スキルノートや調べる学習ナビを活用しながら、スキルアップを図っていく。

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	こども読書活動推進会議
主な意見	・電子書籍は避けて通れないツールであり、紙の本との共存が模索されている。一方で、スマホ操作に慣れた子どもが漫画のコマ割りを理解できないといった、新たな「読み方」への危機感も示された。 ・ボランティアグループの高齢化と人員不足が共通の悩みとなっており、活動を維持するための工夫が必要である。 ・図書購入予算の削減が続く中、いかに質の高い蔵書を維持し、子どもたちに適切な本を届けるかが切実な課題となっている。 ・公民館、図書館、学校、こども館などがさらに情報を共有し、施設の垣根を超えた多角的なアプローチを強化すべきである。
市の考えや対応など	・次年度の取組の中で検討しながらできるところから取組を行う。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	・自治協働課：公民館講座を通じて個人の学びの場を提供するとともに、個人の課題を皆の課題として取り組む意識の向上に努め、「学びと自治」を推進する。 ・生涯学習課：図書館については、地域の情報センター、市民の居場所としての機能をさらに充実する改革を進めていく。その取組結果としてレファレンス件数、来館者数の増につながると考える。 ・文化財課：大学や企業、関係団体、地域と連携し、学習機会を提供することができた。博物館・史料館ともに今後も時節にあった魅力的な展示や講座等を計画し、多くの市民にへの知名度を上げ、生涯学習を進めていく。

◆ 成果指標の動向

●公民館講座等満足度（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		100	100	100	100	100	100	95	受講者のニーズをとらえた講座企画・運営により高い満足度を維持している。 未達部分については、「どちらでもない」という中立的な評価があったためである。
実績値	98	95	95						

●地区公民館・分館事業数（件）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		504	504	504	504	504	299	85	各分館において、前年踏襲の事業実施を見直し、事業の廃止や類似事業の統合など、事業の再編・整理が行われている動きがある。 （目標値：10地区公民館×3事業+79分館×6事業）
実績値	299	435	430						

●図書館入館者数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		99,000	100,000	105,000	未定	未定	120,000	104	施設の照明LED化や資料の充実などにより居心地の良い図書館になるよう取り組んだ
実績値	98,994	99,561	103,929						

●八ヶ岳総合博物館入館者数（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		13,000	14,000	15,000	15,000	15,000	15,000	107	戦後80年や昭和100年のミニ展示、東京国立博物館が持つ茅野市出土の土器の114年振りの帰郷展の開催など、市民に足を運んでもらう機会作りに取り組んだ。
実績値	11,695	15,815	14,968						

●神長官守矢史料館入館者数（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		13,000	14,000	15,000	15,000	15,000	15,000	107	総合博物館と共催でウォークイベントを開催したり、尖石縄文考古館や総合博物館と連動した展示を行ったりし、市民や前宮から本宮をめぐる観光客の来館を促した。
実績値	12,414	14,960	15,035						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には、学びたいことを学べる機会がある	25.0%	24.5%
茅野市は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	18.2%	29.1%
茅野市は、地域活動への市民参加が盛んである	30.6%	32.4%

◆ 各重点施策と成果

「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学べる環境づくり【公民館】	（担当課・係名）	自治・協働課　公民館係
主な取組内容と成果	令和8年度から中央公民館とパートナーシップのまちづくり推進課が組織統合し、「自治・協働課」として新たに発足した。これにより、従来の生涯学習（学び）の場としての公民館事業と、地域自治活動（実践）の現場が一体となり、地域課題解決に向けた支援体制が整った。	
課　　題	組織統合により、学びと地域自治を一体的に支援する体制は整ったが、個人の学びの成果を地域活動へつなげる具体的な仕組は十分に構築されていない。 地域との連携強化、「個人の学び」に対する高い意欲を「地域課題解決への参画」へ結びつけるための意識醸成が必要となる。	
今後の方向性	「いつでも・どこでも・だれでも学べる」環境づくりを基盤としつつ、公民館活動と地域コミュニティ活動を一体的に支援する仕組を整える。 住民が学びを地域活動に生かしやすい仕組の構築、中央公民館と地区コミュニティセンター、市民活動センター連携を強化することで、地域の担い手育成と自治力向上を目指す。	

一人ひとりの多様な学ぶ意欲に応える機能の充実【図書館】	（担当課・係名）	生涯学習課図書館係
主な取組内容と成果	・図書館に来るきっかけづくりとして「図書館でボードゲーム」講座を初めて開催した。小学生から年配者まで様々な年代が参加し、受講者間での交流が生まれた。また、読み聞かせボランティアを講師に「絵本講座」を開催し、これから読み聞かせをはじめたい方の育成につながった。 ・公民館や八ヶ岳総合博物館、各種団体などと連携した館内展示を行い、新しい本との出会いの場を提供することができた。 ・工夫や改善を重ねた結果、昨年度に比べて入館者数が増加した。 ・「行きたくなる心おどる図書館」をテーマとする図書館改革に向けて、図書館協議会委員、職員が一緒に学習会を実施した。	
課　　題	・一人ひとりの多様な学ぶ意欲に応える、地域の課題解決に必要な情報を整備・提供する「地域の情報センター」として、何をすべきかを更に検討していく必要がある。 ・高齢化社会や子育て支援などに対応した居場所としての機能充実。 ・各地区にある10分室の今後のあり方について。 ・施設の経年劣化による老朽化への対応。	
今後の方向性	・学ぶ機会を充実させるため、市民が自由に情報を得ることができる環境の整備とともに、職員のスキルアップを図る。 ・担当課と連携し分室の状況を把握、それぞれの方向性について検討していく。 ・施設の日常点検による予防修繕をすすめ、安全な維持管理を継続する。 ・「行きたくなる心おどる図書館」を目指し、協議会と職員の協働で図書館改革を進める。	

郷土の自然・文化や歴史に触れ、科学に親しむ機会の充実【八ヶ岳総合博物館】	（担当課・係名）	文化財課博物館係
主な取組内容と成果	・大学や関係機関、企業と連携をすすめ、特別展や講座等の博物館事業を協力して開催することができた。また、事業開催にあたって、図書館や中央公民館と連携を図り、市民に博物館事業を紹介した。 ・企画・特別展示のほか、ロビーを使ったミニ展示を行い、収蔵資料をとおして郷土の歴史に触れる機会を作った。 ・市民研究員養成講座では、市民の研究活動を促し、多くの標本を集めることができた。 ・プラネタリウムや工作、登山学習などの出前講座の要望に応え、広く自然や科学に触れる機会を作った。	
課　　題	・多様化する市民ニーズを的確にとらえた学習機会の提供 ・博物館事業を周知する情報発信の方法 ・老朽化している施設の維持管理 ・資料整理と資料の収蔵場所の検討	
今後の方向性	・講座の新設や視点を変えた企画展・特別展を開催する。 ・資料整理をとおし、デジタルアーカイブの構築を検討する。 ・大学や関係機関、企業等とより連携を進める。 ・効果的な情報発信の方法を検討する。 ・職員のスキルアップを図る。	

守矢文書の保存と継承【神長官守矢史料館】	（担当課・係名）	文化財課博物館係
主な取組内容と成果	・年間4回の企画展開催。 ・博物館・考古館・文化財係と連携し、企画展や講座、周辺遺跡をめぐるイベントを開催した。 ・周遊券の販売を行い、来館者の利便を図った。 ・各種事業を開催し、入館者増につながった。	
課　　題	・他県からの来館者に比べ、諏訪圏内の来館者が少ない。 ・市民の神長官守矢家及び守矢史料の貴重性の認知度が低い。 ・老朽化している施設の維持管理。	
今後の方向性	・時節に応じた内容の企画展の開催の継続 ・地域の人の来館のきっかけとなるイベントの開催 ・デジタルアーカイブの構築の検討 ・市民への効果的な情報発信の検討	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	公民館運営審議会
主な意見	公民館・地区コミュニティセンター・ゆいわーく茅野の役割や登録制度が施設ごとに異なり、利用者にとって分かりにくいとの指摘があった。特に、同じ団体が複数施設を利用する場合でも、登録方法や更新時期がバラバラで、利用者の負担が大きいという意見が示された。 さらに、公民館での学びと地域活動が十分につながっていないという課題も挙げられ、施設が分かれていることで情報が分断され、学びを地域活動へ生かす流れが生まれにくいとの意見があった。
市の考えや対応など	利用者目線での“わかりやすさ”を重視し、各施設の登録制度や利用手続きを整理し、可能な部分から一本化を進めることで、利用者が迷わず利用できる仕組を検討していく。 また、組織統合により、公民館活動と市民活動が同じ課の中で連携できるようになったことを踏まえ、学びの成果を地域活動へつなげる仕組みづくりを進めていく。まちづくりに関する情報提供の機会を増やし、公民館での学びが地域の実践につながるよう、自治・協働課として一体的に支援していく。

関連市民団体等名称	茅野市図書館協議会
主な意見	・今年度、本来図書館とはどうあるべきか図書館協議会の委員と職員で考える機会を持ち始めたことは、変わり始めの第一歩となっている。 ・協議会委員が議論するだけでは解決しないので、職員も交えたワークショップを行いみんなの意見を出し合い共通認識を図りたい。
市の考えや対応など	・令和8年度のはじめに図書館協議会委員と職員を交えてワークショップを開催し、それを皮切りに図書館改革を進める。

関連市民団体等名称	茅野市博物館協議会
主な意見	・事業開催にとらわれて博物館とは何かというところの根本が崩れていないかという懸念がある。博物館というのは、歴史等を記録して、後世に繋いでいくという役割があると考えるが、市場性のあるものではないので公でやっていかなければ成り立たない。 ・事業報告は開催事業の羅列のみで活動のテーマが見えない。「これを実施した」と結果のみの報告だけでなく、実施内容や目指すところ、意図するところを示してほしい。 ・イベントの情報発信が脆弱である。
市の考えや対応など	博物館、考古館、史料館、それぞれの役割があると理解している。施設の職員がその施設がなぜできたのかも十分理解して、果たすべき役割を考えて、同じ方向を向いて業務に臨むことが大切だと考える。市民に伝わっていないことがあるかもしれないという意識をもって、「果たすべき役割」が伝わるように努め、市民の理解を得ていく必要がある。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	施策の進捗は順調である。 ただし、成果指標の令和10年度末の数値は、今後の人口減少や、関係市民団体の高齢化、利用料金の値上げなどによる市民の文化芸術活動の規模の縮小も考えられるため、今後は数値の維持に努め、目標の達成に向けて取り組む必要がある。

◆ 成果指標の動向

●市民芸術祭（音楽祭、芸能祭）への参加団体数（団体）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		37	37	37	37	37	37	143	市民芸術祭への出演条件を緩和した結果、参加団体が増えた。
実績値	37	46	53						

●茅野市民館貸館事業における市民活動団体（文化芸術）などの利用回数（回）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		184	184	184	184	184	184	105	指定管理協定に基づき指定管理者が事業を行った結果、ほぼ昨年並みの利用回数となった。
実績値	184	186	193						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	18.2%	29.1%

◆ 各重点施策と成果

地域文化の創造と文化芸術活動の推進	（担当課・係名）	生涯学習課生涯学習係
主な取組内容と成果	児童・生徒の芸術への関心の向上や体験格差の解消に向けたより発展的な取組を実現させるために、学校招待公演事業を学校教育課から引継ぎ、生涯学習課としては優良芸術鑑賞講座事業と併せて、インリーチとアウトリーチの事業を揃えて実施した。結果として、それぞれの事業につき、児童・生徒や先生方の意見感想の集約につながり、今後の事業の参考にすることができた。 市民の文化活動については、市民館管理運営事業、公民館事業などの取組により、現指標上での目標値を達成することができている。	
課　　題	子どもに対する事業は手厚いが、それ以外の市民（特に、様々な理由から文化芸術に接する機会に恵まれていない方）に対する文化芸術振興的なアプローチは明確に事業化されていないため、これをどのような形で行うか、研究が必要。そのためには、市内でどのような取組がなされているかの把握をする必要がある。 施策全体をとおして、成果指標が適切か研究が必要。	
今後の方向性	文化芸術推進計画の改定を契機として、6次総との施策の整合性を図りつつ、各指標の整理と上記課題について調査を進め、施策化を行っていく。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	茅野市文化芸術推進委員会
主な意見	・指標があいまいで実行可能な計画になっていないため、評価ができない。 ・次期計画の作成に着手し、その点の修正を行っていくべき。
市の考えや対応など	・6次総においては、計画とは別の観点で指標を設定した。 ・次期計画は、これからの茅野市における文化芸術について、実行可能かつ評価ができる内容につくりかえていく。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	定例の事業のほか様々な取組みや催しを実施することで、縄文文化を学ぶ機会を提供している。また、市民ガイドの育成や土器づくりなどのサークル活動、DMOとの連携等により市内外の人達の繋がりが出来ている。

◆ 成果指標の動向

●尖石縄文考古館入館者数（人）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	60,000	79	入館者数は連休の長さや天候状況に大きく左右される。その最大要因を別にして考えると、令和5年度～令和6年度の増加は仮面の女神国宝指定10周年記念展と巳年ロビー展に伴う体験学習や春休み向けのミニ土偶作り体験によると思われる。令和7年度は大阪万博による減少と思われる。
実績値	51,425	56,438	55,070						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	18.2%	29.1%

◆ 各重点施策と成果

尖石縄文考古館の充実	（担当課・係名）	文化財課考古館係
主な取組内容と成果	縄文教室事業費では、縄文教室を年4回、縄文ゼミナールを年2回、随時受入れの個人及び団体の土器土偶製作体験を通年で実施、新企画の「今、私たちはこんな調査・研究をしています！」を年3回開催、合計2298名が受講し、茅野市の縄文文化や当時の生活を支えたものづくりを学んでいただいた。特別展事業費では国宝指定30周年記念展として「あの土偶この土偶　レプリカと写真で見るさまざまな土偶」を開催、会期中11,590人が来館した。史跡公園整備事業費では史跡公園内の支障木の伐採、復元住居のメンテナンス等、訪れた人が快適に利用できるように維持している。	
課　　題	縄文教室事業のうち、ゼミナールや「今、私たちはこういう調査・研究をしています！」等のオンラインでも開催できる講座のオンライン開催ができなかった。	
今後の方向性	施設管理、史跡公園の整備事業は、来館者が館内外を快適に見学していただくために欠かせないため継続。 縄文教室及び特別展事業は、茅野市の縄文文化を様々な角度で学ぶ機会となっているため、内容を吟味しながら継続。 縄文文化賞事業は、継続する・しないを検討し、継続する場合でもどのような形で継続するか（隔年実施など）検討する。	

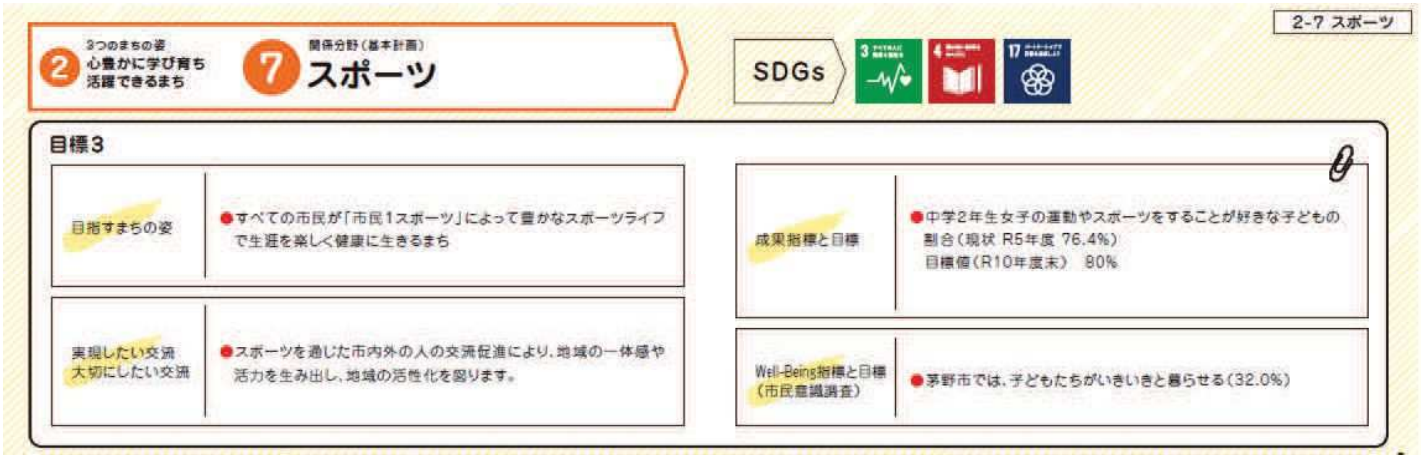
縄文史跡等の整備・活用の推進	（担当課・係名）	文化財課考古館係・文化財係
主な取組内容と成果	今後の特別史跡尖石石器時代遺跡の整備・活用を行うために、平成29・30年度、令和3・4年度に行った確認調査の成果を報告書として刊行した。尖石遺跡の環境整備のために落葉松と風倒木、鹿の食害木の伐採を行った。報告書の作成により史跡整備の資料が整備されたとともに、落葉松等の伐採により一歩史跡整備が進んだ。国史跡上之段遺跡と駒形遺跡は、草刈を定期的に行い、遺跡を良好に保っている。	
課　　題	特別史跡尖石遺跡石器時代の史跡整備を今後とも進めていかなければならないが、同時に、上之段遺跡・駒形遺跡の史跡整備を行っていかなければならない、しかし、人員が不足しており、進んでいない状況である。	
今後の方向性	特別史跡尖石遺跡石器時代の追加指定を行い、引き続き落葉松等の伐採を進めていく。また、史跡整備計画に則って整備を進めていく。	

「縄文を識る」取組の推進	（担当課・係名）	文化財課考古館係
主な取組内容と成果	市民総学芸員化を目指し、茅野市の縄文を楽しく識ってもらうため、縄文かるた大会を開催した。団体戦は年齢関係ないチーム戦、個人戦は年齢を考慮した4部門を設定し、子どもから大人まで楽しめる大会となった。オリジナルトートバッグと縄文手ぬぐいを作製し大会賞品とした。また、在庫切れとなっていた縄文かるたを1,200セット作製し、トートバッグ、縄文手ぬぐいとともにミュージアムショップで販売した。再販を心待ちにしていた市民も多く、茅野市の縄文に感心を持ってもらえた。	
課　　題	かるた大会スタッフの確保	
今後の方向性	年齢関係なく楽しみながら茅野市の縄文を学べるかるたは、市民総学芸員化を進めるにあたり必要なため継続。	

◆　関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	社会教育委員の会議
主な意見	「社会教育推進計画」に考古館などが位置付けられ、「社会教育推進計画」でもその上位の「教育大綱」でも地域づくり・人づくりの推進、個人の学びを地域に循環させることが示されている。にもかかわらず、この会議で「社会教育の社会性」が問題となっているのは、今までの取組に問題があったのではないか。
市の考えや対応など	社会教育とは何か、という根本的な問いになっていくかと思う。その根本的な問いに向かい合っていくようにする。

関連市民団体等名称	博物館協議会
主な意見	考古館の事業について、報告として「これを実施した」と結果のみの報告ばかりで、実施内容や事業の実施の目指すところなどについてもう少し詳しく報告してほしい。また、事業にしろ展示にしろ、「意図するところ」を示してほしい。
市の考えや対応など	博物館、考古館、史料館、それぞれの役割があると理解しているが、それぞれの施設の職員がそのことを十分理解して、果たすべき役割を考えて業務に臨む。ただし、市民に伝わっていないことがあるかもしれないという意識をもって、「果たすべき役割」が伝わるように努める。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合は目標に届いていないが上昇傾向にある。引き続き「市民1スポーツ」の実現に向け取組を進める。

◆ 成果指標の動向

●中学2年生女子の運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	96	-
実績値	76.4	72.0	76.5						

●茅野市では、子どもたちがいきいきと暮らせる（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	105	-
実績値	32.0	29.2	33.6						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、子どもたちがいきいきと暮らせる	33.6%	32.0%

◆ 各重点施策と成果

地域における子供のスポーツ機会の充実	（担当課・係名）	スポーツ健康課スポーツ健康係
主な取組内容と成果	生涯スポーツの契機である幼少期の運動機会の創出のため、幼児トリム教室、小学生エンジョイスポーツ教室などの実施に加え、茅野市スポーツ協会、日本トップリーグ機構との共催で「あそビバ！」を実施した。	
課　　題	募集人員に満たない教室などについてニーズに応じて見直しを行う。また、部活動の地域展開に関して必要となる講座等を実施する。	
今後の方向性	引き続き、ライフステージ等に応じた運動教室・イベントを実施し、生涯を通じていつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ継続的に楽しめる機会及びきっかけの創出を図る。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	(生涯学習課)審議会・委員会などにおける女性登用率が徐々に高まってきており、女性初の首相が誕生したことも世間の意識をさらに変えていく一押しになると考えられる。なお、審議会・委員会の女性登用率を成果指標とすることには疑問があり、今後指標の再考が必要と考える。 (地域創生課)外国籍市民が微増している中、外国語(やさしい日本語含む)対応物も増やしている。 (自治・協働課)成果指標には設定していないが、令和5年度から2年にわたって進めてきたモデル区会議が区切りとなり、参加区の1つである小堂見区での回覧板アプリ導入や区・自治会からの要望書の電子化等、区・自治会の運営効率化や負担軽減、あり方検討等の協議・支援が進んでいる。

◆ 成果指標の動向

●審議会・委員会等の女性委員登用率(%)　　累計目標

	R5(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末(目標値)	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	83	女性初の首相が誕生するなど、社会や政治の場面で女性の活躍が顕著になったことから、積極的に女性委員を登用しようという意識が高まっている。
実績値	28.0	28.2	29.0						

●「やさしい日本語」(ルビを振ったもの)や外国語で表記した申請書等の作成数(件)　　累計目標

	R5(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末(目標値)	R7達成度(%)	変動要因等
目標値		ー	1	1	1	1	4	100	R7年度評価分から評価指標を変更(市役所窓口における年度ごとの申請書の数の把握が困難であったため、割合から件数に変更)
実績値	1	1	1						

◆ Well-Being指標と目標(市民意識調査)

Well-Being指標	実績値(R7年度)	目標値(R10年度)
茅野市には、困ったときに相談できる人が身近にいる	27.6%	56.6%
私は、同じ区(または自治会)に住んでいる人が困っていたら、手助けをする	63.3%	62.4%
茅野市には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	14.3%	12.9%

◆ 各重点施策と成果

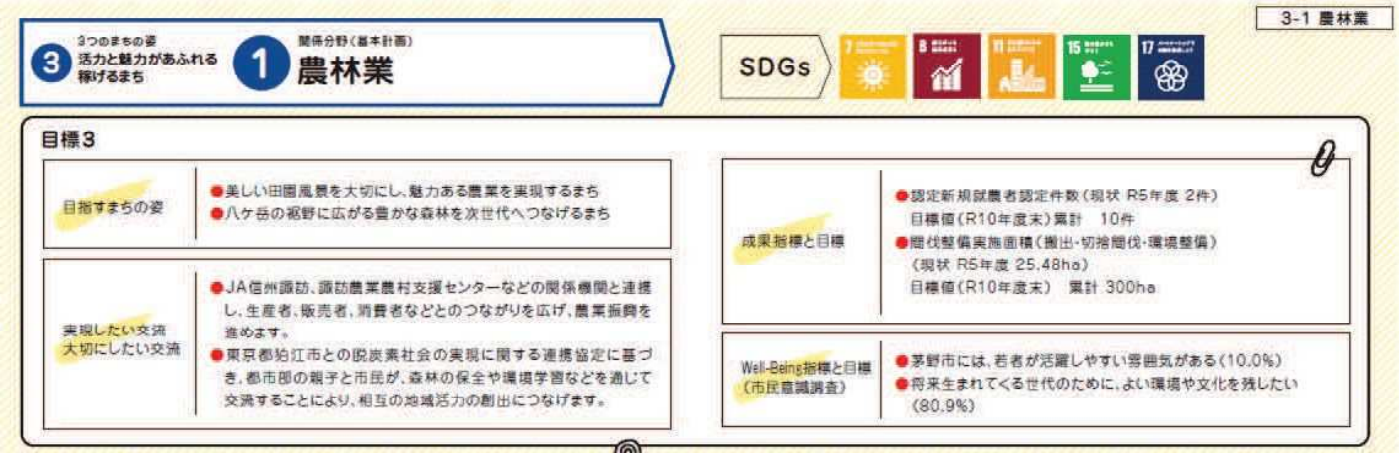
自治・協働によるまちづくりの実現	（担当課・係名）	自治・協働課 地域コミュニティ係
主な取組内容と成果	・区・自治会の運営効率化や負担軽減、あり方検討等の協議のため、令和5年から取り組んだモデル区会議（計21回）が区切りとなった。その中で、令和7年度は区・自治会の負担軽減として、要望書をロゴフォーム（DX化）で提出できるようにした。また、検討してきていた回覧板アプリを小堂見区が導入し、情報伝達の効率化や、離れた場所でも情報が閲覧できる体制を構築することができた。 ・パートナーシップのまちづくりについて、取組の再構築（市と市民が協働する際の役割分担等について協議し、何らかの形を残す）の必要性があった中で、パートナーシップのまちづくり推進会議準備委員会を3回開催し、パートナーシップのまちづくり再構築指針（案）を作成した。	
課　　題	・これまでのモデル区会議にて、区・自治会の運営効率化や負担軽減策の検討・実施に取り組んできたが、これらには進めることの限界があることもみえてきた。また、会議内容が参加者だけの情報共有に留まってしまい、区・自治会の中での共有が進まないことも課題となっている。 ・パートナーシップのまちづくり再構築指針（案）について、パートナーシップのまちづくり推進会議を開催し、さらに協議・検討する必要がある。	
今後の方向性	・持続可能な区・自治会のあり方の検討をより一層進めていくための第2期モデル区会議を企画し、区・自治会の魅力発信をしたり、学びの力を自治へつなげられるよう、公民館役員を含めて運営し、事例集等の作成をして、区・自治会が自ら変革していける支援を行っていく。 ・パートナーシップのまちづくり推進会議にてパートナーシップのまちづくり再構築指針を策定し、政策形成過程への市民参画・協働を進めるとともに、庁内推進体制の再構築、職員の意識改革等も進めていく。	

男女共同参画の推進	（担当課・係名）	生涯学習課　生涯学習係
主な取組内容と成果	・「男女共同をテーマにした川柳コンテスト」を開催し、市民等154名から437作品の応募があった。川柳を通して、男女共同参画を考える機会をつくった。参加者から「作品をつくるにあたって、家族で話し合った」「各家庭の様子や考え方が伝わってきた」「家族のコミュニケーションのきっかけとなった」という意見があった。 ・これまでの活動の検証・分析を行うことや今後の取組を検討した。	
課　　題	活動の意味・目的・成果の検証・分析が行われず、毎年同じ取組を継続している（活動の形骸化）。	
今後の方向性	・これまでの活動について検証・分析を行うとともに、茅野市における男女共同参画の課題とアプローチ先を再検討する。 ・取組共通テーマを「男女共同参画の視点からの防災」とし、今後の取組について検討する。	

多文化共生のまちづくりの推進	（担当課・係名）	地域創生課　地域創生係
主な取組内容と成果	・多言語（英語、ベトナム語）及びやさしい日本語による生活情報誌の作成 ・月1回の外国籍市民相談、窓口の設置 ・毎週の日常生活相談と日本語教室の開催 ・外国籍市民講座の開催	
課　　題	茅野市に在住する外国籍市民は微増傾向で、外国籍市民相談での相談内容は、個人単位の相談から家族単位（夫婦間のものや子どものことなど）の相談に段々とシフトし、複雑化してきている。内容も深くケースワークが必要な要素が強くなってきている。	
今後の方向性	・日本人、外国籍市民の区分けはあると思われるが、上記の課題から実務的な対応を考えると他の部署で所管した方がよいと考えられる場面が多く、より適正な事務の執行のため所管替えを調整していきたい。	

◆ 関連市民団体等の主な意見及び市の対応等

関連市民団体等名称	男女共同参画推進会議
主な意見	家庭・教育専門部会から、全体での共通テーマとして「男女共同参画の視点からの防災」を取り上げることについて提起があった。
市の考えや対応など	「男女共同参画の視点からの防災」について、男女共同参画推進会議で取り組むことに決定したため、防災課等と連携し、委員の意見を聞きながら何ができるか一緒に検討していく。



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	認定新規就農者の確保については、関係機関の連携や、茅野市における「高冷地」という気候の優位性が奏功し、計画目標を上回る実績で推移しています。 間伐整備については、実施箇所の選定、意向調査の翌年度に間伐実施の流れが確立されてきています。また森林所有者及び地元区に対し、制度内容と施工内容を分けて説明会を開催することで、事業に対する理解を得ることができています。結果、令和7年度の実施面積は林業事業体の経営計画による間伐整備と合わせ計画を上回る森林整備に繋がりました。

◆ 成果指標の動向

●認定新規就農者認定件数（件）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2	2	2	2	2	10	300	温暖化の影響で、高冷地を求めて新規参入する農家希望者が増えている。
実績値	2	6	6						

●間伐整備実施面積（搬出・切捨間伐・環境整備）（ha）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	300	132	意向調査の結果、土地所有者及び地域住民の理解が広範囲で得られた。
実績値	25.48	25.9	79.0						

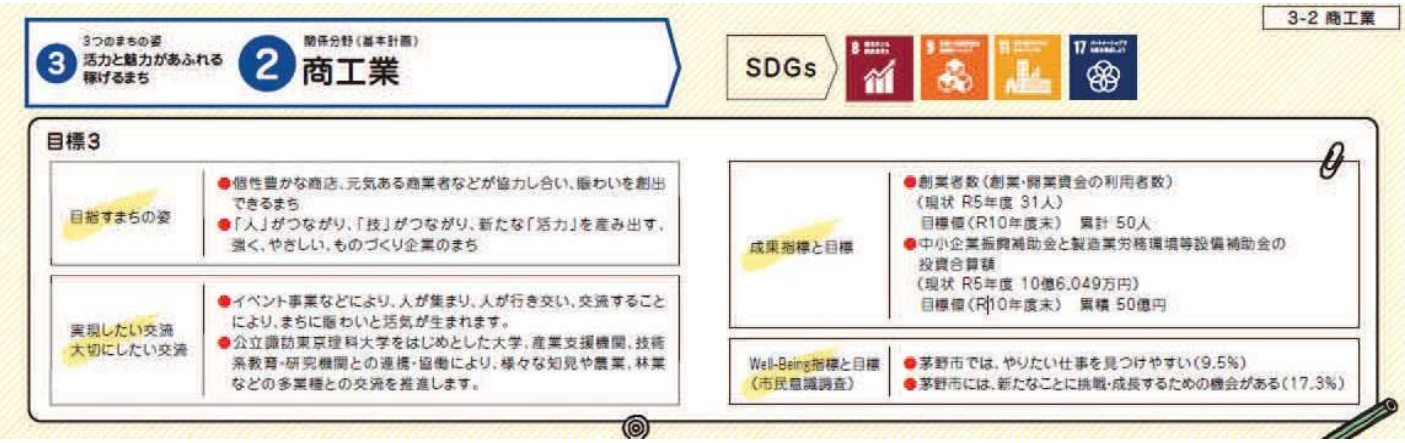
◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	13.2%	10.0%
将来生まれてくる世代のために、よい環境や文化を残したい	80.3%	80.9%

◆ 各重点施策と成果

農業振興の推進	（担当課・係名）	農林課・農政係
主な取組内容と成果	信州ちの就農LABOなどの農業者やJA、長野県等の協力もあり、令和7年度の農業人フェア面談者59名、農家を「知る」ツアー21名、窓口面談者29名となり年々相談者は増えている。	
課　　題	農業者の高齢化や減少に伴う遊休荒廃地の拡大は、今後も大きな課題である。	
今後の方向性	信州ちの就農LABOなどの農業者やJAや長野県等と連携し、新規就農者の獲得や農業経営への支援へは、継続して行っていく必要がある。	

林業振興の推進	（担当課・係名）	農林課・林務係
主な取組内容と成果	森林環境譲与税を活用した森林経営管理事業として、整備の行き届いていない個人有林を選定し4.89haの意向調査を実施。すでに調査済の林地を含めR8年度に整備を実施。また、前年度までに意向調査及び外周測量の終了したものについて、38.58haの森林整備を実施した。 市内を16ブロックに分けて全域で継続した森林整備が行われている。	
課　　題	所有者の森林離れと放置森林の増加。	
今後の方向性	整備の行き届いていない森林の整備を進めるとともに、林野庁が示す森林環境譲与税の使途の範囲で幅広く事業展開をしていく必要がある。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	商業振興ビジョン推進部会の設置に伴い各事業の見直しを進めていく事が出来たと考えている。令和7年度は成果として1つの事業の補助金の見直しを行うことが出来た。引き続きニーズに合ったものを検討し、見直しを行うことで街の賑わい創出に繋がると考える。 工業関係では、企業の積極的な経営姿勢により、設備投資の拡大につながり、目標値を達成することができたと考える。順調な進捗であったと評価する。 中小企業振興補助金は、企業誘致につながる支援である。引き続き、成果指標の達成に向けた取組を進めていく。 全体として、事業の進め方を変えていくことで、成果の向上が見込めるものと考えている。事業の廃止ではなく、見直しを行っていく。なお、D評価の人材育成等支援事業は、3-4雇用、人材育成、企業・創業に記載する。

◆ 成果指標の動向

●創業者数（創業・開業資金の利用者数）（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		41	51	61	71	81	81	125	開業・創業資金については引き続き増加傾向となっている。商工会議所で行っている諏訪地域創業スクールの効果の出ていると考えられる。
実績値	31	48	64						

●中小企業振興補助金と製造業労務環境等設備補助金の投資合算額（千円）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2,000,000	2,500,000	3,000,000	4,000,000	5,000,000	5,000,000	106	工場の増築、生産性向上につながる機器類の設備投資が堅調に推移し、目標額を達成した。
実績値	1,060,490	1,963,450	2,655,676						

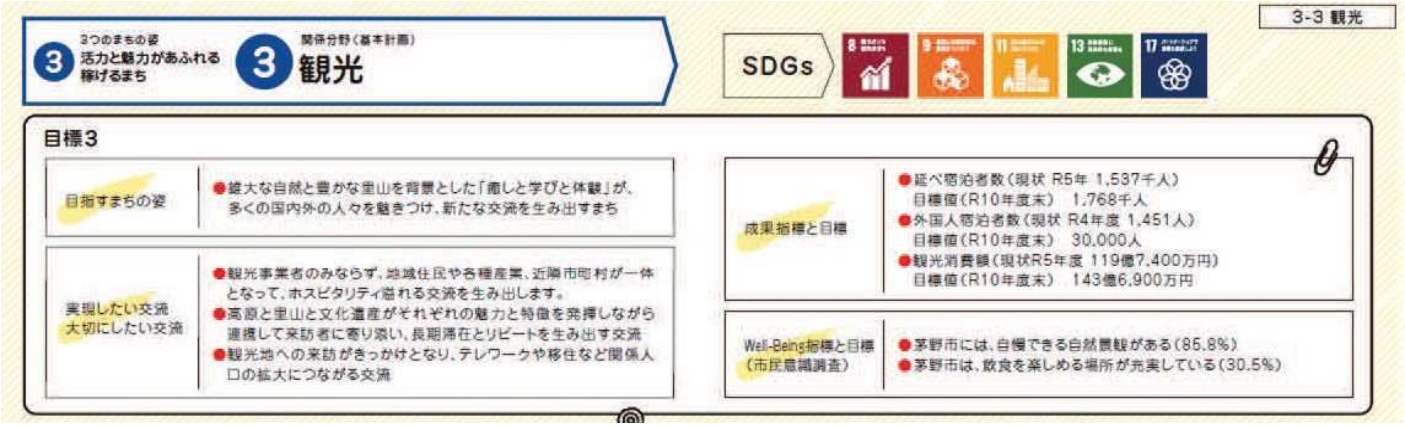
◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい	8.3%	9.5%
茅野市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	12.8%	17.3%

◆ 各重点施策と成果

商業振興の推進	（担当課・係名）	商工課・商業労政係
主な取組内容と成果	商業振興ビジョン推進部会に具体的な計画の策定と推進のために4つの専門部会を創設した。専門部会の1つであるイベント部会において消費喚起イベント事業補助金の見直し協議を行い、より利用が見込めるよう要綱の改正を行った。	
課　　題	一部の補助金について見直しを行うことが出来たが、中心市街地の賑わい創出のために他の補助金事業の見直しの検討が引き続き必要となる。 現在は ・商店街活性化イベント事業補助金 ・空き店舗等活用事業補助金 以上が昨年度より協議が継続しているものになっている。	
今後の方向性	商業振興ビジョン推進部会を通じて部会員でもある茅野商工会議所、各商業会と協議を行い、引き続き見直しを行っていく。特に課題に記載のある2つの補助金の見直しについては優先課題として扱っていく。	

工業振興の推進	（担当課・係名）	商工課　工業・産業振興係
主な取組内容と成果	・中小企業振興補助及び製造業労務環境等設備補助金　18件、設備投資額692,226千円 ・販路開拓等支援事業　工業展等出展補助交付件数：25件、販路拡大に伴う新規契約：117件 ・新技術・新製品開発事業　新技術・新製品研究開発に関する相談件数：9件、補助金交付企業数：9社（内、大学技術指導が1件）	
課　　題	・新規の工場立地については、空き用地がほぼ無いことからすぐに結果を出すのが難しい。 ・原料・燃料費、人件費の高騰等により、今後の設備投資を控える可能性がある。 ・企業立地支援事業費で、中小企業振興補助金以外の予算科目が少額である。 ・新技術・新製品の開発後の販売状況など、成果の補足が難しい。 ・茅野・産業振興プラザについて、補助金額の見直しに加え、事業の見直しを継続的に実施していく必要がある。 ・理科大との具体的連携（研究開発、技術指導等）が少ない。	
今後の方向性	・最重点事業として、税収確保、雇用の創出による人口増加に直結する企業立地支援事業の取組を進めていく。大規模案件の企業誘致について、長野県との土地利用調整計画の協議を進めていく。 ・企業立地支援事業の予算額の配分を重点的に行う必要があると考える。産業用地ワーキンググループで引き続き候補地の選定を進め、産業用地整備につなげ、産業用地の積極的な売り込みができるよう、展示会等への出展費用や旅費の確保をしていく。 ・A評価である新技術・新製品開発事業は、新たな販路拡大やビジョンで掲げる「グローバルニッチトップ」に直接つながる支援内容である。第6次総合計画の方向性にも記載のとおり、支援の充実を図っていく。成果の補足方法についても検討していく。 ・産学公連携推進事業は、連携先（理科大等に加え、関係機関）との関係性を強化し、具体的な連携事業を実施していくことで、市内企業の経営力強化や稼ぐ力の向上につなげていく。市内企業と大学との連携で、新製品開発に至った事例をロールモデルに、大学との連携を横展開していく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
C	観光振興ビジョンにて、4つの方針を打ち出しちのDMOや各観光連盟や観光協会と連携を進めることができたと考える。 特に、ちのDMOとの連携については、普段からの連携を進め、観光振興をはかれたと考える。 また、既存事業に加え、令和7年度から開始した環八ヶ岳連携推進協議会の発足や毎月の幹事会の開催等、レイクリゾート構想も含めた広域的な連携をさらに進め、具体的な事業の実施を図り、観光振興を図ってまいりたい。

◆ 成果指標の動向

●延べ宿泊者数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,768,000	72	コロナ収束簿回復傾向にあるが、この傾向を継続していくことが茅野市観光のカギとなる。
実績値	1,537,000	1,486,000	1,437,000						

●外国人宿泊者数（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000	-	コロナ過からの回復はみられるが、外国人観光客の個人旅行への変容等の高まりに、十分な対応ができていない。
実績値	1,451	県未公開	県未公開						

●観光消費額（千円）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	14,369,000	58	交通網の改良による通過型観光に拍車がかかり、滞在することへの付加価値があげられていない。
実績値	11,974,000	11,578,520	11,578,520						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には、自慢できる自然景観がある	80.2%	85.8%
茅野市は、飲食を楽しめる場所が充実している	31.9%	30.5%

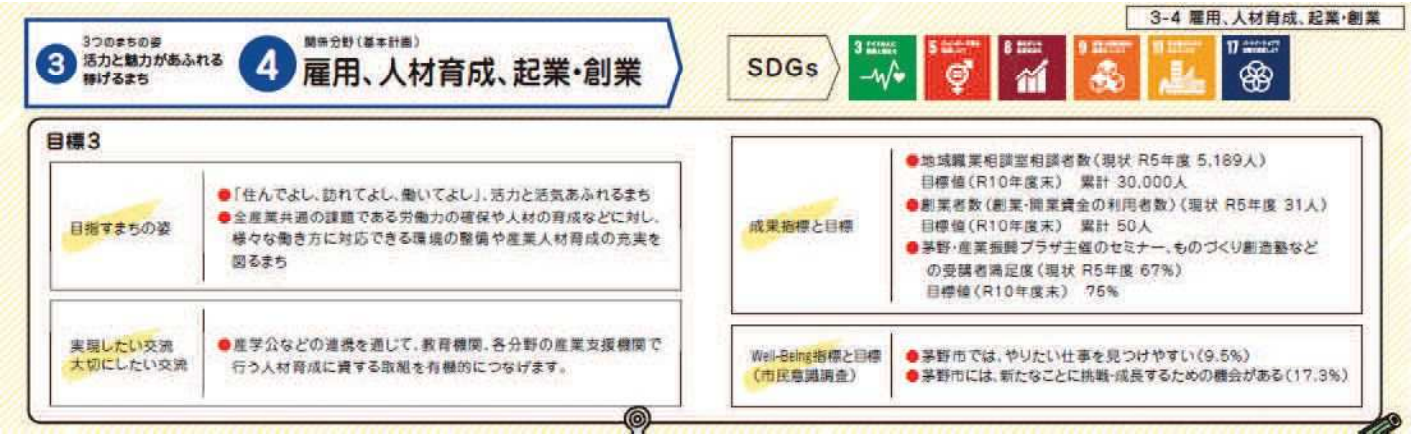
◆ 各重点施策と成果

観光振興の推進（新規顧客の獲得、長期間滞在・リピーターの確保）	（担当課・係名）	観光課　観光係
主な取組内容と成果	茅野市の観光への課題の打破に向け、既存事業と併せ、ちのDMOと連携した観光客ニーズの把握や環八ヶ岳連携推進協議会推進等広域的な連携を図った。	
課　　題	団体型旅行から個人の関心と興味に基づく、「体験型」の個人型観光への変化が進む中、個人観光客へのニーズにいかに応じることができるかが、課題である。 現在は、インターネット等を活用した観光客ニーズの把握やPRを進めている。	
今後の方向性	ちのDMOとの更なる連携を図るとともに、レイクリゾート構想や環八ヶ岳連携推進協議会での広域連携事業の事業実施に取り組む。	

観光振興の推進（魅力ある着地型観光の体制整備・ブランド構築）	（担当課・係名）	観光課　観光係
主な取組内容と成果	観光客から「選ばれる観光地」に向けて、観光施設の整備を推進を図った。 また、ちのDMOを中心に既存事業を含めた、近隣の観光協会や観光団体の連携、旅行商品の造成等戦略的な事業展開の推進を実施。	
課　　題	観光客のニーズの把握と併せ、分析を進め豊かな自然や文化、伝統など豊富な茅野市の観光資源をマッチングしていくことが必要となる。 そのために、ちのDMO等観光団体との連携や郷土の食と文化の発掘・発信事業等の事業推進を図る。	
今後の方向性	八ヶ岳の裾野に広がる大自然や「縄文」をはじめとする歴史文化、高原農業、蓼科湖・白樺湖等リゾート観光の活用することで、地域経済の活性化や交流人口増加を図る。 また、観光まちづくりを推進する中核組織「ちのDMO」を支援し観光振興を図る。	

観光振興の推進（インバウンド観光客の誘客拡大に向けた本格的対応）	（担当課・係名）	観光課　観光係
主な取組内容と成果	諏訪観光連盟と連携したインバウンド観光のPRや海外プロモーション事業の実施。 多国語対応パンフレットの作成。	
課　　題	茅野市への訪れる外国人の多くは、中国、台湾等東南アジア諸国からの観光客であるが、団体から個人旅行への変化の中で、欧米からの観光客も増えています。また、欧米からの観光客は、滞在期間及び消費額も多い傾向から、茅野市での誘客と併せ、安心して滞在できる環境整備が筆世である。そのために、滞在中のトラブルにも対応を支援するシステム構築も必要である。	
今後の方向性	諏訪観光協会等広域連携に基づく誘客と併せ、Wi-Fi環境やパンフレットの多言語表記等、個人旅行の受け入れ態勢の整備を図り、外国人観光客が安心して観光できる環境整備を検討する。	

観光振興の推進（「宿泊税」への対応）	（担当課・係名）	観光課　観光係
主な取組内容と成果	長野県やちのDMO等と連携した、特別徴収義務者となる、宿泊事業者や観光関係者、観光客及び市民への把握と情報周知の実施。	
課　　題	特別徴収義務者及び納税者となる宿泊者が、納得できる宿泊税の活用方法の検討。 また、当市の観光振興を実現するための最適で有効な活用方針の検討が必要。	
今後の方向性	宿泊税の活用方法について、地域創生課等庁内での協議に併せ環八ヶ岳連携推進会議等広域的な連携協議を進める中で、納税者が納得できき、効果的な宿泊税の活用を検討していく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	創業者数については、コロナ明けに伴い開業・創業資金利用者は増加傾向となっている。しかしながら人件費や原材料費の高騰など事業者には厳しい状況が予測されるので、女性起業支援や地域創業スクールなどの活動が重要になる。 企業の生産性向上、作業能率の向上につながるセミナーを開催した。企業ニーズに合った内容であることから、受講者満足度が高く、成果指標の達成につながったものと考える。順調な進捗であったと評価する。 企業の人材育成へのニーズは高く、企業支援を行う茅野・産業振興プラザは、重要な組織である。企業訪問等を通じた現場の声を拾いあげ、成果指標の達成に向けた取組を進めていく。 D評価の事業（人材育成等支援事業）については、人材育成のみならず人材確保につながる取組であることから、事業の廃止ではなく、見直しを行っていく。

◆ 成果指標の動向

●地域職業相談室相談者数（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		6,000	12,000	18,000	24,000	30,000	30,000	87	変動は少なく一定の来場者がいる状態が続いている。近年は求職情報も豊富にでており、求職者の受け入れがしやすい状況が続いている。しかし転職サイトなど地域職業相談室以外の利用手段もあることから来場者数の伸び悩みがあると考えられる。
実績値	5,189	5,247	10,445						

●創業者数（創業・開業資金の利用者数）（人）　累計目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		41	51	61	71	81	81	125	開業・創業資金については引き続き増加傾向となっている。商工会議所で行っている諏訪地域創業スクールの効果が出ていると考えられる。
実績値	31	48	64						

●茅野・産業振興プラザ主催のセミナー、ものづくり創造塾などの受講者満足度（%）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		71.0	72.0	73.0	73.0	75.0	75.0	102	毎年度、アンケートや企業訪問等で、企業ニーズを把握し、ニーズに合わせたセミナーを開催してきた。また、令和6年度に好評をいただいた、ものづくり学習塾を継続開催したことで、受講者満足度が向上し、目標値を達成したと考える。
実績値	67.0	70.8	73.1						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

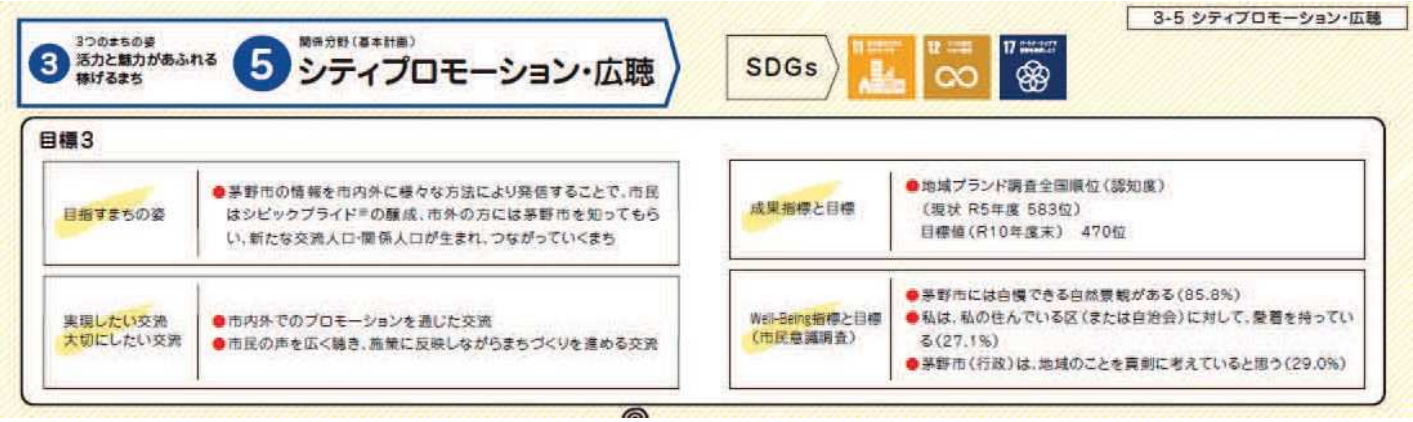
Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい	8.3%	9.5%
茅野市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	12.8%	17.3%

◆ 各重点施策と成果

市内企業への就業の促進	（担当課・係名）	商工課・商業労政係
主な取組内容と成果	新入社員歓迎大会　参加企業数18社、参加者数136名 ・地域職業相談室　相談件数：5198件 ・合同就職説明会　開催数：9回、参加者数804名 ・インターンシップ等促進事業補助金　利用企業数：15社 ・雇用促進奨励金　申請事業者数：11社、就職者数：22名	
課　　題	各取組とも近年は数字の大きな変動はなく、一定の需要が発生している状況となっている。今以上に需要が増えるよう検討していく必要がある。	
今後の方向性	現在の需要を維持、拡大するためにも関係機関との連携をとっていく。雇用促進奨励金についても引き続き企業への周知を行い市内企業への就職へ繋げていく。	

人材育成の推進	（担当課・係名）	商工課・工業・産業振興係
主な取組内容と成果	・人材育成支援等補助　補助金交付件数：39件、研修会等受講・開催事業参加者数：75人 ・茅野・産業振興プラザ主催のセミナー　開催数：14回、受講者数：227人	
課　　題	・人材育成等支援事業は、中小企業の人材確保、生産性向上等につながるものであり、ニーズはあるが、事務事業の評価が低い。 ・企業の品質管理を向上させるため、QC検定受講を推進している。QC検定2級の受講者数が減少しており、団体受検の要件（30人以上）を下回る恐れがある。また、2級の合格率が、全国平均に比べ、著しく低い。	
今後の方向性	・D評価である人材育成等支援事業は、ニーズと評価の乖離があると考える。毎年計画的に人材育成、経営改善事業等に取組む事業者があり、参加者数は目標を達成している。商工業者のみへの周知だけでなく、林業、観光業、農業分野の事業者にも周知を行い、補助金交付件数や事業所数を増やし、全産業の人材育成につながる取組を進めていく。 ・茅野・産業振興プラザ主催のセミナーは、受講者満足度の目標値を達成している。引き続き、企業ニーズに合わせたセミナーを開催し、企業の人材育成につながる取組を進めていく。 ・QC検定の事前講習会を継続して開催し、企業へ資格取得のメリットを周知し、合格率の向上へつなげていく。	

起業・創業の推進	（担当課・係名）	商工課・工業・産業振興係
主な取組内容と成果	・産学公等連携推進事業（コワーキングスペース運営事業）　目的達成のための事業実施数：15事業 ・女性起業支援事業　参加者数：12名、起業者数：2名	
課　　題	・コワーキングスペースの目的である起業・創業支援について、オフィス、ブースが満室であり、新規起業者が入居できる空きがない。 ・起業する物件探しが起業へのハードルを上げている。 ・女性起業支援事業について、事業名称で誤解を招く表現があった。	
今後の方向性	・ベルビア1階のオフィスとの住み分けを行い、起業・創業支援の場として、起業・創業につながるイベントの実施（小商いイベント、スタートアップスクール等）、オフィス、ブースの空きが出た際の入居者募集案内を起業・創業希望者向けとして告知する。 ・起業者数の増加は、地域の活性化につながる。女性起業支援事業の起業者の紹介や周知を行い、起業者数の増加を図る。また、請負事業者と連携し、起業できる物件（チャレンジショップ）を提供することで、より起業しやすい環境作りを構築していく。 ・事業を実施する際に、事業名称のプレチェックを課内全体で行う。他の事業についても、公表前のプレチェックを徹底する（公表前に複数職員で検索するなど仕組化）。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
A	東京、名古屋等地理的なターゲットやプロモーションイベントや、山をはじめとした自然環境を中心にした一貫したSNSによる情報発信によるプロモーション効果により着実に認知度の向上を図ることができている。

◆ 成果指標の動向

●地域ブランド調査全国順位（認知度）（位） ※減少目標　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		563	543	523	503	483	483	100	目標値は、第6次総合計画の目標値に合わせ、令和10年度に483位（100位up）を目指す。 （単年度の目標は20位upとする） 変動要因は調査結果による。
実績値	583	553	510						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には自慢できる自然景観がある	80.2%	85.8%
私は、私の住んでいる区（または自治会）に対して、愛着を持っている	46.1%	27.1%
茅野市（行政）は、地域のことを真剣に考えていると思う	28.5%	29.0%

◆ 各重点施策と成果

戦略的な情報発信の推進	（担当課・係名）	地域創生課・広報係
主な取組内容と成果	交流人口・関係人口増加のためにSNSの発信方法を見直し、ツールとターゲットの使い分け、それぞれ発信する内容の充実とすみわけを図りフォロワー等は着実に増加しており、認知向上の成果を図ることができた。 市内向けの発信では、広報ちのや動画配信において特集記事や番組で担当課と協力しながら、様々な事業や施策について取り扱うことができた。 【成果】 ・動画再生数 365,551回、SNS（インスタグラム）フォロー数 10,078人	
課　　題	シティプロモーションにおいては、一定年齢以上の認知向上は測れているものの30歳代以下における認知不足と、蓼科・白樺湖の観光地と茅野市とのつながりにおいても認知が不足している。 広報紙、ホームページ、行政チャンネル、SNS等多くの広報媒体を抱え、社会情勢の変化の中で運用に係る経費が増大している。	
今後の方向性	20代30代をターゲットにしたシティプロモーションを展開し、この世代の認知向上を図るとともに茅野市の強みを印象付け交流人口・関係人口の増加につなげる。 広報媒体の整理や情報の発信方法を見直しにより、質の高い情報を持続的に発信できる体制を整える。	

広聴の充実	（担当課・係名）	秘書広聴課・秘書広聴係
主な取組内容と成果	年間を通じて受け付けている市政へのメール・手紙と、各地区CCを会場に行った「まちづくり懇談会」を通じて、広く市民の声を聴き取る中で、若者や子育て世代のご意見等に触れ、回答を行うとともに、各部署の施策に反映した。「まちづくり懇談会」の提示資料については、現在茅野市が進めるまちづくりの説明の他に、若者や子育て世代に向けたメッセージも入れ込み、作成した。	
課　　題	各地区CC開催の「まちづくり懇談会」における若者、子育て世代の参加者数が少ないため、参加を促す工夫が必要である。 若者、子育て世代を対象とした「まちづくり懇談会」を開催し、市政への理解とまちづくりへの参画に加え、参加者同士の横のつながりを促す仕組みが必要である。 若者、子育て世代が市政へご意見等を気軽に寄せられるように、引き続きデジタルツールの活用を検討する必要がある。	
今後の方向性	行政のみならず区・自治会、市民団体、民間企業で活躍する若者、子育て世代と積極的に交流を図り、意見や考え方、知見等を課題解決に活かしていく。	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
S	物件見学ツアーの参加者数は年々増加傾向にあり、当初の目標を超える参加者数となっている。移住に伴う転入者数も増加傾向にあり、当初の目標を超える人数となっている。移住希望者が若い世代に移ってきていることに合わせ、市としても若い世代の移住に確実に結ぶつけていくことが今後の課題である。

◆ 成果指標の動向

●物件見学ツアー年間参加人数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		100	100	100	100	100	100（うち40代以下30）	131	コロナ禍を経て移住熱が加速している。キャンセルがあってもキャンセル待ちの方がいて参加者が減らなくなってきている（キャンセル待ちのままツアーに参加できない方が増えている）。
実績値	88（うち40代以下20）	120	131						

●地域ブランド調査全国順位（認知度）（位）　※減少目標　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		563	543	523	503	483	483	100	目標値は、第6次総合計画の目標値に合わせ、令和10年度に483位（100位up）を目指す。 （単年度の目標は20位upとする） 変動要因は調査結果による。
実績値	583	553	510						

●転入者数（人）　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	108	県外からの転入（外国人含む）が増加傾向である。
実績値	2,106	2,267	2,269						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	13.2%	10.0%
茅野市には、適切な収入を得るための機会がある	11.3%	10.7%
茅野市では、適度な費用で住居を確保できる	31.3%	31.1%

◆ 各重点施策と成果

交流人口・関係人口の創出	（担当課・係名）	地域創生課地域創生係
主な取組内容と成果	・人口減少、少子高齢化に対応するために策定した茅野市地域創生総合戦略に基づき、庁内各部署が一体となり地方創生の実現に向けた取組を推進 ・地域資源の魅力等を市内外の人に向けて戦略的に発信 ・長野県マッチングシステムの運営委託 【成果】 ・交流人口・関係人口創出に向けた市内事業への参加数 134人	
課　　題	事業の成果は、単に参加者数等ではなく、この事業によりどの程度の経済効果があったかなど、別の視点での捕捉が必要であると考えられるため、何らかの指標を模索していきたい。	
今後の方向性	婚活支援を除く事業は、交付金を活用した事業で、令和8年度が交付対象の最終年度である。令和8年度中に、交流人口・関係人口創出事業のあり方について方向性を決定したい。	

移住・定住の促進	（担当課・係名）	移住・交流推進室移住・交流推進係
主な取組内容と成果	・楽ちの主催による物件見学ツアーの開催及び移住体験住宅の運営 ・長野県・諏訪圏域とのセミナー等の開催 ・移住支援金の交付 ・地域おこし協力隊の採用から任期終了後までのサポート 【成果】 ・行政サポートを通じた移住者数 96人	
課　　題	・物件見学ツアーへ参加したくても定員をはるかに超える申し込みで参加できない ・移住体験住宅の利用可能数より多くの申込みがある ・移住相談件数は年々増加しているが移住へどれだけ結びついているのか	
今後の方向性	・物件見学ツアーとは違う形での物件案内等の実施 ・移住体験住宅ではない民間施設等の活用案内 ・移住までの確率の高いセミナーやツアーの実施	



◆ 施策の進捗状況

進捗評価	担当課所見
B	令和7年度末時点では本施策の実施による成果が直接的に指標に表れたものではなく、茅野市が進めているまちづくりが全体として奏功し、鉄道や駅周辺利用者の増加につながっているものと考える。

◆ 成果指標の動向

●JR茅野駅乗車人数（人）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	-	茅野市が進めているまちづくりが全体として奏功し、鉄道利用者の増加につながっているものと考える。 ※令和7年度実績は5月時点でJRから未発表
実績値	3,352	3,474	未発表						

●JR茅野駅周辺の1日平均滞在者数（人）　　単年目標

	R5（基準値）	R6	R7	R8	R9	R10	R10年度末（目標値）	R7達成度（%）	変動要因等
目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	93	茅野市が進めているまちづくりが全体として奏功し、駅周辺滞在者の増加につながっているものと考える。
実績値	2,512	2,537	2,796						

◆ Well-Being指標と目標（市民意識調査）

Well-Being指標	実績値（R7年度）	目標値（R10年度）
茅野市は、飲食を楽しめる場所が充実している	31.9%	30.5%
茅野市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	12.8%	17.3%

◆ 各重点施策と成果

JR茅野駅西口エリア活性化の推進	（担当課・係名）	都市計画課都市計画係
主な取組内容と成果	新たな交流の拠点として、茅野駅前賑わい交流拠点施設「8Peaks living」の整備を完了した。	
課　　題	・現在ほとんど使われていないペデストリアンデッキのテレワーク拠点施設への改修。 ・駅周辺と蓼科湖、白樺湖といった他の交流拠点と繋ぎ、市内の広範囲に賑わいを広げること。 ・茅野駅西口駅前広場の老朽化、歩行者導線の悪さの解消、ベルビアとの一体性を持った活用に向けたリニューアル。	
今後の方向性	・茅野駅前賑わい交流拠点施設の活用およびテレワーク拠点施設の整備により茅野駅周辺の滞在者数を増加させる。 ・各交流拠点間を繋ぐソフト事業の実施により、6次総に掲げる交流のまちづくりを推進する。 ・茅野駅西口駅前広場のリニューアル計画の検討着手（再開）。	

茅野市地域創生総合戦略　数値目標・KPI管理シート

基本目標	数値目標・KPI	算出方法	R1実績値	単位	推移						目標値		目標値の根拠	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R10	R10	
全体	生産年齢人口比率	茅野市の将来人口推計（将来展望推計）における生産年齢人口比率	56.7	%	56.4	56.2	56.2	56.2	56.3	56.4	55.8	55.8	令和10年度に茅野市の将来人口推計（将来展望推計）55.8%を達成するため、生産年齢人口比率を割合により算出した。	企画課
基本目標1	市内観光地延利用者数	長野県観光地利用者統計調査	3,301,500	人	3,259,100	2,141,200	3,337,300	3,742,100	3,635,700	3,797,000	3,367,000	4,300,000	第6次茅野市総合計画において観光地利用者数15%増を目標としていることから、この目標の達成を目指す。	観光課
	茅野市観光情報サイトアクセス数	茅野観光ナビ・ちの旅ホームページのアクセス件数	810,000	件	1,355,555	1,422,348	1,380,086	1,233,588	999,653	980,711	1,000,000	2,000,000	100万アクセスを達成したことから、5年間で倍増を目標とする。	観光課
	茅野市SNSリーチ件数	SNSを通じて市から発信された情報へのリーチ数	108,864	件	373,815	784,819	932,420	863,708	1,118,086	1,817,689	587,645	1,000,000	SNS（Instagram（ストーリーは除く）、Facebook、LINE）のリーチ件数の増加。新型コロナ情報の発信で一時的に急増したが、通常時の情報発信を充実させ100万アクセスを目指す。	地域創生課
	蓼科エリア観光地利用者数	長野県観光地利用者統計における蓼科の利用者数	1,495,100	人	1,480,800	1,003,900	1,509,700	1,627,300	1,582,300	1,648,500	1,540,000	1,871,400	第6次茅野市総合計画において観光地利用者数15%増を目標としていることから、この目標の達成を目指す。	観光課
	尖石縄文考古館来館者数	尖石縄文考古館への年間の来館者数	56,953	人	26,366	32,442	54,030	51,425	56,438	55,070	65,000	60,000	令和4・5年度の来館者数の平均が52,727人で、令和6年度もこれに近い数値となる見込みである。来館者の増加をめざし企画展等のさまざまな事業を展開していくが、急激に進行する人口減少を考慮し、理想目標としてこの数値を設定する。	文化財課
	市内観光消費額	長野県観光地利用者統計調査	1,046,730	万円	1,033,084	686,644	1,066,949	1,197,412	1,157,852	1,211,340	1,067,600	1,436,900	第6次茅野市総合計画において観光消費額20%増を目標としていることから、この目標の達成を目指す。	観光課
基本目標2	「将来、茅野市に住みたい」と思う15歳から18歳の割合	茅野市在住者15歳～18歳向けアンケート結果において、「ずっと住みたい」、「一度は県外へ出ても、将来的に茅野市へ戻って住みたい」と回答した子どもの数	36.7	%	36.8	未実施	未実施	未実施	（58.1）	30.3	60	60	人口ビジョンの実績から年齢的に将来の居住地を決めかねている子どもを4割程度と見込み、残りの6割については、将来茅野市に戻ってきたいと思えるようなまちを目指す。R6年度は簡易実施、R7年度は市内高校に通学する生徒を対象にアンケートを実施した。	企画課
	コワーキングスペース売上額	コワーキングスペース年間売上額	7,476	千円	10,053	9,824	11,855	12,020	13,679	13,867	8,200	14,420	地方創生推進交付金KPI値。工業振興ビジョン管理指標値 ※R5実績（直近）×1.20（約20%物価等上昇率）＝14,424千円 ⇒14,420千円	商工課
	別荘地の水道使用量	別荘地の水道使用量（蓼科、白樺湖、チェルトの森、三井の森）	262,925	㎥	215,309	227,059	236,747	225,441	238,530	246,286	285,000	263,000	コロナ以前の水道使用量への回復を目指し、令和元年の数値に戻すことを目標とする。	観光課
	CHUKOらんどチノチノ利用者数	CHUKOらんどチノチノ利用者数	13,909	人	2,898	3,470	3,994	7,429	10,374	9,888	17,000	17,000	第3次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）目標数値	こども課
	公立諏訪東京理科大学卒業生の諏訪地域内創業・就業者数	公立諏訪東京理科大学卒業生の諏訪地域創業・就業者数	28	人	26	25	15	23	13	13		23	第1次茅野市地域創生総合戦略の目標値を継続	商工課
基本目標3	社会増減数	転入者数-転出者数	115 （5年累計）	人	62	118	85	111	319	444	510 （5年累計）	1,881 （9年累計）	第2次茅野市人口ビジョン目標数値	企画課
	設備投資促進支援件数	設備投資促進支援利用件数	23	件	33	22	19	18	29	18	24	23	第2次工業振興ビジョンの中小企業振興補助金（目標9件）、製造業等労務環境改善補助金（目標15件）の合算数値 ※5年平均値23件	商工課
	新規創業者数	制度融資開業資金・創業資金年間利用者数	19 （5年平均）	人	16	25	15	33	17	13	20 （5年平均）	20 （5年平均）	茅野市創業支援等事業計画目標数値	商工課
	市内製造業従業者数	工業統計調査数値	8,932	人	8,485	8,914	9,018	8,807	8,936	8,777	8,932	8,932	生産年齢人口の減少を産業の新陳代謝や、働く場所の確保支援により現状値を維持する	商工課

基本目標	数値目標・KPI	算出方法	R1実績値	単位	推移						目標値		目標値の根拠	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R10	R10	
基本目標3	市内事業所就業者数	経済センサス数値(※速報値含む)	25,435	人	25,020	25,020	25,903	25,903	25,903	25,903	25,435	25,435	生産年齢人口の減少を産業の新陳代謝や、働く場所の確保支援により現状値を維持する	商工課
	新規就農者数	諏訪地域振興局へ報告する就農者数	12 (5年累計)	人	12	16	15	16	15	18	22 (5年累計)	25 (5年累計)	11年間の平均就農者数＝4.1人(46人÷11年)。R6年度から「信州ちの就農ラボ」も新設されたことから5人／年を目指す。	農林課
	待機児童数	待機児童数	0	人	0	0	0	0	0	0	0	0	引き続き待機児童0を目指す。	幼児教育課
	楽園信州ちの協議会を通じた移住・定住件数	協議会に報告があった移住者数	52(7) ※	件	69(46)人	60(21)人	67(33)人	56(26)	96(43)	94(36)	52(20)	70(30)	R2ーR5の平均値を維持しながら、若者の移住者を増やすことを目指す。	地域創生課
	楽園信州ちの協議会の実施するツアーへの参加者数	協議会の実施するツアーへの参加実績	130(43) ※	人	0(0)	0(0)	96(16)	88(13)	120(21)	131(22)	130(70)	100(30)	R4、R5の平均値を維持しながら、若者の参加者を増やすことを目指す。	地域創生課
	住宅政策に係る支援を受けた移住・定住世帯数	住宅リフォーム促進事業、サンコーポラス旭ヶ丘の入居促進・活用事業、住宅団地販売促進事業による支援を受けた移住・定住者数	28(19) ※	世帯	36(18)	96(48)	47(16)	18(7)	23(10)	11(5)	140(85) (5年累計)	50(30)	空き家対策促進事業のうち改修及び家財等処分を利用した移住・定住者：年間見込2世帯(1世帯)×5年＝10世帯(5世帯) サンコーポラス入居移住者：R5実績5戸(3戸)×5年＝25世帯(15世帯) サンコーポラス退去定住者：年間見込3件(2件)×5年＝15世帯(10世帯) 計 50世帯(25世帯)	都市計画課
基本目標4	出生数	茅野市統計情報	399		353	354	299	310	269	247		300	目標値設定時の出生数の減少傾向を踏まえ、目標値設定時の出生数の維持を目指す	企画課
	人口千人当たりの婚姻件数	婚姻件数×千人/人口	5.8	件	3.5	3.9	3.6	3.3	3.2	3.4	7	7	第1次総合戦略の目標未達成のため、引き続き設定する (第1次の際の現状値が6。そこから1人上げる目標)	地域創生課
	産後ケア事業の利用 延べ人数・日数	短時間通所型(件数)＋1日通所型(日数)＋宿泊型(日数)訪問型(日数)	527	人+日	622	615	573	523	501	452		500	国の成育医療等基本方針に基づく評価指標で目標値を「増加」としているが、出生数は減少している	健康づくり推進課
	育てにくさを感じたとき対処できる親の割合	対処できる親の数/育てにくさを感じている親の数(%) ※「対処できる」とは、育てにくさを感じた時に、相談先を知っている等何らかの解決方法を知っている場合を指します。	77.2	%	77.8	82.9	78.2	79.4	79.5	81.8	85	90	国の成育医療等基本方針に基づく評価指標(すこやか親子21が同方針に基づく国民運動に位置づけられた)の目標値を目指す	健康づくり推進課
	相談解決の割合	相談終了数÷相談件数(%)	100	%	100	100	100	100	100	100	100	100	引き続き100%を維持する。	こども課
	茅野市は子育て支援・補助が手厚いと感じている市民の割合	市民意識調査の設問における満足度平均点	2.84	点	コロナの影響により未実施	コロナの影響により未実施	未実施	2.84	2.83	2.89		4	【市民意識調査】該当の設問の満足度平均点で4(ほぼ満足)の数値を目指す	企画課
基本目標5	茅野市の行政サービス全般について満足している市民の割合	市民意識調査「茅野市の行政サービス全般について、どの程度満足していますか。」の設問における、ある程度満足である、満足であると回答した人の割合	なし	%	コロナの影響により未実施	コロナの影響により未実施	未実施	未実施	40.2	45.7		40.2 (R6年度の割合を上回ること)	【市民意識調査】行政サービスに満足する市民がR6年度時点より増えていくことを目指す	企画課

※()内は、15歳以上45歳未満の数値

基本目標：全体・基本目標1（人口・観光の基本動向と情報発信の強化）

生産年齢人口比率（%）

【担当課: 企画課】



将来展望推計における生産年齢人口比率。R7実績は56.4%と、推計値（55.8%）を上回る安定した水準を維持しています。

市内観光地延利用者数（人）

【担当課: 観光課】



総合計画の目標である15%増（430万人）を目指します。コロナ禍から順調に回復し、R7は379.7万人に達しました。

茅野市観光情報サイトアクセス数（件）

【担当課: 観光課】



100万アクセス達成に伴い目標を200万回に設定。R7は98万回と横ばい傾向で、情報発信の充実が鍵となります。

茅野市SNSリーチ件数（件）

【担当課: 地域創生課】



Instagram、Facebook、LINEの合計。コロナ後の通常発信を充実させ、R7には181.7万件と目標を大幅に超過達成。

蓼科エリア観光地利用者数（人）

【担当課: 観光課】



第6次総合計画における観光地利用者数15%増が目標。R7実績は164.8万人と、着実な増加基調をたどっています。

尖石縄文考古館来館者数（人）

【担当課: 文化財課】



企画展等を精力的に展開。急速な人口減少の影響も考慮した、現実的な理想目標としてR10目標を6万人に設定。

基本目標2（1）：産業・観光の活性化と関係人口拡大

市内観光消費額（万円）

【担当課: 観光課】



目標20%増に向け、R7実績は121.1億円（1,211,340万円）を達成。観光単価の向上と消費の拡大を目指します。

「将来、市に住みたい」思う割合（%）

【担当課: 企画課】



R6は簡易調査、R7は市内高校生対象 of 本格アンケートで30.3%。地元に愛着を持ち戻りたいと思える環境を整えます。

コワーキングスペース売上額（千円）

【担当課: 商工課】



地方創生推進交付金KPI。直近実績に物価上昇率等を加味し目標を14,420千円に設定。R7は13,867千円と極めて堅調。

別荘地の水道使用量（㎥）

【担当課: 観光課】



関係人口を示す重要指標。コロナ前の水準への完全回復を目標（263,000㎥）とし、R7実績は24.6万㎥と着実に回復。

CHUKOらんどチノチノ利用者数（人）

【担当課: こども課】



こども・家庭応援計画指標。制限緩和と魅力向上によりR7実績は9,888人まで回復。

理科大卒業生の諏訪地域就業者数（人）

【担当課: 商工課】



第1次戦略目標値（23人）を継続。地元大学との連携を強め、理工系人材の地域内就職を後押しします。

基本目標2（2）：創業・設備投資と地域雇用の維持向上

社会増減数（人）

【担当課: 企画課】



人口ビジョン目標。R6に208人、R7に125人の転入超過と非常に好調。R10までの累計目標1,881人に向け順調な進捗。

設備投資促進支援件数（件）

【担当課: 商工課】



中小企業振興補助金等の合算。5年平均23件を目標とし、製造業の労務環境改善や生産性向上投資を伴走支援。

新規創業者数（人）

【担当課: 商工課】



創業支援事業計画目標。各種制度を活用した創業を促進。R10に向け5年平均で年20人の水準維持を目指します。

市内製造業従業者数（人）

【担当課: 商工課】



生産年齢人口の減少下でも、新陳代謝やスマート化、雇用維持活動を支援し、現状8,930人規模の維持に注力。

市内事業所就業者数（人）

【担当課: 商工課】



経済センサスに基づく働く場所の確保支援指標。R7実績は25,903人をマークし、就業者数の維持目標を十分にクリア。

新規就農者数（人）

【担当課: 農林課】



5年累計。「信州ちの就農ラボ」が早期稼働。R7実績は単年6名と改善。R10累計25名を目指して支援体制を確立。

基本目標3：移住・定住の促進と結婚・子育て環境整備

待機児童数（人）

【担当課: 幼児教育課】



働く世帯への最重要インフラとして、R1からR7まで一貫して待機児童ゼロを堅持。今後も需要を的確に予測し対応。

「楽園信州ちの」を通じた移住・定住件数（件）

【担当課: 地域創生課】



「楽園信州ちの」経由の移住。R6の96件に続きR7も84件と高水準を達成。若年層の自立的な移住定住を促進し目標挑戦。

「楽園信州ちの」ツアーへの参加者数（人）

【担当課: 地域創生課】



コロナ期の対面休止からV字回復を遂げ、R7実績は131名とコロナ前水準を突破。魅力的なプログラムを展開。

住宅政策に係る支援を受けた移住世帯数（世帯）

【担当課: 都市計画課】



空き家改修、市営サンコーポラス等の活用。R3の突出期（96世帯）を経て、現在は単年11世帯、目標50世帯を目指す。

出生数（人）

【担当課: 企画課】



少子化の波に抗えず、R7実績は247人に。目標値として設定した「300人の維持」に向け、教育・定住環境を充実。

人口千人当たりの婚姻件数（件）

【担当課: 地域創生課】



未婚化トレンドによりR7実績は3.4件。出会いの機会創出から生活安定まで一体的な施策を講じます。

基本目標4・基本目標5：子育て支援と市民満足度の向上

産後ケア事業の利用延人数・日数（人・日）

【担当課: 健康づくり推進課】



国の成育医療等基本方針に基づく評価指標。出生数が減少するなか、利用延べ人日はR2～R3のピーク（600超）から漸減傾向にありますが、引き続き必要なケアの提供に努め、R10目標の500人日を目指します。

育てにくさを感じたとき対処できる親の割合（%）

【担当課: 健康づくり推進課】



相談先を知っている親の比率。R7は81.8%と上昇基調にあります。国の指標（すこやか親子21）の90%超を目指します。

相談解決の割合（%）

【担当課: こども課】



相談終了数／相談件数。寄り添い相談の徹底によりR1からR7まで一貫して解決率100%を完全維持。

「子育て支援手厚い」と感じる市民の割合（点）

【担当課: 企画課】



市民意識調査における満足度平均点の推移。目標の4.0点（ほぼ満足）を目指します。

行政サービスに満足している市民の割合（%）

【担当課: 企画課】



行政サービス全般に「満足・ある程度満足」と答えた割合。R6の40.2%から、R7は45.7%へ上昇。更なる効率化と利便性向上へ。

令和7年度分に係るデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）等
対象事業の実績等について

【担当課：地域創生課】

事業名	立川市を起点とし多摩地区及び首都圏からの交流人口・関係人口の拡大及び地域資源への関わりを通じた関係人口創出事業	年次	4年目
事業概要	茅野駅からJR特急あずさで約100分でアクセスすることができる立川駅周辺には、約150社のIT関連企業が集積している。当市のコワーキング施設「ワークラボ八ヶ岳」を活用する立川商工会議所「たちかわIT交流会」と当市は連携を進めており、この連携を起点として、立川市および多摩地区との関係性の深化・拡大を図り、都内からの関係人口の創出・拡大につなげていく。 公立諏訪東京理科大生を対象に諏訪地域に住み続ける生活スタイルを前提としたインターンシップ事業や、立川市のIT関連企業と市内製造業とのビジネスマッチング等を行う。 多摩地区だけでなく都市部の企業が茅野市へ訪問および進出するためのニーズ等を把握し、従来とは差別化したビジネス効率や生産性の向上に寄与するワーケーションプログラムの造成やシティプロモーションを行う。 従来からの地域資源について、地元市民以外の視点を取込み新たな活用を図る。資源の強みだけではなく、物足りない部分や地元市民だけでは克服できない部分を見える化し、地元以外の市民の「関わりしろ」についてデジタル技術を活用し広く発信していく。それに興味を持つ人と地元市民により地域資源を見直す「コトづくり」を通して新たな関係人口の創出を目指す。		
R7取組	・昨年度の多摩地域の大学生を対象としたワークショップにおいて提言を受けた関係人口創出事業を、ワークショップに参加した大学生と協働して「ボランティアクエスト」として実証的に実施した。 ・都市部の企業を対象としたテレワークプログラム「ウェルネステレワーク」の市内定着と受入れ態勢確立のため、市内事業者が主体的に関わったスキームで実証的に取り組んだ。 ・前年度に実施した「リスキリングツアー」に加え、市内出身者等を対象とした「シビックプライド醸成ツアー」を実施し、交流人口・関係人口の拡大に取り組んだ。		

	KPIの項目	目標値 実績値	単位	事業開始前	R4	R5	R6	R7
KPI 【目標値】	IT関連企業の首都圏等からのサテライトオフィスの設置および起業数	目標値	社	－	0	1	1	2
		実績値		0	0	0	1	0
	立川市を始めとする都市部のIT企業等と行うイベント等への参加者数	目標値	人	－	10	20	20	30
		実績値		0	30	17	7	4
	地域資源への「関わりしろ」について発信した情報の到達数	目標値	件	－	0	700	1,250	2,000
		実績値		0	517	13,257	32,283	23,128
	地域資源に関する「コトづくり」事業等への参加者数	目標値	人	－	0	10	25	30
		実績値		0	13	13	20	41
交付対象事業費等	交付対象事業費		円	－	9,989,100	10,173,900	4,681,600	4,298,115
	交付額（交付対象事業費/2）			－	4,994,550	5,086,950	2,345,800	2,149,057

【担当課：DX推進課】

事業名	便利で暮らしやすい「若者に選ばれるまち」の構築～茅野市DX推進プロジェクト～	年次	4年目
事業概要	地域DX推進により「若者に選ばれるまち」の実現を目指す。そのため市民や事業者、関係団体等の理解醸成に資する「基本計画の策定」から、プロジェクトPMO、IT専門家などによる助言を踏まえて「地域DXサービスの実装」を目指す。		
R7取組	・昨年度に引き続き、専門人材によるDX事業推進支援を受けながら、都市OSと医療・介護の多職種コミュニケーションツールの運用に取り組んだ。 ・都市OSについては、昨年度、利用者増加に向け、都市OSの入口となるポータルサイト「茅野市どっとネット」と市公式ホームページとのデータ連携に取り組み、茅野市どっとネットが有するプッシュ配信機能を活用して市公式ホームページの最新情報を都市OS利用者にメール配信することを可能とした。しかし、メールが最新記事情報の数だけ配信されるという点で、ユーザビリティに課題があることが判明した。そのため、本年度は、複数のメールを1つのメールに集約して配信できるよう、機能改善に取り組んだ。 ・医療・介護の多職種コミュニケーションツールについては、内閣府の先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革に関する調査事業も活用し、よりセキュリティレベルが高く、かつ、ユーザーにとって使いやすいネットワーク構成に見直しを行った。また、これまでは事業に係る経費の全額を市が負担していたが、ネットワーク構成の見直しに併せて、持続可能な運用体制を目指し、一部事業者負担を導入した。		

	KPIの項目	目標値 実績値	単位	事業開始前	R4	R5	R6	R7
KPI 【目標値】	都市OS利用者（ID登録者）数	目標値	人	－	30	100	800	3,200
		実績値		0	279	518	433	637
	都市OSを活用したサービスの実証件数	目標値	件	－	0	1	4	6
		実績値		0	8	1	2	1
	デジタル人材研修受講者数	目標値	人	－	30	60	100	180
		実績値		0	30	60	113	325
		目標値						
		実績値						
交付対象事業費等	交付対象事業費		円	－	35,398,872	75,443,943	50,806,520	34,025,194
	交付額（交付対象事業費/2）			－	17,699,436	37,721,971	25,403,260	17,012,597

【担当課：地域創生課】

事業名	八ヶ岳ファン拡大を通じた関係人口創出事業	年次	2年目
事業概要	20～30代をターゲットとした八ヶ岳を中心とした多様な魅力のある暮らしを伝えるプロモーション活動。 若い世代や女性を対象に、UIJターン者が地域での関わりを定着するための多様な稼ぎ方の支援を行う。		
R7取組	・八ヶ岳の麓で自分らしく生活を送る人を「暮らしのマイスター」として、20～30代のうち特に人生のモヤモヤ期（クォータークライシス）を抱える人をターゲットに、なぜこの地域で暮らしている（選んだ）かや、自分自身の生活・仕事、八ヶ岳の麓で暮らす魅力などをイベント等を通じて発信した。イベント内容は現地（茅野市）ツアー、都内でのCRAFT my life展（暮らしの展示会）を実施した。 ・女性を対象に、個別伴走型を中心とした企業・創業支援を実施した。また、販促セミナー、プレゼンテーションセミナー、交流会等を行い、締めくくりとして成果発表会を実施した。 ・「八ヶ岳の麓で遊びつくす」をテーマとした動画を15本製作、広くプロモーションに活用できるようYouTubeチャンネルで公開した。		

	KPIの項目	目標値 実績値	単位	事業開始前	R4	R5	R6	R7
KPI 【目標値】	地域へのUIJターン数	目標値	人	－	－	－	20	20
		実績値		1,284	－	－	86	86
	イベント参加者等による新たな事業の創出	目標値	人	－	－	－	0	1
		実績値		0	－	－	1	2
	プロモーション動画等の到達数	目標値	件	－	－	－	150,000	200,000
		実績値		0	－	－	204,990	204,548
	プロモーションイベント等への参加者数	目標値	人	－	－	－	30	30
		実績値		0	－	－	135	89
交付対象事業費等	交付対象事業費		円	－	－	－	14,377,220	14,847,520
	交付額（交付対象事業費/2）			－	－	－	7,188,610	7,423,760

【担当課：都市計画課】

事業名	ちのナレッジベース（仮）を核とした賑わいの創出と移住・二地域居住促進事業	年次	1年目
事業概要	まちの賑わいや魅力の向上、交流の促進を目的として、茅野駅前商業ビル「ベルビア」1階の空き床に、ビジネスや教育、情報交換、交流、観光情報の取得など様々な目的で、地域内外の人が必然的に集積する施設を整備する。 施設の整備後は、施設を最大限に活用するために各種セミナーやピッチイベント、地域内で新たなビジネスを興そうとする方への支援、これまで駅周辺に訪れる目的が乏しかった市民向けの交流事業などを指定管理者と協力して展開する。		
R7取組	・設計、工事、運営まで一体的に行う事業者をプロポーザルにより選定（DBO方式）し、施設の整備を行った。八ヶ岳の玄関口である茅野駅の先に広がる居心地の良い「リビング」のような場所にしたいという願いを込めて、施設の愛称は「8Peaks living（エイトピークスリビング」とした。 ・施設の整備と並行して、商工課の「産業まちづくり推進プロモーション事業」と連携し、テレビ東京の番組内において本再開発を特集した。メディアを通じた広域的なPRにより、駅前エリアの認知度向上と関係人口の呼び込みを図り、ハード・ソフト一体となった賑わい創出を推進した。		

	KPIの項目	目標値 実績値	単位	事業開始前	R7	R8	R9	R10
KPI 【目標値】	生産年齢人口比率	目標値	%	－	56.1	55.9	55.7	55.6
		実績値		56.3	56.4	－	－	－
	JR茅野駅周辺の一日平均滞在者数	目標値	人	－	2,562.0	2,662.0	2,812.0	3,012.0
		実績値		2512.0	2,537.0	－	－	－
	各種セミナーやピッチイベント、交流事業等の来場者数	目標値	人	－	100.0	400.0	800.0	1,300.0
		実績値		0.0	0.0	－	－	－
	起業・開業促進のための、各種申請ワンストップセンターの相談件数	目標値	件	－	5.0	15.0	35.0	55.0
		実績値		0.0	0.0	－	－	－
交付対象事業費等	交付対象事業費		千円	－	212,641	35,000	35,000	－
	交付額（交付対象事業費/2）			－	106,320	17,500	17,500	－

令和７年度分　地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の実績等について

◆　制度の概要

平成28年度税制改正により創設

- 本社の住所が対象団体にない企業からの寄附が対象
- 寄附額の最大6割が軽減効果の対象
- 国の認定を受けた事業への寄附が対象
- 平成32年（令和２年）３月31日までの寄附が対象

令和２年度税制改正により制度改正

- 寄附額の軽減効果の対象を最大９割まで拡大
- 地方版総合戦略の抜粋・転記による地域再生計画の認定が可能
- 対象期間を令和６年度まで（５年間）延長

令和７年度税制改正により制度改正

- 対象期間を令和９年度まで（３年間）延長
- 寄附活用事業の実施に当たり、地方公共団体におけるチェック機能の強化
- 地域再生計画の認定取消しを受けた場合の再申請にかかる欠格期間（２年間）の創設

◆　実績

１　地域再生計画の認定（令和２年11月６日認定）

地域再生計画名称

茅野市地域創生推進計画　～若者に「選ばれるまち」の実現を目指して～

２　寄附の実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
件数	2	1	8	11	11	5	（件）
金額	11,000	3,500	28,300	17,050	3,300	1,300	（千円）

寄附活用事業（R7年度）

- 地域創生推進事業費
- 制度融資あっせん等事業費
- 乳幼児健診事業費
- 地域DX推進事業費

担当課
企画部地域創生課

令和7年度　茅野市　市民意識調査　集計結果

1　調査の概要

対象者：茅野市内に居住する満18歳以上の男女2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査期間：令和8年（2026年）1月13日（火）～2月27日（金）

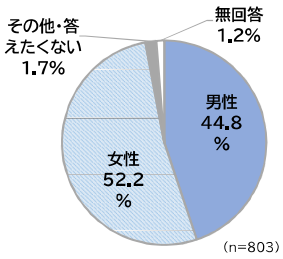
2　回収結果

有効回収数：803人

3　調査結果

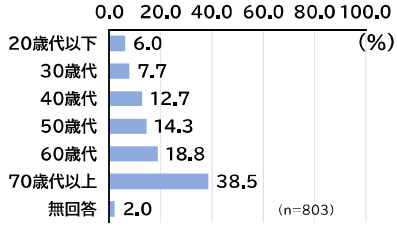
問1 あなたの性別を教えてください（1つに○）

選択肢	度数	割合(%)
男性	360	44.8
女性	419	52.2
その他・答えたくない	14	1.7
無回答	10	1.2
合計	803	100.0



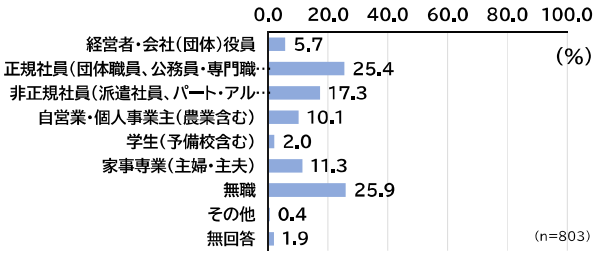
問2 あなたの年齢を教えてください

選択肢	度数	割合(%)
20歳代以下	48	6.0
30歳代	62	7.7
40歳代	102	12.7
50歳代	115	14.3
60歳代	151	18.8
70歳代以上	309	38.5
無回答	16	2.0
合計	803	100.0



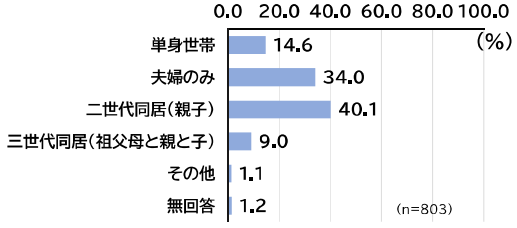
問3 あなたの職業を教えてください（1つに○）

選択肢	度数	割合(%)
経営者・会社（団体）役員	46	5.7
正規社員（団体職員、公務員・専門職含む）	204	25.4
非正規社員（派遣社員、パート・アルバイト含む）	139	17.3
自営業・個人事業主（農業含む）	81	10.1
学生（予備校含む）	16	2.0
家事専業（主婦・主夫）	91	11.3
無職	208	25.9
その他	3	0.4
無回答	15	1.9
合計	803	100.0



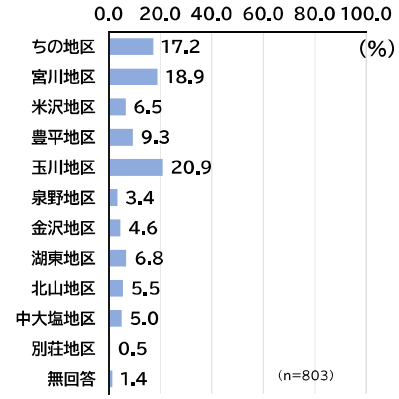
問4 世帯構成を教えてください（1つに○）

選択肢	度数	割合(%)
単身世帯	117	14.6
夫婦のみ	273	34.0
二世代同居（親子）	322	40.1
三世代同居（祖父母と親と子）	72	9.0
その他	9	1.1
無回答	10	1.2
合計	803	100.0



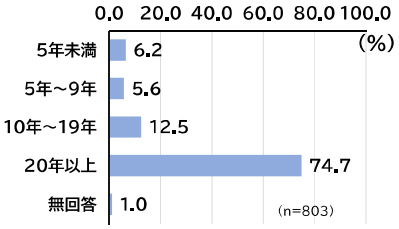
問5 お住まいの地区を教えてください(1つに○)

選択肢	度数	割合(%)
ちの地区	138	17.2
宮川地区	152	18.9
米沢地区	52	6.5
豊平地区	75	9.3
玉川地区	168	20.9
泉野地区	27	3.4
金沢地区	37	4.6
湖東地区	55	6.8
北山地区	44	5.5
中大塩地区	40	5.0
別荘地区	4	0.5
無回答	11	1.4
合計	803	100.0



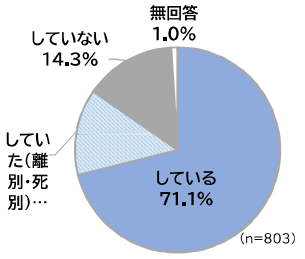
問6 茅野市には何年くらいお住まいですか(1つに○)

選択肢	度数	割合(%)
5年未満	50	6.2
5年～9年	45	5.6
10年～19年	100	12.5
20年以上	600	74.7
無回答	8	1.0
合計	803	100.0



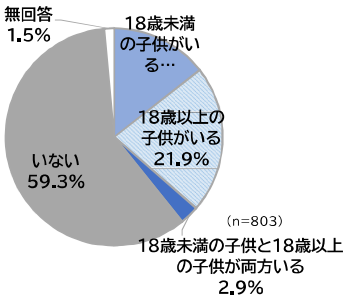
問7 あなたは結婚されていますか(事実婚を含む)(1つに○)

選択肢	度数	割合(%)
している	571	71.1
していた(離別・死別)	109	13.6
していない	115	14.3
無回答	8	1.0
合計	803	100.0



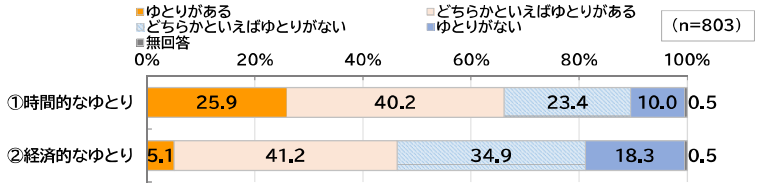
問8 あなたには同居しているお子さんがいらっしゃいますか(1つに○)

選択肢	度数	割合(%)
18歳未満の子供がいる	116	14.4
18歳以上の子供がいる	176	21.9
18歳未満の子供と18歳以上の子供が両方いる	23	2.9
いない	476	59.3
無回答	12	1.5
合計	803	100.0



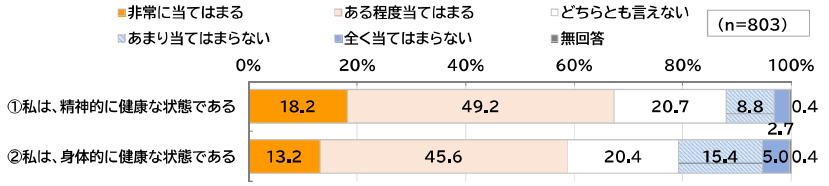
問9 普段の暮らしにおける時間的なゆとりと、経済的なゆとりの有無についてお聞かせください（それぞれ1つに○）

	ゆとりがある	どちらかといえばゆとりがある	どちらかといえばゆとりがない	ゆとりがない	無回答	合計
①時間的なゆとり	208	323	188	80	4	803
②経済的なゆとり	41	331	280	147	4	803



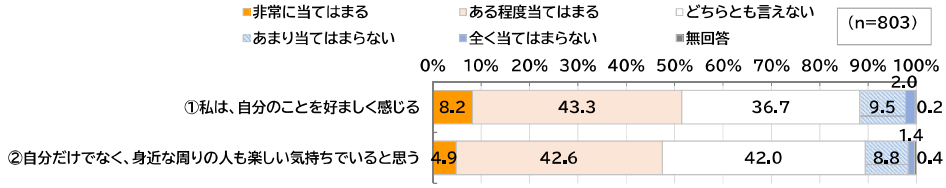
問10 あなたの健康状態をお聞かせください（それぞれ1つに○）

	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答	合計	平均点
①私は、精神的に健康な状態である	146	395	166	71	22	3	803	3.72
②私は、身体的に健康な状態である	106	366	164	124	40	3	803	3.47



問11 あなたの物事の捉え方や価値観などをお聞かせください（それぞれ1つに○）

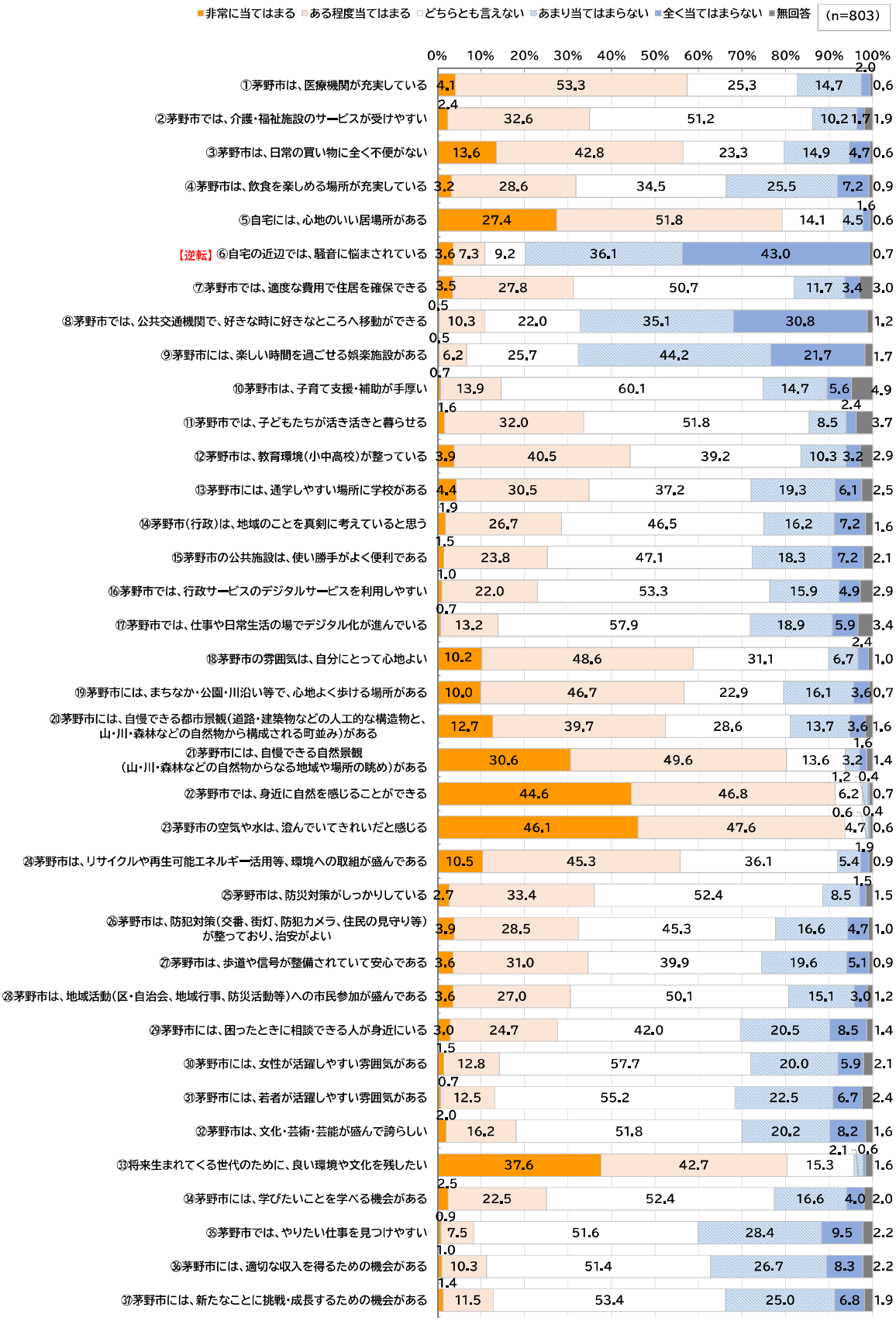
	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答	合計	平均点
①私は、自分のことを好ましく感じる	66	348	295	76	16	2	803	3.46
②自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う	39	342	337	71	11	3	803	3.41



問12 茅野市での暮らしの様々な場面について、あなたの考えをお聞かせください（それぞれ1つに○）

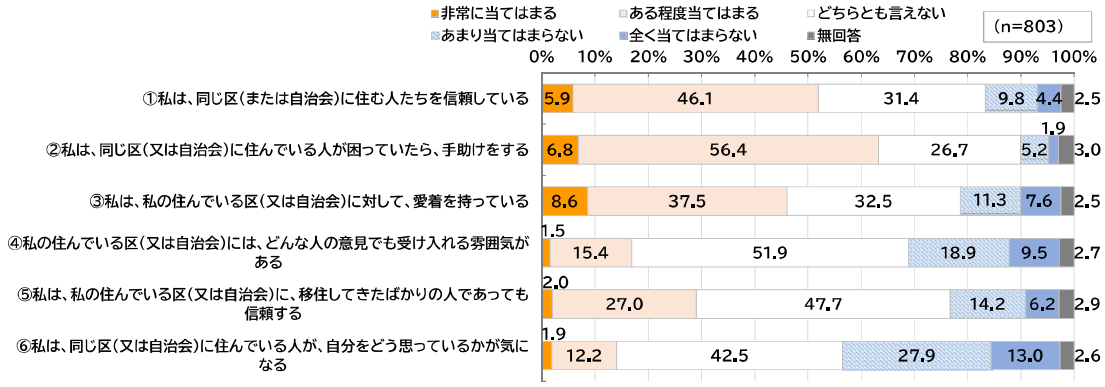
	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答	合計	平均点
①茅野市は、医療機関が充実している	33	428	203	118	16	5	803	3.43
②茅野市では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	19	262	411	82	14	15	803	3.24
③茅野市は、日常の買い物に全く不便がない	109	344	187	120	38	5	803	3.46
④茅野市は、飲食を楽しめる場所が充実している	26	230	277	205	58	7	803	2.95
⑤自宅には、心地のいい居場所がある	220	416	113	36	13	5	803	3.99
⑥自宅の近辺では、騒音に悩まされている【逆転】	29	59	74	290	345	6	803	1.92
⑦茅野市では、適度な費用で住居を確保できる	28	223	407	94	27	24	803	2.83
⑧茅野市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	4	83	177	282	247	10	803	3.86
⑨茅野市には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	4	50	206	355	174	14	803	2.18
⑩茅野市は、子育て支援・補助が手厚い	6	112	483	118	45	39	803	2.89
⑪茅野市では、子どもたちが活き活きと暮らせる	13	257	416	68	19	30	803	3.23
⑫茅野市は、教育環境（小中高校）が整っている	31	325	315	83	26	23	803	3.32
⑬茅野市には、通学しやすい場所に学校がある	35	245	299	155	49	20	803	3.08
⑭茅野市（行政）は、地域のことを真剣に考えていると思う	15	214	373	130	58	13	803	3.00
⑮茅野市の公共施設は、使い勝手がよく便利である	12	191	378	147	58	17	803	2.94
⑯茅野市では、行政サービスのデジタルサービスを利用しやすい	8	177	428	128	39	23	803	3.02
⑰茅野市では、仕事や日常生活の場でデジタル化が進んでいる	6	106	465	152	47	27	803	3.16
⑱茅野市の雰囲気は、自分にとって心地よい	82	390	250	54	19	8	803	2.42
⑲茅野市には、まちなか・公園・川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	80	375	184	129	29	6	803	3.44
⑳茅野市には、自慢できる都市景観（道路・建築物などの人工的な構造物と、山・川・森林などの自然物から構成される町並み）がある	102	319	230	110	29	13	803	3.45
㉑茅野市には、自慢できる自然景観（山・川・森林などの自然物からなる地域や場所の眺め）がある	246	398	109	26	13	11	803	4.06
㉒茅野市では、身近に自然を感じることができる	358	376	50	10	3	6	803	4.35
㉓茅野市の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる	370	382	38	5	3	5	803	4.39
㉔茅野市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	84	364	290	43	15	7	803	3.58
㉕茅野市は、防災対策がしっかりしている	22	268	421	68	12	12	803	3.28
㉖茅野市は、防犯対策（交番、街灯、防犯カメラ、住民の見守り等）が整っており、治安がよい	31	229	364	133	38	8	803	3.10
㉗茅野市は、歩道や信号が整備されていて安心である	29	249	320	157	41	7	803	3.09
㉘茅野市は、地域活動（区・自治会、地域行事、防災活動等）への市民参加が盛んである	29	217	402	121	24	10	803	3.13
㉙茅野市には、困ったときに相談できる人が身近にいる	24	198	337	165	68	11	803	2.93
㉚茅野市には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	12	103	463	161	47	17	803	2.84
㉛茅野市には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	6	100	443	181	54	19	803	2.77
㉜茅野市は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16	130	416	162	66	13	803	2.83
㉝将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	302	343	123	17	5	13	803	4.16
㉞茅野市には、学びたいことを学べる機会がある	20	181	421	133	32	16	803	3.03
㉟茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい	7	60	414	228	76	18	803	2.61
㊱茅野市には、適切な収入を得るための機会がある	8	83	413	214	67	18	803	2.68
㊲茅野市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	11	92	429	201	55	15	803	2.75

※項目内に【逆転】の記載があるものは、あてはまるほどネガティブな項目である。


■非常に当てはまる ■ある程度当てはまる □どちらとも言えない ■あまり当てはまらない ■全く当てはまらない ■無回答
(n=803)
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
①茅野市は、医療機関が充実している 4.1 53.3 25.3 14.7 2.0 0.6
②茅野市では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい 2.4 32.6 51.2 10.2 1.7 1.9
③茅野市は、日常の買い物に全く不便がない 13.6 42.8 23.3 14.9 4.7 0.6
④茅野市は、飲食を楽しめる場所が充実している 3.2 28.6 34.5 25.5 7.2 0.9
⑤自宅には、心地のいい居場所がある 27.4 51.8 14.1 4.5 1.6 0.6
【逆転】⑥自宅の近辺では、騒音に悩まされている 3.6 7.3 9.2 36.1 43.0 0.7
⑦茅野市では、適度な費用で住居を確保できる 3.5 27.8 50.7 11.7 3.4 3.0
⑧茅野市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる 0.5 10.3 22.0 35.1 30.8 1.2
⑨茅野市には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある 0.5 6.2 25.7 44.2 21.7 1.7
⑩茅野市は、子育て支援・補助が手厚い 0.7 13.9 60.1 14.7 5.6 4.9
⑪茅野市では、子どもたちが活き活きと暮らせる 1.6 32.0 51.8 8.5 2.4 3.7
⑫茅野市は、教育環境(小中高校)が整っている 3.9 40.5 39.2 10.3 3.2 2.9
⑬茅野市には、通学しやすい場所に学校がある 4.4 30.5 37.2 19.3 6.1 2.5
⑭茅野市(行政)は、地域のことを真剣に考えていると思う 1.9 26.7 46.5 16.2 7.2 1.6
⑮茅野市の公共施設は、使い勝手がよく便利である 1.5 23.8 47.1 18.3 7.2 2.1
⑯茅野市では、行政サービスのデジタルサービスを利用しやすい 1.0 22.0 53.3 15.9 4.9 2.9
⑰茅野市では、仕事や日常生活の場でデジタル化が進んでいる 0.7 13.2 57.9 18.9 5.9 3.4
⑱茅野市の雰囲気は、自分にとって心地よい 10.2 48.6 31.1 6.7 2.4 1.0
⑲茅野市には、まちなか・公園・川沿い等で、心地よく歩ける場所がある 10.0 46.7 22.9 16.1 3.6 0.7
⑳茅野市には、自慢できる都市景観(道路・建築物などの人工的な構造物と、山・川・森林などの自然物から構成される町並み)がある 12.7 39.7 28.6 13.7 3.6 1.6
㉑茅野市には、自慢できる自然景観(山・川・森林などの自然物からなる地域や場所の眺め)がある 30.6 49.6 13.6 3.2 1.6 1.4
㉒茅野市では、身近に自然を感じることができる 44.6 46.8 6.2 1.2 0.4 0.7
㉓茅野市の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる 46.1 47.6 4.7 0.6 0.4 0.6
㉔茅野市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである 10.5 45.3 36.1 5.4 1.9 0.9
㉕茅野市は、防災対策がしっかりしている 2.7 33.4 52.4 8.5 1.5 1.5
㉖茅野市は、防犯対策(交番、街灯、防犯カメラ、住民の見守り等)が整っており、治安がよい 3.9 28.5 45.3 16.6 4.7 1.0
㉗茅野市は、歩道や信号が整備されていて安心である 3.6 31.0 39.9 19.6 5.1 0.9
㉘茅野市は、地域活動(区・自治会、地域行事、防災活動等)への市民参加が盛んである 3.6 27.0 50.1 15.1 3.0 1.2
㉙茅野市には、困ったときに相談できる人が身近にいる 3.0 24.7 42.0 20.5 8.5 1.4
㉚茅野市には、女性が活躍しやすい雰囲気がある 1.5 12.8 57.7 20.0 5.9 2.1
㉛茅野市には、若者が活躍しやすい雰囲気がある 0.7 12.5 55.2 22.5 6.7 2.4
㉜茅野市は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 2.0 16.2 51.8 20.2 8.2 1.6
㉝将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい 37.6 42.7 15.3 2.1 0.6 1.6
㉞茅野市には、学びたいことを学べる機会がある 2.5 22.5 52.4 16.6 4.0 2.0
㉟茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい 0.9 7.5 51.6 28.4 9.5 2.2
㊱茅野市には、適切な収入を得るための機会がある 1.0 10.3 51.4 26.7 8.3 2.2
㊲茅野市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある 1.4 11.5 53.4 25.0 6.8 1.9

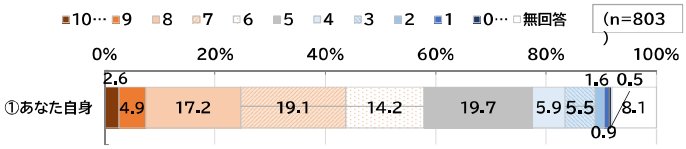
問13 あなたの住んでいる区(または自治会)や近所の人たちとの関係性について、考えをお聞かせください(それぞれ1つに○)

	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答	合計	平均点
①私は、同じ区(または自治会)に住む人たちを信頼している	47	370	252	79	35	20	803	3.40
②私は、同じ区(又は自治会)に住んでいる人が困っていたら、手助けをする	55	453	214	42	15	24	803	3.63
③私は、私の住んでいる区(又は自治会)に対して、愛着を持っている	69	301	261	91	61	20	803	3.29
④私の住んでいる区(又は自治会)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	12	124	417	152	76	22	803	2.80
⑤私は、私の住んでいる区(又は自治会)に、移住してきたばかりの人であっても信頼する	16	217	383	114	50	23	803	3.04
⑥私は、同じ区(又は自治会)に住んでいる人が、自分をどう思っているかが気になる	15	98	341	224	104	21	803	2.61



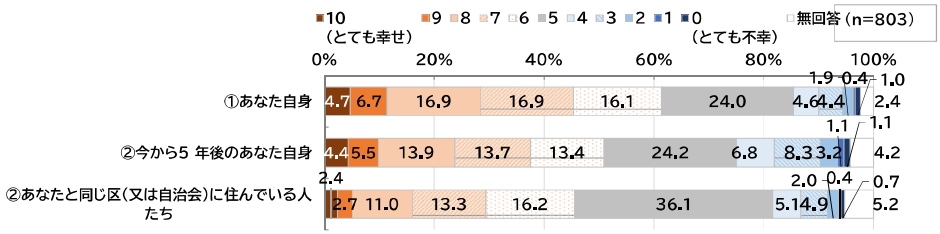
問14 あなたの暮らしの満足度について、考えをお聞かせください。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点として、最も近い感覚の数字を選んでください(1つに○)

	10(とても満足)	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0(とても不満足)	無回答	合計	平均点
①あなた自身	21	39	138	153	114	158	47	44	13	7	4	65	803	6.18



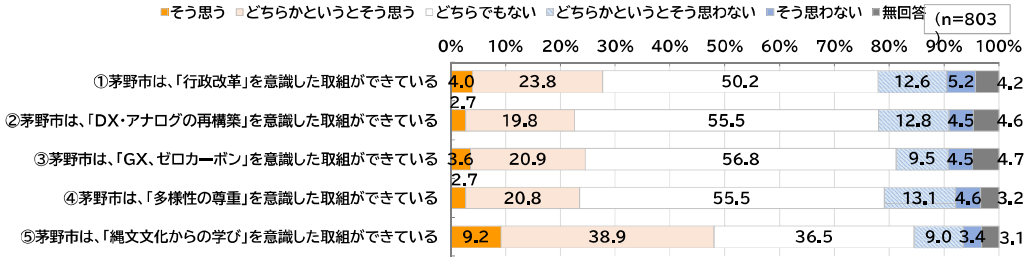
問15 あなた自身と、同じ区(又は自治会)に住んでいる人たちの幸福感について、考えをお聞かせください。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、最も近い感覚の数字を選んでください(それぞれ1つに○)

	10(とても幸せ)	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0(とても不幸)	無回答	合計	平均点
①あなた自身	38	54	136	136	129	193	37	35	15	3	8	19	803	6.29
②今から5 年後のあなた自身	35	44	112	110	108	194	55	67	26	9	9	34	803	5.87
②あなたと同じ区(又は自治会)に住んでいる人たち	19	22	88	107	130	290	41	39	16	3	6	42	803	5.76



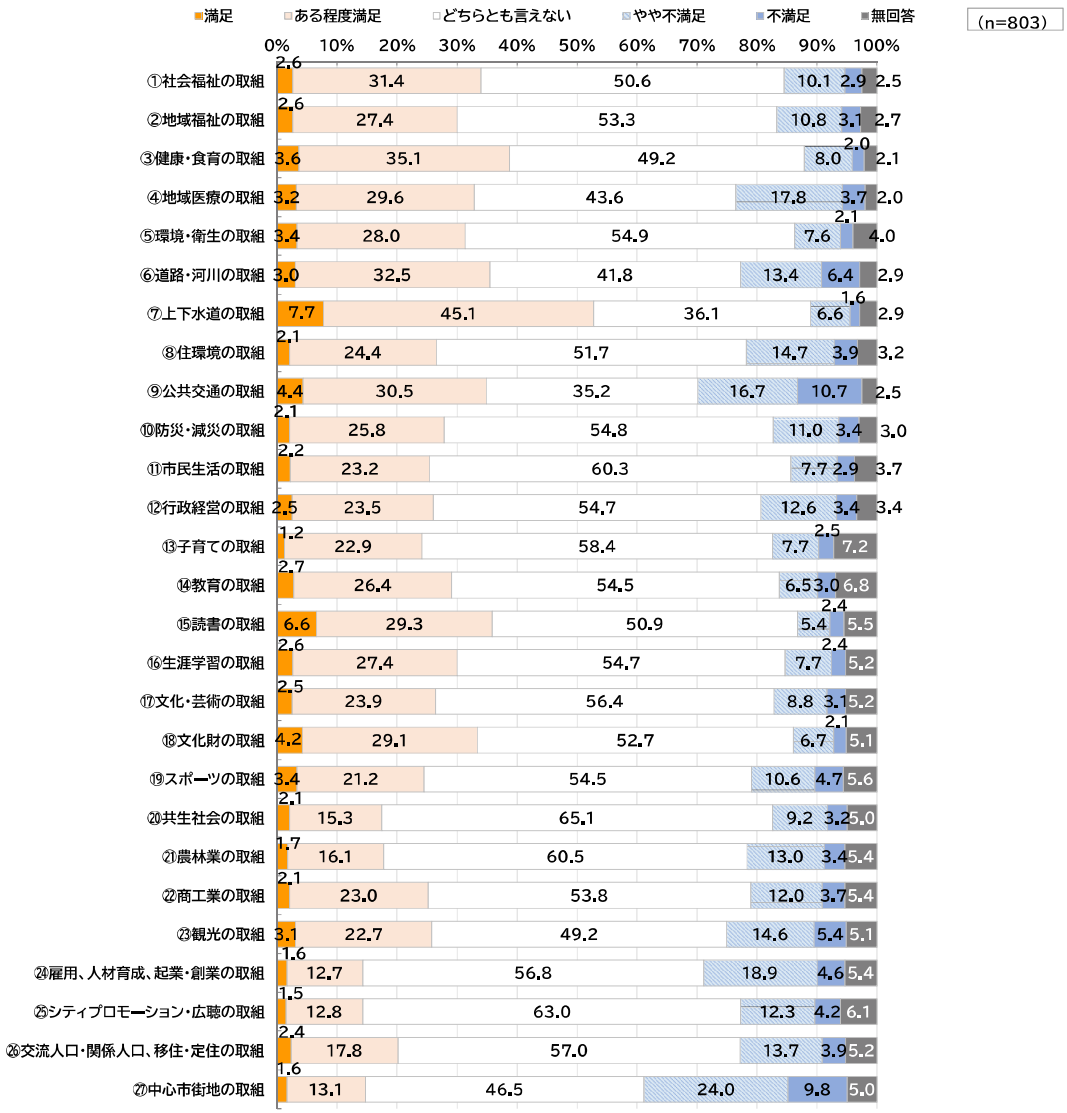
問16 茅野市は以下のような手段・価値観を意識した取組ができていると感じるか、率直な考えをお聞かせください(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらでもない	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答	合計	平均点
①茅野市は、「行政改革」を意識した取組ができている	32	191	403	101	42	34	803	3.09
②茅野市は、「DX・アナログの再構築」を意識した取組ができている	22	159	446	103	36	37	803	3.04
③茅野市は、「GX、ゼロカーボン」を意識した取組ができている	29	168	456	76	36	38	803	3.10
④茅野市は、「多様性の尊重」を意識した取組ができている	22	167	446	105	37	26	803	3.04
⑤茅野市は、「縄文文化からの学び」を意識した取組ができている	74	312	293	72	27	25	803	3.43



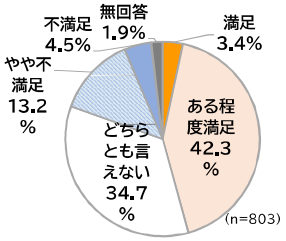
問17 茅野市が実施している様々な取組について、どの程度満足しているか(満足度)をお聞かせください(それぞれ1つに○)

	満足	ある程度満足	どちらとも言えない	やや不満足	不満足	無回答	合計	平均点
①社会福祉の取組	21	252	406	81	23	20	803	3.21
②地域福祉の取組	21	220	428	87	25	22	803	3.16
③健康・食育の取組	29	282	395	64	16	17	803	3.31
④地域医療の取組	26	238	350	143	30	16	803	3.11
⑤環境・衛生の取組	27	225	441	61	17	32	803	3.24
⑥道路・河川の取組	24	261	336	108	51	23	803	2.87
⑦上下水道の取組	62	362	290	53	13	23	803	2.48
⑧住環境の取組	17	196	415	118	31	26	803	3.06
⑨公共交通の取組	35	245	283	134	86	20	803	3.01
⑩防災・減災の取組	17	207	440	88	27	24	803	3.13
⑪市民生活の取組	18	186	484	62	23	30	803	3.15
⑫行政経営の取組	20	189	439	101	27	27	803	3.10
⑬子育ての取組	10	184	469	62	20	58	803	3.14
⑭教育の取組	22	212	438	52	24	55	803	3.21
⑮読書の取組	53	235	409	43	19	44	803	2.66
⑯生涯学習の取組	21	220	439	62	19	42	803	2.79
⑰文化・芸術の取組	20	192	453	71	25	42	803	2.85
⑱文化財の取組	34	234	423	54	17	41	803	3.28
⑲スポーツの取組	27	170	438	85	38	45	803	3.08
⑳共生社会の取組	17	123	523	74	26	40	803	3.04
㉑農林業の取組	14	129	486	104	27	43	803	3.00
㉒商工業の取組	17	185	432	96	30	43	803	3.08
㉓観光の取組	25	182	395	117	43	41	803	3.04
㉔雇用、人材育成、起業・創業の取組	13	102	456	152	37	43	803	2.87
㉕シティプロモーション・広聴の取組	12	103	506	99	34	49	803	2.95
㉖交流人口・関係人口、移住・定住の取組	19	143	458	110	31	42	803	3.01
㉗中心市街地の取組	13	105	373	193	79	40	803	2.71


満足
ある程度満足
どちらとも言えない
やや不満足
不満足
無回答
(n=803)
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
①社会福祉の取組 2.6 31.4 50.6 10.1 2.9 2.5
②地域福祉の取組 2.6 27.4 53.3 10.8 3.1 2.7
③健康・食育の取組 3.6 35.1 49.2 8.0 2.0 2.1
④地域医療の取組 3.2 29.6 43.6 17.8 3.7 2.0
⑤環境・衛生の取組 3.4 28.0 54.9 7.6 2.1 4.0
⑥道路・河川の取組 3.0 32.5 41.8 13.4 6.4 2.9
⑦上下水道の取組 7.7 45.1 36.1 6.6 1.6 2.9
⑧住環境の取組 2.1 24.4 51.7 14.7 3.9 3.2
⑨公共交通の取組 4.4 30.5 35.2 16.7 10.7 2.5
⑩防災・減災の取組 2.1 25.8 54.8 11.0 3.4 3.0
⑪市民生活の取組 2.2 23.2 60.3 7.7 2.9 3.7
⑫行政経営の取組 2.5 23.5 54.7 12.6 3.4 3.4
⑬子育ての取組 1.2 22.9 58.4 7.7 2.5 7.2
⑭教育の取組 2.7 26.4 54.5 6.5 3.0 6.8
⑮読書の取組 6.6 29.3 50.9 5.4 2.4 5.5
⑯生涯学習の取組 2.6 27.4 54.7 7.7 2.4 5.2
⑰文化・芸術の取組 2.5 23.9 56.4 8.8 3.1 5.2
⑱文化財の取組 4.2 29.1 52.7 6.7 2.1 5.1
⑲スポーツの取組 3.4 21.2 54.5 10.6 4.7 5.6
⑳共生社会の取組 2.1 15.3 65.1 9.2 3.2 5.0
㉑農林業の取組 1.7 16.1 60.5 13.0 3.4 5.4
㉒商工業の取組 2.1 23.0 53.8 12.0 3.7 5.4
㉓観光の取組 3.1 22.7 49.2 14.6 5.4 5.1
㉔雇用、人材育成、起業・創業の取組 1.6 12.7 56.8 18.9 4.6 5.4
㉕シティプロモーション・広聴の取組 1.5 12.8 63.0 12.3 4.2 6.1
㉖交流人口・関係人口、移住・定住の取組 2.4 17.8 57.0 13.7 3.9 5.2
㉗中心市街地の取組 1.6 13.1 46.5 24.0 9.8 5.0

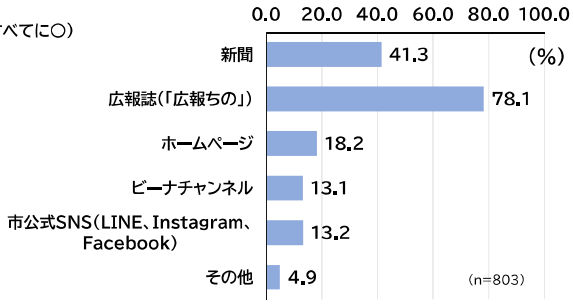
問18 茅野市の行政サービス全般について、どの程度満足していますか(1つに○)

選択肢	度数	割合(%)
満足	27	3.4
ある程度満足	340	42.3
どちらとも言えない	279	34.7
やや不満足	106	13.2
不満足	36	4.5
無回答	15	1.9
合計	803	100.0



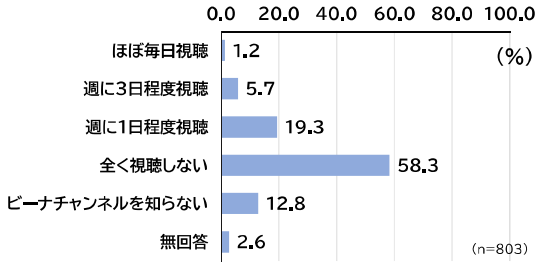
問20 茅野市からの情報を主にどのような媒体から得ていますか(当てはまるものすべてに○)

選択肢	度数	割合(%)
新聞	332	41.3
広報誌(「広報ちの」)	627	78.1
ホームページ	146	18.2
ビーナチャンネル	105	13.1
市公式SNS(LINE、Instagram、Facebook)	106	13.2
その他	39	4.9
回答者数	803	



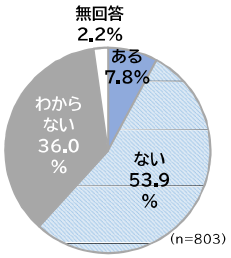
問21 茅野市行政チャンネル(ビーナチャンネル)をどの程度視聴していますか(1つに○)(1日に10分以上視聴する場合を1日としてカウントしてください)

選択肢	度数	割合(%)
ほぼ毎日視聴	10	1.2
週に3日程度視聴	46	5.7
週に1日程度視聴	155	19.3
全く視聴しない	468	58.3
ビーナチャンネルを知らない	103	12.8
無回答	21	2.6
合計	803	100.0



問22 ビーナチャンネルがなくなった場合、何か影響はありますか

選択肢	度数	割合(%)
ある	63	7.8
ない	433	53.9
わからない	289	36.0
無回答	18	2.2
合計	803	100.0



※自由記述のご回答については、関係分野別にまとめて掲載しております（原文ママではありませんのでご了承ください。）

問 19　茅野市のまちづくりについて、ご意見・ご感想等ございましたらお聞かせください。

1. 安心して快適に暮らせるまち

1.1 社会福祉

障害者支援の拡充や、高齢者の生活環境、公共施設における減免制度のあり方について多くの意見が寄せられています。特に、障害者やその家族へのワンストップな手続き体制の構築や、物価高騰下における福祉サービスの負担軽減を求める声が共通しています。また、地域での自立支援や、認知症など将来の不安に対する公的支援の維持を望む意見も見受けられます。

- 知的障害者に対する取組を充実させてほしい。（30 代　男性・米沢地区）
- 障害者手帳保持者の温泉施設利用について、有料化を見直し、月に数日でも無料の日を設けてほしい。（70 代　男性・米沢地区）
- 障害福祉の手続きが一本化されておらず、市役所とサービスセンターで担当が分かれているため、システムを見直すべきである。（50 代　女性・湖東地区）
- 公共施設における障害者割引が縮小されたのは残念である。（50 代　女性・湖東地区）
- 一人暮らしや生活困難な高齢者への対応を充実させてほしい。（70 代　女性・米沢地区）
- 在宅介護の充実はありがたいが、将来、認知症や運転困難になった際の不安は大きい。（70 代　女性・ちの地区）
- 障害がある方が自立して生きていける環境や、それを補助する場所が必要である。（70 代　男性・豊平地区）
- 公共施設の利用について、障害者は無料にすべきである。（70 代　男性・北山地区）
- 身体不自由な家族の付き添いを含め、温泉料金の値上げは大きな負担になっている。（80 代　女性・ちの地区）
- 高齢者の活動を制限しないよう、公共施設の使用料徴収を以前の状態に戻してほしい。（80 代　男性・米沢地区）
- 福祉課は親切で非常に世話になっているが、自治会に頼りすぎない行政を望む。（70 代　男性・玉川地区）
- 高齢者の活動はやめるきっかけになりやすいため、施設使用料の無料化を継続すべきである。（80 代　男性・米沢地区）
- 公共温泉の値上げはひどすぎる。600 円は高すぎる。気軽に行けるような場所ではなくなってしまい非常に困っている。収入も増えない中で全て値上げされてしまい楽しむ場所、リラックスできる場所に行けなくなり絶望している。半年に 1 回は、4000 円の回数券を復活させて販売してほしい。そうすれば、利用者も増加すると思う。お願いします。（40 代　男性・ちの地区）
- 温泉施設について　値上げは問題ないのですが、県外者価格は残して欲しかったですね。理由として、私達は市県民税を納めているからです。それに付随しますが、ドライヤーのダイソンを置き、5 分 100 円とは利用して欲しいのか、欲しく無いのか理解し難いです。利用者と維持費を考えた時に、安いドライヤーで 1 分 10 円なら理解出来ますが、ダイソンの必要性は全くありません。（40 代　女性・泉野地区）
- 市営の温泉市民も市外の者と同じ 600 円にしたのは高すぎる。もとに戻して欲しい。値上げ後は「すわっこランド」へ行くようになった。20 時以降は 310 円（60 代　男性・玉川地区）

- 市内の温泉料金がアップしましたが家族みんなで行くと高額となり使用する回数が減った。市内の人と市外の人の差があっても良いと思う。（70 代 女性・宮川地区）
- 温泉施設の存在はありがたいです。残してもらいたい施設です。（70 代 男性・泉野地区）
- いろいろかきたいが私はうまく言えないが1つだけ言います。お風呂ですが年寄りは 300 円でありがたいが若い人が 600 円は高すぎるから風呂に行かない。500 円ぐらいなら人も入りに行くと思います。市長さんもうちょっと市民の為に働いて下さい。（80 代 女性・豊平地区）

1.2 地域福祉

自治会（区）の運営負担や、加入の是非、地域内での支え合いの仕組みに関する意見が集中しています。役員のなり手不足や、未入区者との不公平感、さらに強制的な出払金や寄付金に対する不満が記録されています。行政主導での負担軽減や、時代に合わせた地域コミュニティの再構築を求める切実な要望が多岐にわたります。また、温泉施設の料金設定や運営のあり方に対する要望も寄せられています。

- 移住してきたばかりで区のエリアが分からず、既存住民前提の対応に困惑している。（30 代 女性・宮川地区）
- 高齢化により区の役員が重複しており、今後 20 年で区の存続が危ぶまれる。（50 代 男性・金沢地区）
- 他市町の例を参考に、行政主導で自治会の負担解消を図る工夫を行ってほしい。（50 代 男性・玉川地区）
- 寄付や清掃不参加時の出払金といった半強制的なシステムを、行政から改善指導すべきである。（50 代 男性・ちの地区）
- 区に加入することを義務とするような空気をなくすべきである。（70 代 男性・玉川地区）
- 自治会費が年間 3 万円と高すぎ、用途も不明確である。除雪や総会不参加への罰金は不当である。（年齢無回答 女性・玉川地区）
- 未入区者が負担を負わない現状は公平性に欠けるため、市として大至急対応してほしい。（80 代 男性・金沢地区）
- 公民館や祭りの経費をかけすぎており、移住者の負担にならないよう簡素化すべきである。（50 代 女性・湖東地区）
- 独居老人の互助が少なく、見守り体制に不安がある。（80 代 男性・中大塩地区）
- 地区の縛りが強く、移住者を受け入れる姿勢が不十分である。（70 代 女性・豊平地区）
- 区を出ている人への行政サービスが乏しく、自治会に頼りすぎている。（70 代 男性・玉川地区）
- 役員のなり手がおらず、ボランティア活動やサークル維持が限界にきている。（70 代 女性・ちの地区）
- 移住者にとって自治会加入のメリットが乏しく、活動への参加も難しい。（年齢無回答 女性・玉川地区）

1.3 健康・食育

心身の健康維持に向けた環境づくりや、食を通じた健康増進に関する意見が寄せられています。豊かな自然環境での健康的な暮らしに感謝する声がある一方、健康診断や予防接種の費用負担軽減、指導体制の見直しを求める指摘もみられます。また、身近で手軽に地元野菜を購入できる販売所の設置など、日常的な食環境の整備を望む意見も挙がっています。

- 日々八ヶ岳を仰ぎ、おいしい空気を体いっぱい吸い健康に暮らせる幸せ、ありがたくて、ありがたくて 86 才ですが、元気いっぱいです。この 10 年間かぜもひいたことはありません。これからもよろしくお願い申し上げます。（80 代 女性・湖東地区）

- 健康診断や予防注射なども他の都市では、市が負担して実施しているが、茅野市では個人負担となっている。(60 代 男性・別荘地区)
- 健康診断やって指導員増やして、中央病院へ誘導するのやめてほしい。赤字なのは、人員の合理化をすべきだと思う。一般のクリニックなら 1 人何役もやっている。中央病院は 1 人一つの事しかやらない。あの職員の駐車場と患者の駐車場を比較すればすぐわかる事だ。(60 代 男性・玉川地区)
- 農産物、主に野菜を手軽に購入できる無人販売を含めたところを希望します。昨年閉店した米沢みどり市さんが無くなって不便を感じます。(50 代 その他・答えたくない・豊平地区)

1.4 地域医療

中核となる病院の体制や、特定の診療科の不足、夜間の医療アクセスに関する意見が挙げられています。特に小児科の予約困難な現状や、諏訪中央病院の救急対応・接遇改善を求める声が顕著です。また、高齢層からは、公共交通機関を利用した医療機関へのアクセスの不便さを指摘する意見をいただいています。

- 茅野駅周辺の小児科を増やしてほしい。予約が取りにくく診察が適当な現状がある。(30 代 男性・宮川地区)
- 諏訪中央病院の救急対応や、医師・看護師の言葉の圧力を改善してほしい。(50 代 女性・宮川地区)
- 移住者も安心して利用できるよう、医療施設のさらなる整備を期待している。(40 代 女性・豊平地区)
- 病院の経営不安を耳にするが、市立病院の体制維持は大丈夫か。(70 代 女性・ちの地区)
- 医療施設が診療科によって偏りがあり、特定の科の受診がしにくい。(60 代 女性・米沢地区)
- 夜間の体調不良時に、タクシーに代わる医療アクセス手段が必要である。(50 代 女性・宮川地区)
- のらざあを諏訪日赤病院まで利用できるようにしてほしい。(70 代 女性・玉川地区)
- 医療・介護施設への移動手段が不足しており、特に日赤へのアクセスに困っている。(80 代 女性・ちの地区)

1.5 環境・衛生

ゴミの分別・収集体制や、再生可能エネルギー設備の設置、自然環境の保全に関する意見が中心となっています。ゴミステーションのマナー違反や不燃ゴミ収集の利便性向上を求める声のほか、ソーラーパネル設置による景観悪化や土壌汚染への懸念、森林伐採による生態系への影響を憂慮する意見が寄せられています。

- 金沢地区の富士見寄りなど、暗い場所に街灯を増やしてほしい。(10 代 女性・金沢地区)
- ゴミ袋のシール導入には反対である。(20 代 女性・豊平地区)
- 地区外の人がゴミを捨てるマナー違反があり、区での対応が負担になっている。(50 代 女性・宮川地区)
- 不燃ゴミの収集場所が少なく時間帯も早朝に限られているため、分別が困難である。(50 代 女性・中大塩地区)
- 各地区にゴミをいつでも出せるボックス型の常備設置場所が欲しい。(50 代 女性・ちの地区)
- ソーラーパネル設置地域において、バッテリー液漏れ等による土壌汚染の調査を徹底すべきである。(40 代 男性・ちの地区)
- 環境保全を謳いながら、広大な農地や森林を潰して工場やソーラーパネルを建てるのは矛盾している。(60 代 男性・北山地区)
- 道路へのゴミの投げ捨てが多く、マナー指導や規制を強化してほしい。(50 代 男性・宮川地区)

- プラゴミがかさばるため、燃やすゴミと同様に定期的なステーション回収を行えばリサイクル率が上がる。（60 代　女性・米沢地区）
- リスが住む森が伐採で減ってしまったことがショックであり、本当の豊かな森を守ってほしい。（60 代　女性・北山地区）
- 水質保全のため、PFAS 問題などへの規制を強く持ち、危機感を持って対応すべきである。（70 代　男性・北山地区）
- 太陽光パネルの増設による自然崩壊や景観の喪失が淋しい。（60 代　女性・中大塩地区、70 代　女性・北山地区）
- 農地に空き缶などが年中投げ捨てられる現状を改善してほしい。（80 代　女性・金沢地区）

1.6 **道路・河川**

道路の舗装状態の劣化、渋滞、歩道整備、河川管理について非常に多くの意見が寄せられています。特に市役所周辺や国道 299 号の路面補修、通学路の安全性確保、観光期の渋滞対策を求める声が強く、河川敷の樹木放置や水質汚染を懸念する意見も含まれています。

- 市役所周辺や国道 299 号の路面がガタガタであり、広範囲で修繕してほしい。（20 代　女性・湖東地区）
- インフラ、特に道路の舗装や鉄道関係の整備が不十分である。（20 代　男性・ちの地区）
- 通学者のために安全に歩ける歩道を確保し、反射板や街灯を設置すべきである。（30 代　女性・宮川地区）
- ビーナスラインの長期休暇時の渋滞を改善してほしい。（40 代　女性・米沢地区）
- 玉川の東海高校へ続く農道に街灯がなく、学生の安全のために設置すべきである。（40 代　男性・玉川地区）
- 御柱街道の穴山から長円寺下までの区間に、子供の安全のために歩道を整備してほしい。（50 代　男性・玉川地区）
- 道路の補修が不十分ですぐにひび割れてしまうため、質の高い工事をしてほしい。（年齢無回答　女性・宮川地区）
- 山沿いの道では草や雑木が道路幅を狭めており、車のすれ違いが危険である。（40 代　男性・湖東地区）
- 茅野駅東口付近で観光バスの乗降により道路が塞がっており、危ない。（30 代　女性・ちの地区）
- 河川敷内の樹木を放置せず、適切に処理してほしい。（60 代　男性・ちの地区）
- 宮川に魚が見えなくなったのは塩カルや農薬の影響ではないか、規制を検討すべきである。（70 代　男性・宮川地区）
- 粟沢橋の右折車対応や、狭い道の側溝へのグレーチング設置を希望する。（60 代　男性・泉野地区、50 代　男性・ちの地区）
- 金沢地区の旭ヶ丘入口の横断歩道に信号機を設置してほしい。（10 代　女性・金沢地区）

1.7 **上下水道**

上下水道料金の負担感や、行政の対応スピード、水質の変化に関する意見が挙げられています。料金の減免や市民への還元を求める声のほか、問い合わせに対する返信の遅れや、近年の水道水の味に対する指摘が寄せられています。

- 上水道に関するメール問い合わせに 3 週間以上返信がないのは残念である。（30 代　女性・玉川地区）
- 水道料金の負担が大きく、市民への還元を考えてほしい。（30 代　女性・米沢地区）

- ここ数年、水道水の味が不味くなったと感じる。（50 代　男性・宮川地区）
- 下水道の整備や修繕を計画的に進めてほしい。（70 代　女性・豊平地区）

1.8 **住環境**

空き家対策、日常の買い物環境、騒音、生活利便性に関する意見をいただきました。放置された空き家の管理や雑草対策を求める声が多く、一方で大型商業施設の誘致による買い物利便性の向上を望む声も目立ちました。

- 茅野駅周辺に大型ショッピングセンターを誘致してほしい。（年齢無回答　女性・玉川地区）
- 自宅向かいの山林や空き家が 10 年以上放置され、草刈りなどを近隣が負担している状況を改善してほしい。（40 代　女性・玉川地区）
- 買い物（服や靴）ができる場所が少なく、市外へ出かけざるを得ない。（50 代　女性・豊平地区）
- 飲食店は増えているが、似たようなチェーン店ばかりで魅力が乏しい。（30 代　男性・宮川地区）
- 若者が遊びに行けるカフェや娯楽施設、ショッピング施設を増やしてほしい。（20 代　女性・中大塩地区）
- 住宅地にどんどん家が建つが、自然豊かな住宅地としての行政指導が不足している。（80 代　女性・宮川地区）
- 岡谷市のレイクウォークのような施設が茅野市にも欲しい。（70 代　女性・豊平地区）

1.9 **公共交通**

AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の運用や、バス路線の維持、タクシー不足に関する意見が集中しています。予約の取りづらさや待ち時間の長さなど、現状のシステムに対する改善要望のほか、免許返納後の高齢者の移動手段確保を求める切実な声が寄せられています。

- のらざあは便利だが、予約が取れなかったり、待ち時間が長すぎたりすることがある。（20 代　女性・宮川地区）
- のらざあの運行時間帯を 7:00 から 21:00 まで拡大してほしい。（30 代　女性・中大塩地区）
- 山沿いの地域の公共交通を充実させ、高齢者の送迎負担を軽減してほしい。（30 代　男性・米沢地区）
- 予約制ではなく、市内を循環する定期便のバスを復活させてほしい。（50 代　男性・宮川地区、80 代　女性・宮川地区）
- 北山地区など、のらざあが利用できない地域があるのは不平等である。（70 代　女性・北山地区）
- 免許返納後の自立した生活のため、のらざあの利用地区延長を切望する。（80 代　女性・北山地区）
- タクシーの台数が不足しており、近距離だと断られやすい状況を改善してほしい。（20 代　女性・宮川地区）
- 塩尻市のように、無人運転バスの運行など先進的な取組を検討すべきである。（60 代　男性・別荘地区）
- 立科方面への道路整備をより良くしてほしい。（80 代　男性・宮川地区）

1.10 **防災・減災**

避難所の確保、ハザードマップの精度、災害時の情報伝達に関する意見が述べられています。異常気象や地震への備えを具体化するよう求める声のほか、夜間のサイレンに対する不安や、防災放送の聞き取りにくさを指摘する意見がありました。

- 防災対策を強化し、万が一の際の避難所が確保されているか明確にしてほしい。（50 代 女性・ちの地区）
- 夜 9 時の定時サイレンは、大雨などの緊急放送と聞き間違える恐れがあり、恐怖を感じるため不要である。（50 代 女性・中大塩地区）
- 災害時の各自治会の対応マニュアルをしっかり管理・指導し、訓練を形骸化させないでほしい。（60 代 男性・北山地区）
- ハザードマップの重み付けが甘い。糸魚川―静岡構造線の地震を想定した対策を強化すべきである。（60 代 男性・玉川地区）
- 屋外の防犯・防災放送が聞き取りにくいため、スピーカーの増設や位置の検討をしてほしい。（70 代 女性・ちの地区）
- 災害時の高齢者や障害者の避難場所確保と、その周知を徹底してほしい。（60 代 女性・米沢地区）
- 野焼きや焚き火を禁止し、大火災の発生を防いでほしい。（50 代 女性・金沢地区）

1.11 **市民生活**

防犯、消費生活支援、外国人居住者のマナー、プレミアム商品券のあり方に関する意見が寄せられています。特に物価高騰対策としての還元策について、公平性や手法を問う声が出ているほか、地域の治安維持を求める意見も含まれています。

- 外国人居住者のマナー違反やスクラップ業者への規制を強化し、安心できる生活環境を守ってほしい。（70 代 男性・宮川地区）
- プレミアム商品券は購入資金のある人しか恩恵を受けられないため、低所得者には現金やお米券の方が助かる。（30 代 女性・米沢地区）
- 税金を納めている世帯にも、物価高騰対策の還元を平等に行ってほしい。（40 代 女性・豊平地区）
- プレミアム商品券の通知経費を削減し、マイナンバー等を活用した効率的な手法を検討すべきである。（30 代 女性・米沢地区）
- 消費者への還元だけでなく、防犯カメラの設置や街灯増設を進めてほしい。（10 代 女性・金沢地区）
- お米券の配布について、他市町村の状況を踏まえた情報を広報してほしい。（80 代 女性・宮川地区）

1.12 **行政経営**

行政改革、DX、広報、税金の使い方、職員の接遇に関する多岐にわたる意見がまとめられています。デジタル化の推進を評価する一方で、職員の資質向上や、アンケートの設問設計、広報媒体の効率化（ビーナチャンネルの要不要）を問う厳しい意見も寄せられています。

- 市の財政状況を考え、スケート場や学校統廃合について市長が強いリーダーシップで決断すべきである。（40 代 男性・玉川地区）

- 行政のデジタル化は良いが、スマホを使えない高齢者へのフォローを忘れないでほしい。（30 代 女性・中大塩地区）
- 市役所の職員はもっと笑顔であいさつすべきであり、まずは職員教育を徹底してほしい。（50 代 女性・泉野地区）
- アンケートの設問が多すぎ、関係のない項目ばかりで回答が適当になってしまった。（40 代 男性・金沢地区）
- ビーナチャンネルは不要である。もっと有効な税金の使い方を考えてほしい。（80 代 男性・宮川地区）
- 行政の取組が市民に十分に伝わっていないため、SNS 等を活用し広報を工夫すべきである。（70 代 男性・ちの地区）
- 窓口対応が悪い職員がおり、市民に寄り添う姿勢を見せてほしい。（40 代 男性・玉川地区）
- 市役所に行っても仕事をしていない職員が多く、副市長は不要な給料ドロボウである。（80 代 男性・宮川地区）
- 市の財政状況やアンケートの実施費用を公開し、無駄な経費を削減してほしい。（50 代 女性・宮川地区）
- 広報誌や回覧板のペーパーレス化を早急に進め、効率的な情報伝達を目指すべきである。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 市職員の不正や不適切な人物がいることに不信感を抱いている。（40 代 男性・ちの地区）

2. 心豊かに学び育ち活躍できるまち

2.1 子育て

子育て支援の拡充を求める意見が非常に多く、特に未満児の一時保育枠の不足や、兄弟別々の保育園になる不便さ、屋内の遊び場不足が指摘されています。また、子育て世代への経済的支援のあり方や、将来子供たちが戻ってきたくなるような魅力的な街づくりを求める声が寄せられています。

- 未満児の一時保育枠が 12 枠しかなく、予約開始直後に埋まってしまう現状を改善してほしい。（30 代 女性・中大塩地区）
- 兄弟で別々の保育園になると送迎が困難なため、同じ園に入れるよう優先順位を考慮すべきである。（50 代 女性・湖東地区）
- 0123 広場のような室内遊び場が、より大きな子供向けにも欲しい。（40 代 女性・ちの地区）
- 子育て支援は手厚いが、保育園の給食費負担や物価高による家計への影響は大きい。（30 代 男性・豊平地区）
- 1～3 歳児の母親への支援（預かり等）が他の市町村より遅れていると感じる。（70 代 男性・湖東地区）
- 冬や雨の日でも遊べるボルダリングやアスレチックなどの室内施設を整備してほしい。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 赤ちゃんに苗木をプレゼントし、成長を共に見守るような U ターンに繋がる施策を検討してほしい。（60 代 男性・ちの地区）

2.2 教育

学校教育、学習スペースの確保、学校再編、PTA 活動の負担に関する意見が寄せられています。特に自習できる自由なスペースの不足や、学校再編に対する教育委員会の決断を求める声、また PTA 活動の簡素化や廃止を望む意見が目立ちました。

- 自由に勉強できる自由な学習スペースを市内に増やしてほしい。（10 代　女性・金沢地区、20 代　女性・中大塩地区）
- 小中学校の統廃合は、教育委員会が強い決意を持って議論をまとめ、方向性を示してほしい。（50 代　女性・湖東地区）
- PTA 活動の負担が重く苦痛であるため、廃止を含めた時代に合った再構築を望む。（50 代　女性・玉川地区）
- 学校の支援級において、発達障害に関する専門知識を持つ先生を配置してほしい。（50 代　女性・玉川地区）
- 小中学校のトイレ環境が悪いため、改善してほしい。（50 代　女性・宮川地区）
- 泉野小学校のように全国から児童を受け入れる山村教育など、特色ある教育を推進すべきである。（70 代　男性・泉野地区）
- 中学校の統合により通学距離が長くなりすぎているため、子供の視点で見直してほしい。（70 代　男性・玉川地区）
- 1 クラスの人数を減らし、先生がクラスをまとめやすい環境を整えてほしい。（70 代　女性・湖東地区）

2.3 読書

図書館の利便性や配置、設備の更新に関する意見が寄せられています。複数の図書館を集約して充実させる案や、駅前ビルへの移設、PC 利用環境の整備など、時代のニーズに合わせた図書館運営を求める声があります。

- 図書館を居心地の良い空間にし、PC を使える環境を整えてほしい。（40 代　女性・宮川地区、50 代　男性・玉川地区）
- 複数の図書館を維持するより、1 つに集約して設備を充実させることも検討すべきである。（40 代　女性・米沢地区）
- ベルビアに図書館を移設するなど、駅周辺の活性化に繋がる配置を考えてほしい。（50 代　女性・ちの地区）
- 図書館のトイレを更新し、長居できるような環境を整備してほしい。（50 代　男性・玉川地区）
- 図書館は子育て中も助けられている大切な施設であり、継続してほしい。（40 代　女性・玉川地区）

2.4 生涯学習

学習機会の提供や、高齢者の交流の場に関する意見が見られます。特に「どっこいしょ広場」のような高齢者の居場所の存続や、世代を超えた交流を可能にするプログラムの充実を期待する声が寄せられています。

- 高齢者が気軽に集まり交流できる「どっこいしょ広場」をなくさないでほしい。（70 代　女性・金沢地区）
- 趣味や学びを通じて地域に愛着を持てるプログラムを充実させてほしい。（70 代　女性・ちの地区）
- 高齢者が生きがいを持てるよう、ふれあいの場や居場所を確保してほしい。（70 代　女性・金沢地区）
- 20 代から 30 代前半の若者主体のサークル活動を支援すべきである。（60 代　男性・泉野地区）

2.5 文化・芸術

コンサート会場の整備、音楽・芸術活動の場の拡充に関する意見が寄せられています。茅野市民館の活用方法や、若者から高齢者までが日常的に文化に触れられる機会の創出が望まれています。

- コンサート会場や、楽器・ボーカルのレッスンの場が設けられれば文化的に豊かになる。（20 代　女性・宮川地区）
- 茅野市民館のホールをもっと活用し、各種アーティストを招聘するなどの企画を考えてほしい。（60 代　男性・豊平地区）
- 高齢者が気軽に音楽を楽しめるコンサート会場や居場所が市内に少ない。（70 代　女性・金沢地区）
- 茅野市の文化活動は誇らしいが、より多くの市民が参加しやすい仕組みが必要である。（40 代　女性・中大塩地区）

2.6 文化財

縄文文化の PR 不足や、史跡の保護、歴史教育の重要性に関する意見が挙げられています。国宝を活用した宣伝の強化や、縄文以外の歴史資源（山城や坂本養川の功績等）の観光活用を求める声が寄せられています。

- 国宝 2 点を含む縄文文化をもっと多くの人に知らせるための宣伝を強化してほしい。（年齢無回答　性別無回答・地区無回答）
- 縄文だけでなく、市内に残る山城や坂本養川、滝之湯堰なども観光資源として整備すべきである。（70 代　男性・豊平地区、70 代　男性・北山地区）
- 土地の歴史や物語を知ることはシビックプライドの醸成につながるため、学びの機会を作ってほしい。（70 代　女性・ちの地区）
- 古墳文化や遺跡保全を、未来の世代へしっかりと継承してほしい。（50 代　女性・玉川地区）

2.7 スポーツ

スケートリンクの存続、運動公園の整備、スポーツ大会への支援に関する意見が目立ちます。特に茅野市の誇りであるスケートリンクの維持を求める声は非常に強く、多角的な視点での検討（スポンサー探し等）が提案されています。

- 小平奈緒選手を育んだスケートリンクは茅野市の誇りであり、何とかして存続させてほしい。（40 代　女性・米沢地区）
- 運動公園に軽食がとれるフードコーナーを設置するなど、賑わいを取り戻す工夫をしてほしい。（40 代　女性・米沢地区）
- スケートリンクだけでなく、プールがなくなってしまったことも残念である。（40 代　女性・玉川地区）
- スポーツ公園の案内板の修繕や、ハチ対策を徹底し、安心して遊べるようにしてほしい。（40 代　男性・玉川地区、70 代　男性・ちの地区）
- サッカーや他の競技の練習・試合ができる会場が不足しているため、設備の充実を求める。（40 代　男性・宮川地区）
- スケートセンターの存続は、財産区の協力やスポンサー探しなど、知恵を絞って検討すべきである。（50 代　その他・答えたくない・豊平地区）

- スケート場や陸上競技場を県営施設として管理してもらう方向を検討すべきである。（80 代 女性・宮川地区）

2.8 共生社会

多様性の尊重、男女共同参画、外国人との共生に関する意見が寄せられています。外国人居住者に対するマナー指導の徹底や、誰もが尊重し合えるコミュニティ形成を求める声のほか、支援の優先順位に関する意見も含まれています。

- 外国人居住者との共生に向け、マナー指導やスクラップ業者への規制を強化してほしい。（70 代 男性・宮川地区）
- 女性が活躍しやすい雰囲気づくりや、働き方の多様性を認める社会を目指してほしい。（50 代 女性・湖東地区）
- 外国人への補助金は慎重に検討し、日本人の学生や住民を優先してほしい。（20 代 女性・宮川地区）
- 多様な価値観を持つ人々が、お互いを尊重し合えるコミュニティの形成を推進すべきである。（70 代 男性・豊平地区）

3. 活力と魅力があふれる稼げるまち

3.1 農林業

一次産業の PR、森林整備、農地維持に関する意見が挙げられています。特に「蓼科野菜」のブランド化や、相続した山の管理、農地を潰して工場を建てることへの反対意見、地産地消を促進するための販売拠点の維持が求められています。

- 蓼科野菜などの農産物や、一次産業を担う人々にスポットを当てた PR を推進してほしい。（20 代 女性・湖東地区）
- 相続した山の管理が個人では困難なため、市として適切な対応や支援を検討してほしい。（50 代 女性・ちの地区）
- 農地を潰して巨大な工場を建てることには反対であり、農業を守る姿勢を明確にしてほしい。（60 代 男性・北山地区）
- 野菜を気軽に購入できる無人販売所や直売所を増やしてほしい。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 構造改善を行った農地の住宅化など、長期的な視点での農地活用を検討してほしい。（60 代 男性・泉野地区）
- 糸萱カボチャをさらにブランド化して全国に PR すべきである。（70 代 男性・北山地区）

3.2 商工業

地元企業の活性化、賃金水準の向上、起業支援に関する意見が寄せられています。若者が定着できるよう、魅力的な企業の誘致と発信を強化し、市民が豊かになれる経済循環を求める声があります。

- 若者が茅野市で働きたいと思えるような、魅力的な企業の誘致と発信を強化してほしい。（50 代 女性・玉川地区）

- 賃金が低く生活に余裕がないため、市民が豊かになれるような大改革を行ってほしい。（40 代 女性・米沢地区）
- 市内企業の技術力や魅力を、若者や理科大生にもっとアピールして定着を促すべきである。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 地元の小さなお店が集まるような場所を設け、商業の活性化を図ってほしい。（40 代 男性・宮川地区）

3.3 観光

蓼科・白樺湖周辺の活性化、インバウンド対策、観光資源の磨き上げに関する意見が寄せられています。自然環境を生かした「コト消費」の推進や、アクセス強化、住民生活との調和が課題として挙げられています。

- 豊かな自然を生かしたアクティビティや「コト消費」に力を入れ、ワクワクするまちづくりをしてほしい。（60 代 男性・豊平地区）
- インバウンド観光客の誘致よりも、自然環境の保全や登山道の安全整備（標識等）を優先すべきである。（70 代 男性・北山地区）
- 蓼科や白樺湖周辺の空き店舗を活用したカフェや郷土料理店を、民間と協力して展開すべきである。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 登山電車や馬車など、八ヶ岳へのアクセスを個性的に強化するアイデアを検討してほしい。（70 代 男性・北山地区）
- 八ヶ岳を北杜市に取られないよう、さらなるアピールが必要である。（60 代 男性・ちの地区）

3.4 雇用、人材育成、起業・創業

若者の就労支援、市内企業の魅力発信、人材確保に関する意見が述べられています。東京理科大学の学生が市内に残れる環境づくりや、介護従事者などの専門人材の待遇改善を求める声があります。

- 若者が何か面白いことに挑戦し、同世代と出会えるような環境を町全体で応援してほしい。（50 代 女性・湖東地区）
- 東京理科大学の学生が茅野市に残れるよう、魅力ある産業や会社の誘致を行ってほしい。（50 代 その他・答えたくない・豊平地区）
- 介護従事者の不足が深刻であり、スタッフの待遇面も含めた支援が必要である。（50 代 女性・玉川地区、40 代 女性・玉川地区）
- 若者の就労対策として、さらなる大企業の誘致を積極的に推進してほしい。（60 代 男性・宮川地区）

3.5 シティプロモーション・広聴

魅力発信、アンケートの実施、市民の声の聞き取りに関する意見が寄せられています。SNS を活用した広報の強化や、アンケート結果の市政への反映、市長が直接市民の声を聞く機会の創出を求める声があります。

- 市の取組が伝わっていないため、Instagram などの SNS をもっと活用してほしい。（40 代 女性・ちの地区）
- アンケートの結果がどのように市政に反映されたのか、見える形で表現してほしい。（50 代 女性・宮川地区）

- 市長が市民の声をもっと直接聞くための座談会などを増やしてほしい。（50 代　女性・宮川地区）
- ヒントになった市民の意見などを紹介し、参加している実感を持たせてほしい。（60 代　女性・宮川地区）

3.6 交流人口・関係人口、移住・定住

移住者への優遇に対する既存住民の不満や、移住者のフォローアップに関する意見が見られます。新規住民と既存住民の公平な支援バランスや、移住者が地域のルールを理解するための情報提供が求められています。

- 移住者ばかりを優遇しているように見えるため、長年住んでいる住民のための支援も充実させてほしい。（60 代　女性・宮川地区）
- 移住者が地域のルールや区の仕組みを理解できるよう、丁寧な情報提供を行ってほしい。（30 代　女性・宮川地区）
- 二拠点居住や別荘地定住者への広報誌配布など、情報伝達を改善してほしい。（70 代　男性・別荘地区）
- 移住してきた若者が地域に馴染めるよう、コミュニティの開放性を高める取組が必要である。（50 代　女性・湖東地区）

3.7 中心市街地

JR 茅野駅周辺の活性化、駅ビル「ベルビア」の活用、商店街の賑わい再生に関する意見が寄せられています。駅周辺の再開発や魅力的な店舗誘致、歩行者が楽しめる道路整備を望む声が多くあります。

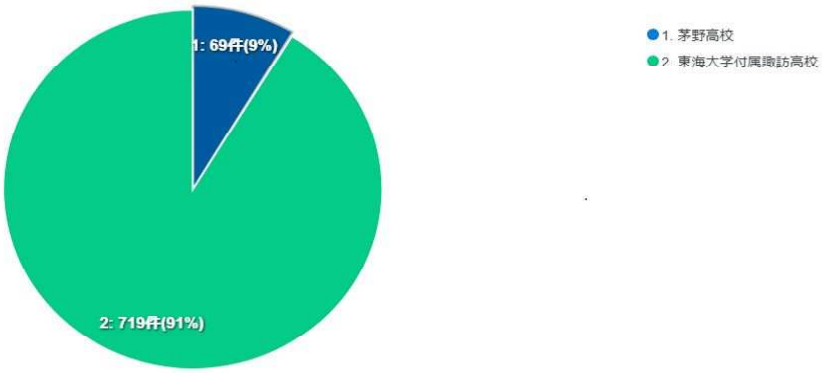
- 茅野駅周辺や駅ビルに魅力的な店舗が少なく活気がないため、再開発を強く望む。（40 代　女性・ちの地区）
- 駅から市役所までの道路整備だけでなく、歩行者が楽しめる店舗を増やしてほしい。（70 代　男性・宮川地区）
- ベルビアを中心としたイベントを開催し、中心市街地への人の流れを創出してほしい。（70 代　女性・米沢地区）
- 駅周辺の空き店舗を利用し、若い人の感覚を取り入れた新しい集いの場を作ってほしい。（年齢無回答　女性・玉川地区）
- 駅ビルのワーキングスペースなどは評価できるため、さらに地元住民もリピートしたくなる商業施設を検討すべきである。（50 代　女性・ちの地区）
- 電柱の地中化など、駅周辺の景観を向上させる取組を進めてほしい。（70 代　男性・北山地区）

令和７年度茅野市高校生アンケート　集計結果

調査期間　：令和７年１月15日から２月28日まで
調査対象者：市内高校の在学生（茅野高校、東海大学付属諏訪高校）
調査人数　：1,011名
回答者数　：788名（回答率77.9%）

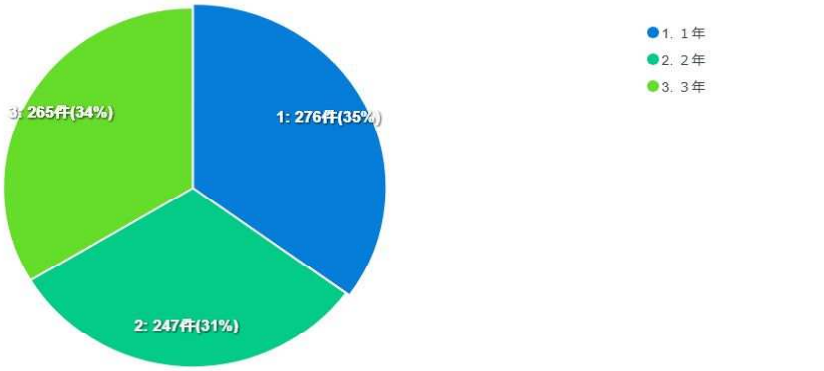
1　あなたの学校名を教えてください。（1つ選択）

茅野高校：69名	東海大学付属諏訪高校：719名



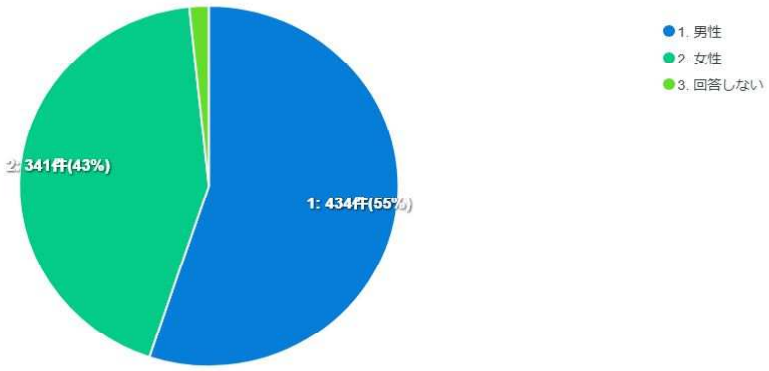
2　あなたの学年を教えてください。（1つ選択）

１年：276名	２年：247名	３年：265名



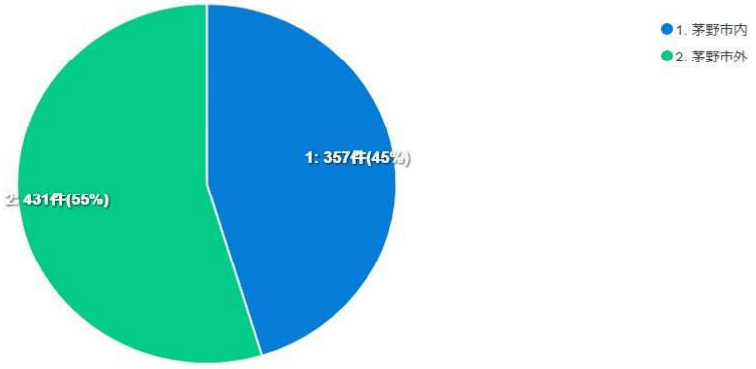
3　あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

男性：434名	女性：341名	回答しない：13名



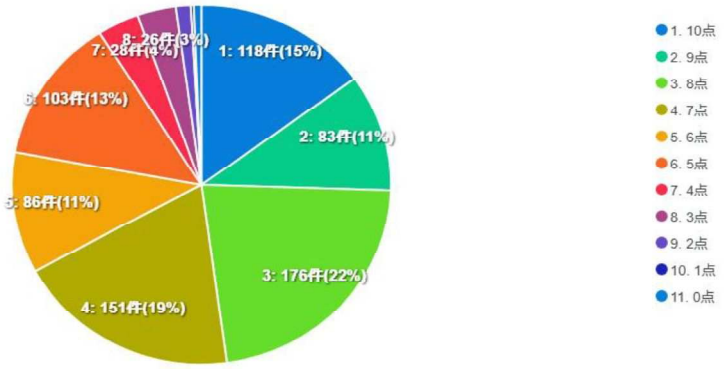
4　あなたのお住まいを教えてください。（１つ選択）

茅野市内：357名	茅野市外：431名



5　あなたの現在の幸福感について、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、最も近い感覚の数字を選んでください。（1つ選択）　※ 真ん中の５点を幸せでも不幸でもない状態と考えます。

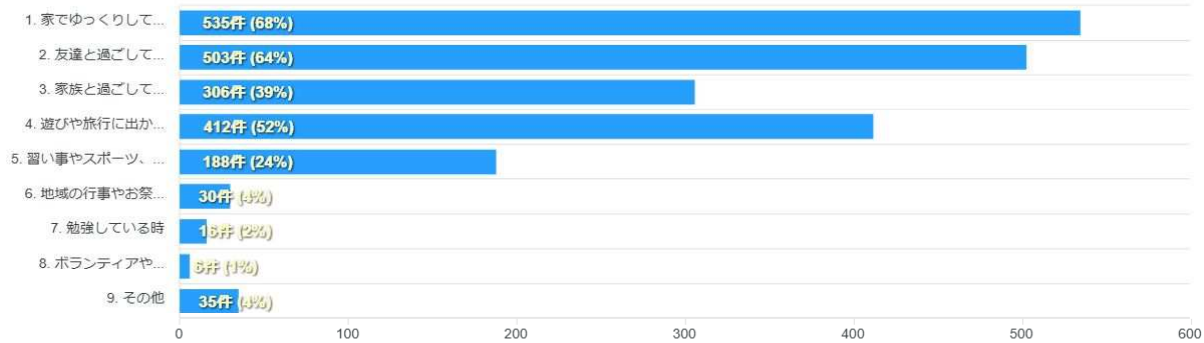
６点以上の「私は幸せ」と考えている人が約８割となり、多くの高校生が幸福感を感じながら過ごしています。



6　あなたが毎日のくらしに幸せを感じる時は、どのような時ですか。（3つまで選択可）

（1. 家でゆっくりしているとき　2. 友達と過ごしているとき　3. 家族と過ごしているとき　4. 遊びや旅行に出かけるとき
5. 習い事やスポーツ、部活動をしているとき　6. 買い物や食事に出かけるとき　7. 地域の行事やお祭りに参加しているとき
8. 勉強しているとき　9. ボランティアや社会貢献活動をしているとき　10. その他）

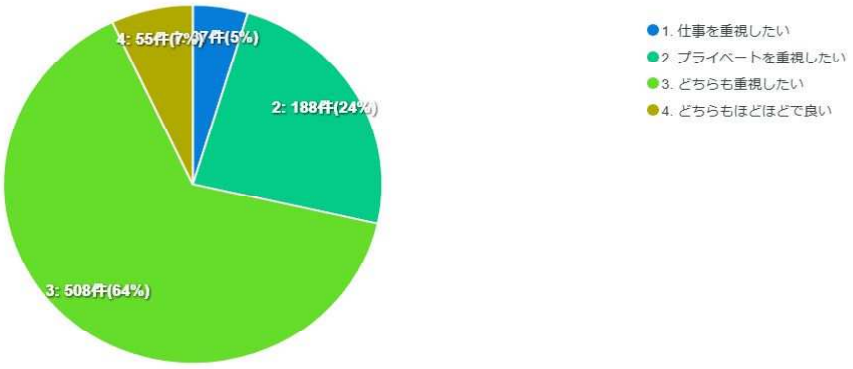
家でゆっくりしたり、友達や家族と過ごしているときに幸せを感じている人が多くいました。一方、遊びや旅行に出かけたり、習い事やスポーツ、部活動をするなど、アクティブな過ごし方も幸せを感じている人が多い結果となりました。



（その他）趣味をやっている時（複数回答）、 ゲームをやっている時（複数回答）、 YouTube視聴時、 音楽を聴いている時、バスケットボールなどのスポーツをしている時、 見たいTV番組が放送されている時、恋人と過ごす時間、大切な人・好きな人と過ごしている時（複数回答）、 遠距離の彼女との電話やLINE、学校にいる時、寝ている時（複数回答）、ご飯を食べている時（複数回答）、自由を感じる時、やりたいことをしている時、 何気ない日常がうまくいっていると感じられる時、 生きてると実感している時、帰省した時　他

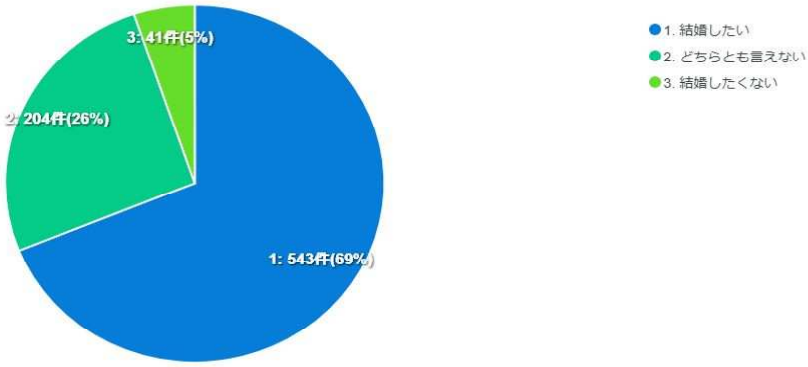
7　あなたは将来、仕事とプライベートのどちらを重視した生活を送りたいと思いますか。（1つ選択）

仕事もプライベートも、どちらも重視したいという人が６割を超えました。どちらかと言うと、仕事よりプライベートの方を重視したい人が多いようです。



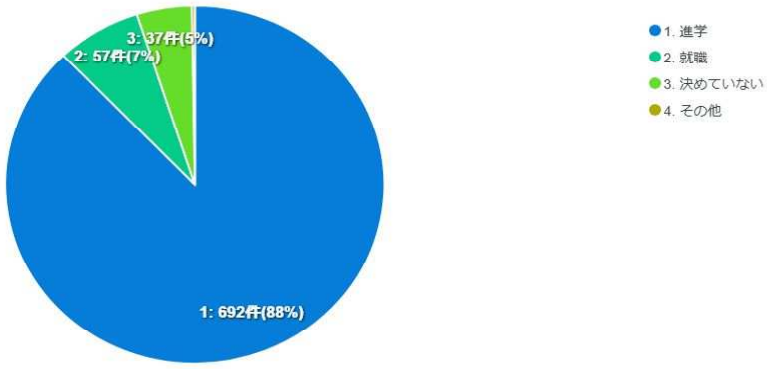
8　あなたは将来、結婚したいと思いますか。（1つ選択）

結婚したいと考えている人が約７割となり、結婚を肯定的にとらえている人が多くいました。



9　あなたは高校卒業後、どのような進路を希望していますか。（1つ選択）

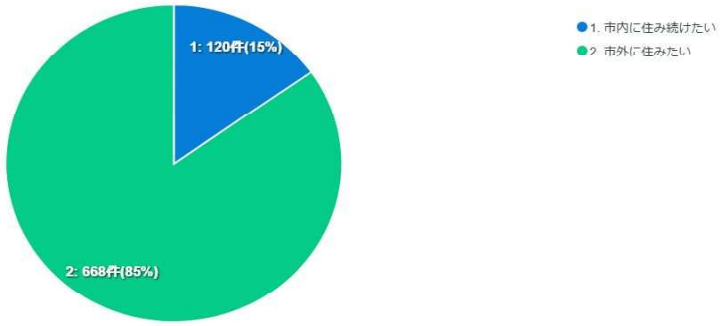
約９割の人が進学を希望しています。すでに就職を希望することを決めている人も、60名近くいました。



（その他）アルバイト

10　進学・就職等に伴い、希望する住まいはどちらですか。

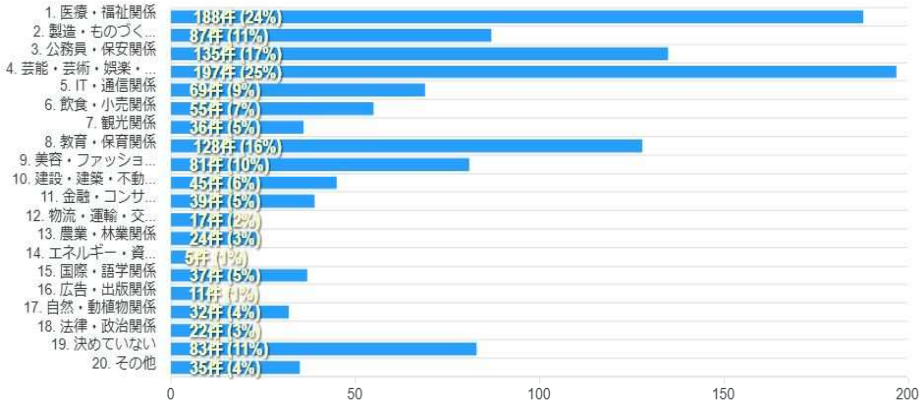
進学・就職等に伴い、市外に住みたい人が85%と多くいました。一方、15%の人は高校卒業後も市内に住みたいと回答しています。



11　あなたは将来どのような職業に就きたいですか。（3つまで選択可）

1. 医療・福祉関係　2. 製造・ものづくり関係　3. 公務員・保安関係　4. 芸能・芸術・娯楽・スポーツ関係
5. IT・通信関係　6.飲食・小売関係　7. 観光関係　8.教育・保育関係　9. 美容・ファッション関係　10. 建設・建築・不動産関係
11. 金融・コンサル関係　12. 物流・運輸・交通関係　13. 農業・林業関係　14. エネルギー・資源関係　15. 国際・語学関係
16. 広告・出版関係　17. 自然・動植物関係　18. 法律・政治関係　19. その他　20. 決めていない

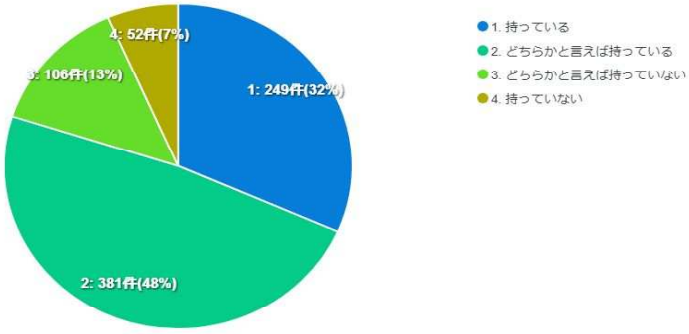
「芸能・芸術・娯楽・スポーツ関係」「医療・福祉関係」を選ぶ人が最も多くいました。「公務員・保安関係」「教育・保育関係」が次に多く、「製造・ものづくり関係」「美容・ファッション関係」も人気です。



（その他）アニメクリエイター、映像関係、インテリア関係、パソコン1台でできる仕事、科学者、ホテルスタッフ（複数回答）、ブライダル関係（複数回答）、テーマパークダンサー、イベント関係、ペット系、製菓、自動車整備（複数回答）、船長、栄養士・管理栄養士（複数回答）、心理学、葬祭業、経営者、マネージャー、音楽関係（複数回答）

12　あなたは、お住まいの地域に愛着や誇りを持っていますか。（1つ選択）

「持っている」「どちらかと言えば持っている」人が約８割となり、多くの人が住んでいる地域へ愛着や誇りを感じていることが分かりました。



13　あなたは将来、茅野市に住みたいと思いますか。（１つ選択）

※進学などで一度は市外へ出ても、将来的に茅野市へ戻ってきたいと考えている場合には、「住みたい」または「どちらかといえば住みたい」を選択してください。

住みたい又はどちらかといえば住みたい人が約２割、住みたくない又はどちらかといえば住みたくない人が約半数となりました。



14　Q13でその選択肢を選んだ理由を教えてください。

茅野市に住みたい理由としては、自然環境の豊かさや住み慣れた安心感が挙げられました。一方、住みたくない理由としては、交通インフラの不便さや娯楽施設の少なさなどが挙げられました。

●「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の理由

- **自然・環境：** 自然豊か（山・空気・星・水）、静かで落ち着く、空気が綺麗、雰囲気が良い（複数回答）
- **住みやすさ・安心感：** 住み慣れている、安心感がある、居心地が良い、住民が温かい、生活に大きな不便がない（複数回答）
- **慣れ親しんだ地元・実家：** 地元である、生まれ育った場所、実家がある、親や家族が近くにいる、地元の友達が多い（複数回答）
- **特定の就職希望・活動：** 諏訪地域の精密機械企業への就職、中央病院での看護師、母校（東海大諏訪）での教員
- **その他：** チェーン店が多いから、充実した寮生活

●「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」の理由

- **不便さ（店舗・娯楽）：** 店が少ない、遊べる場所がない、娯楽・商業施設がない、ショッピングモールがない（複数回答）
- **交通インフラ：** 車がないと不便（車社会）、電車の本数が少ない、駅まで遠い、バスが通っていない、坂道が多い（複数回答）
- **気候・環境：** 冬の寒さが厳しい（複数回答）、雪が多い、路面の凍結、紫外線が強い
- **治安・安全：** 治安が良くない、駅周辺の治安、変な人が多い（複数回答）、夜道が暗い
- **都会志向・市外移住：** 都会に住みたい（東京、関東、関西）、県外・海外へ出たい、地元（市外・県外）に帰りたい（複数回答）
- **魅力・愛着の欠如：** 魅力がない、面白みがない、住む理由がない、街が古い、汚い（複数回答）
- **道路状況：** 自転車専用道路が少ない。道が悪く、通学中に自転車がパンクする
- **インフラ：** インターネット環境（ネットワーク）が弱い
- **公共料金：** 室内スポーツ施設の利用料金が高い

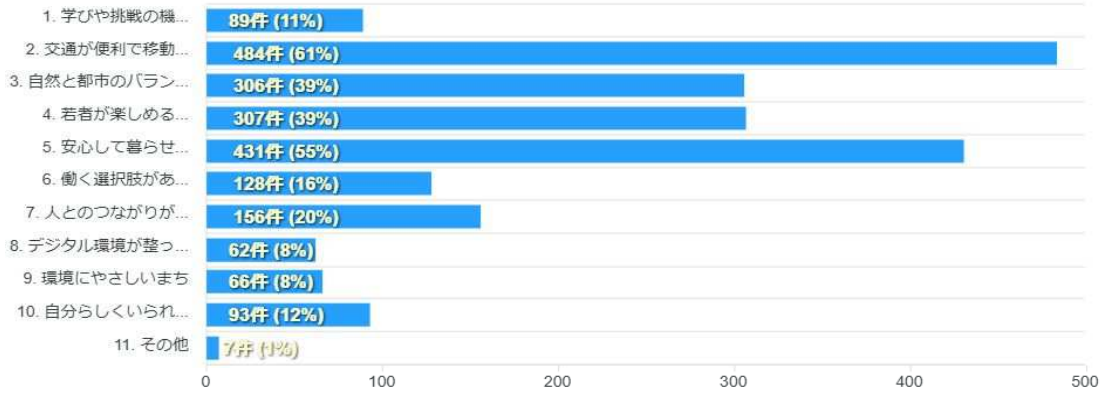
●「どちらとも言えない」の理由

- **将来の不透明さ：** 将来が決まっていない、進学や就職先次第、どこに勤務するか不明（複数回答）
- **中立的評価：** 良い面と悪い面の両方がある、住みたくないわけではないが他も見てみたい（複数回答）
- **地元意識の不在：** 市外から通学・入寮しているため茅野市を詳しく知らない、元の地元の方が落ち着く（複数回答）

15　あなたの理想とする「住みたいまち」のイメージはどれですか。（３つ選択）

1. 学びや挑戦の機会があるまち　2. 交通が便利で移動しやすいまち　3. 自然と都市のバランスが良いまち
4. 若者が楽しめるスポットがあるまち　5. 安心して暮らせるまち　6. 働く選択肢があるまち
7. 人とのつながりが心地よいまち　8. デジタル環境が整ったまち　9. 環境にやさしいまち
10. 自分らしくいられるまち　11. その他

「交通が便利で移動しやすいまち」を選んだ人が最も多く、次に「安心して暮らせるまち」が選ばれました。「自然と都市のバランスが良いまち」「若者が楽しめるスポットがあるまち」を選んだ人も多くいました。

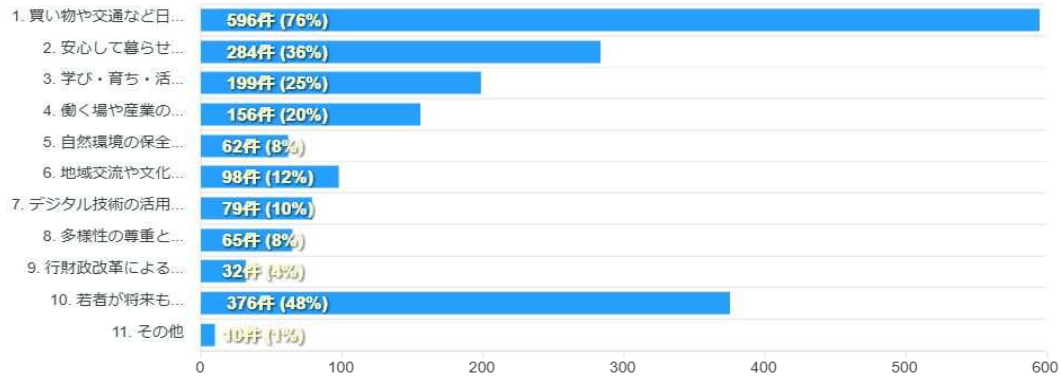


（その他）お店がいっぱいあるまち、気温が暖かいまち、医療費の助成（高校生までの医療費免除）があるまち、治安が良いまち、自衛隊基地があるまち

16　茅野市があなたにとって将来（これから）も「住みたいまち」になるために、特に必要だと思う市の取組はどれですか。（3つ選択）

1. 買い物や交通など日常生活の利便性向上 （公共交通の充実、商業施設の利便性アップ
2. 安心して暮らせる環境づくり （医療体制、防災・安全対策、福祉サービスの充実）
3. 学び・育ち・活躍できる環境の整備 （教育の充実、部活動や文化活動の支援、若者の挑戦機会
4. 働く場や産業の魅力向上 （地元企業の活性化、起業支援、観光・農業・ITなど多様な仕事の創出）
5. 自然環境の保全と活用 （八ヶ岳や縄文文化を活かしたまちづくり、環境保護、ゼロカーボンの推進）
6. 地域交流や文化活動の推進 （祭りやイベント、世代間交流、地域活動への参加機会）
7. デジタル技術の活用（DX）による便利な暮らし （電子申請、オンラインサービス、ICT教育）
8. 多様性の尊重と誰もが暮らしやすいまち （ジェンダー平等、障がい者支援、外国人との共生）
9. 行財政改革による持続可能なまちづくり （効率的な行政運営、住民参加型の政策づくり）
10. 若者が将来も住み続けたいと思える魅力づくり （住宅支援、子育て環境、娯楽や交流拠点の充実）

「買い物や交通など日常生活の利便性向上 （公共交通の充実、商業施設の利便性アップ）」を選んだ人が圧倒的に多い結果になりました。次いで、「若者が将来も住み続けたいと思える魅力づくり （住宅支援、子育て環境、娯楽や交流拠点の充実）」も多くに人に選ばれました。



（その他）子どもたちへの人生教育、ネットワークの改善、茅野駅付近の治安の改善、茅野駅から徒歩圏内のカラオケセンター・ゲームセンター、茅野駅周辺以外での一人でゆっくり過ごせる場所、都会化、道路の整備、遊ぶ場所

17　今後の茅野市がもっと住みやすく、より良いまちになるためのアイデアや意見があれば、ぜひ教えてください。

高校生ならではのアイデアや意見を、様々な角度から、２００以上もお寄せいただきました。日々茅野市で生活する中での具体的な気づきを、市のまちづくりに生かしていきます。　※同じ内容の回答はまとめた上で掲載しています。

●　商業施設・娯楽に関するアイデア

・アウトレットのような買い物できる大型ショッピング施設があれば県外からも人が来ると思う
・イオンとベルビアの中間的な存在のものを作れば、買い物は済ませれるようになり、人が落ち着ける場所が作られると思う
・今のベルビアの素敵なお店の空間をこれからも残してほしい
・お店とか1箇所にまとまってそこまで行くのに大変だからもっと色んなお店ふやしてほしい
・駅前はだいぶお店などが多いけど、駅から離れるほど店などが無くなっていくのは不便。店舗が混雑するから、1箇所に固めずに色々なところにスーパーやコンビニを作ったほうがいい
・同じようなお店しかないから、代わり映えのあるお店を建てた方がいいと思う
・空き家や古い建物の中に新しいお店を出店する。商店街をリフォームしたりリメイクしたらもっと若者も楽しめると思います
・ショッピングモールとか作ってほしい
・カラオケいっぱい作る。ダーツもビリヤードも
・安くてうまい飯屋つくる
・コンビニを多くしたり遊べる場所を多くすること
・遊べる場所少なすぎ
・娯楽施設が少ない増やしてほしい。ROUND1やテーマパークなど。
・駅前にチェーン店のお店を増やす

●　交通・移動の利便性に関するアイデア

・のらざあの運転手の態度がものすごくひどい。改善しないとあれは必要ない
・交通が少なくて市内市外移動が大変。のらざあを増やしてほしい。もしくはバスを増やしてほしい
・電車が1時間に1本くらいなので、いつか1時間に3本くらい通ったら便利だと思った
・バスとかもあまり出てないと思うので出してもらえると嬉しい。バスの本数と通る場所を増やしてほしい。
・車を運転できればいい町だと思うけど子どもはできないから移動が大変
・電車の本数を増やす。タクシーの通る範囲を広げる
・もっと移動がしやすいようにする！都会化する
・公共交通機関やタクシーなどの本数の増加。そうすることで関東などから来た雪道に慣れていない人や車を持っていない人でも住みたいと思う人が増えると思う

●　インフラ・道路・治安に関するアイデア

・しっかりした医療機関をつくる
・罰金も発生するため自転車は交通ルール上、車道を走らないとなんです。そこで道路が狭いと自転車側も車側も接触しないよう速度を落として走行しますので、渋滞が発生しやすくなったり、事故が発生しやすくなる
・学生のためにも、自転車専用道路を作ってほしい。交通ルール上自転車は車道を走らないといけないが、車道が狭い。車道を広げるなり、自転車専用道路を作ってほしい。
・公園がほしい
・変な奴が茅野駅とかでうろついてるから他の市の人たちからも治安が悪いとよく言われる
・治安を良くして欲しい普通に最近やばい人しかいない
・夜間パトロールをしてほしい
・道路の凍結をどうにかする。雪が降って凍った時、とても滑るので対策をしたらいい
・東口駅前が暗いから明るくしてほしい
・横断歩道がない場所があり通学の時困るから、横断歩道を増やした方が良い
・T字路などにミラーを設置してほしい
・ソーラーパネルを増やしすぎ。自然を壊すな
・空き家とか昔の商店街をリフォームしたりリメイクしたらもっと若者も楽しめる
・テーマパークの設立。廃墟の取り壊し。もうやってない店を立ち退かせる

●　学習・居場所・若者支援に関するアイデア

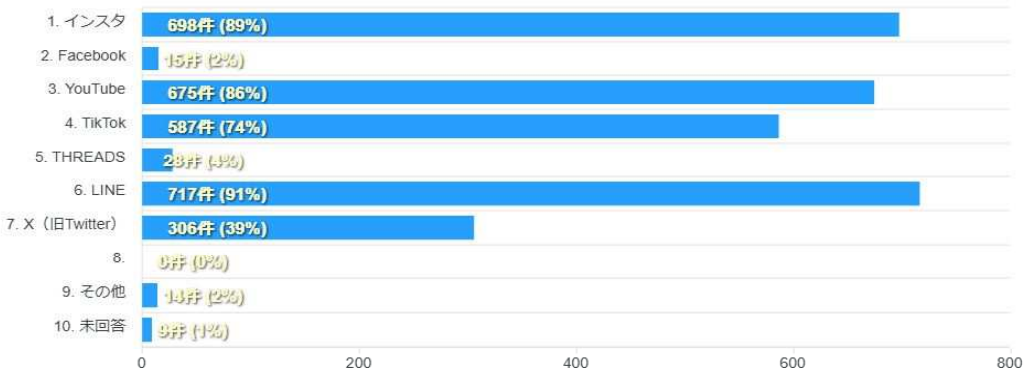
・若者が学習できたり、楽しく遊べたり暇つぶしができる場所を作ってほしい！！
・学生が遅くまで勉強できる場所が欲しい
・茅野駅周辺だけじゃなくて、いろんなところに勉強が出来るスペースが欲しい
・楽しめる場所、学校付近に寄り道できる場所をつくる
・体育館に暖房をつける
・地元企業の活性化をして地元枠で社員をとる
・茅野市に大企業を置く。将来住みたいと思う人が増えると思う
・中高生がもっと利用しやすい施設を作るべき
・習い事（例えばダンス教室とか）をできるところが茅野駅から離れているところだったりする
・子育ての支援に力を入れて欲しい

●　まちの魅力発信・その他全般的な意見

・いじめや、悪口が無くなるような平和な生活を暮らせるような地域になってほしい。そのためには、茅野市内と茅野市外の学校全体に話す事が大事だと思う
・市民の声を聞いてください
・若者や高齢者など多くに世代が楽しめるところをつくる。交流の場を増やした方がよい
・茅野市の自然の魅力をもっと伝える。自然豊かな街を保っていく
・デジタル技術を活用すれば良いと思う
・高齢者に配慮したまちづくり。例えば、スーパーなどを一箇所にまとめず、各地に散らばせて移動が負担にならないようにする
・茅野市の山の方にもスーパーなどがあればいい
・今のままでもいいと思う。バランスが大切。
・障害者に優しいまちづくりをしていくべき。福祉サービスを手厚くする

18　あなたが普段利用するSNSは何ですか。（当てはまるものすべて選択）

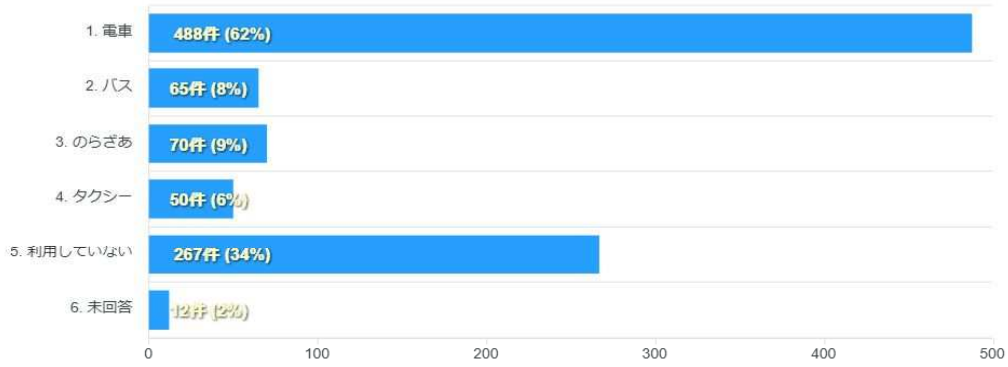
インスタ、YouTube、TikTok、LINE、Xなど、様々なSNSが非常に多くの高校生の皆さんに利用されています。



（その他）BeReal（複数回答）、Discord、Reddit、Weverse （複数回答）

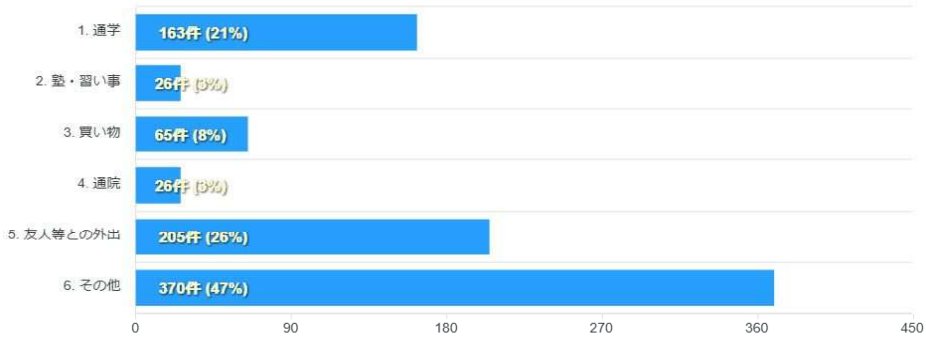
19　あなたが普段利用する公共交通は何ですか。（当てはまるものすべて選択）

電車が最も多くの人に利用され、公共交通を利用していない人も約３割いました。バスやのらざあ、タクシーも一定数の人に利用されています。



20　のらざあを利用したことがある方にお聞きします。主にどのような理由で利用しますか。（当てはまるものすべて選択）

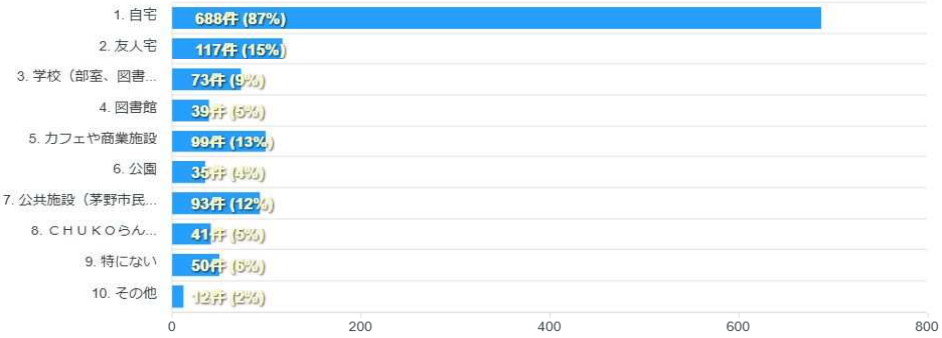
通学や友人等との外出に多く利用されている他、その他が最も多く、様々な場面で日常的に利用されています。



（その他）部活（遠征時のキャリーケース等の重い荷物運搬を含む）（複数回答）、アルバイト先への移動、職業体験、企業見学、面接、駅までの移動（帰省時等を含む）、タクシー代わり、雨天時の利用、徒歩では遠いと感じる時の利用、通院（病院）、祖母の家への訪問、遊び

21　放課後や休日に、安心して過ごせる場所はありますか。ある場合は、どこですか。（当てはまるものすべて選択）

放課後や休日は、自宅で過ごす人が最も安心感を感じていました。友人宅やカフェ・商業施設、公共施設など様々な場所が利用されています。

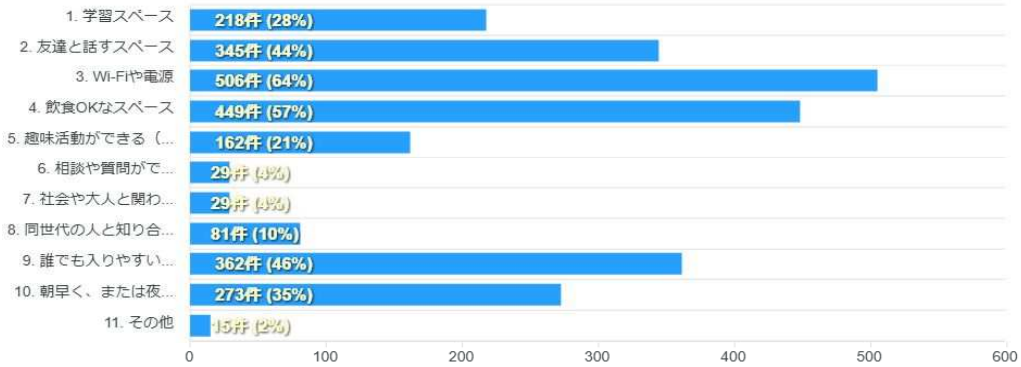


（その他）寮（複数回答）、塾（複数回答あり）

22　放課後や休日の居場所に、どんなものがあれば過ごしやすくなりますか。（当てはまるものすべて選択）

1. 学習スペース　2. 友達と話すスペース　3. Wi-Fiや電源　4. 飲食OKなスペース
5. 趣味活動ができる（ダンスやバンドの練習ができるスタジオなど）　6. 相談や質問ができるスタッフ
7. 社会や大人と関わる機会　8. 同世代の人と知り合う機会　9. 誰でも入りやすい雰囲気
10. 朝早く、または夜遅くまで開いている　11. その他

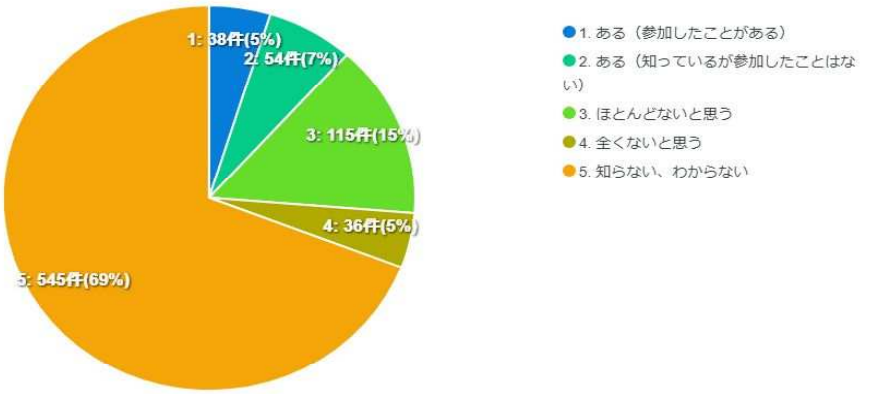
Wi-Fiや電源が必要と考える人が最も多く、次に、飲食OKなスペース、誰でも入りやすい雰囲気、友達と話すスペースがあると過ごしやすいと考える人が多い結果になりました。



（その他）イオン、ショッピングモール（複数回答）、ラウンドワン、カラオケ、漫画喫茶、体育館、遊べる場所（公園以外の遊び場）、トイレの確保

23　茅野市には、高校生が意見を言いやすい場や意見を言う機会があると思いますか。（１つ選択）

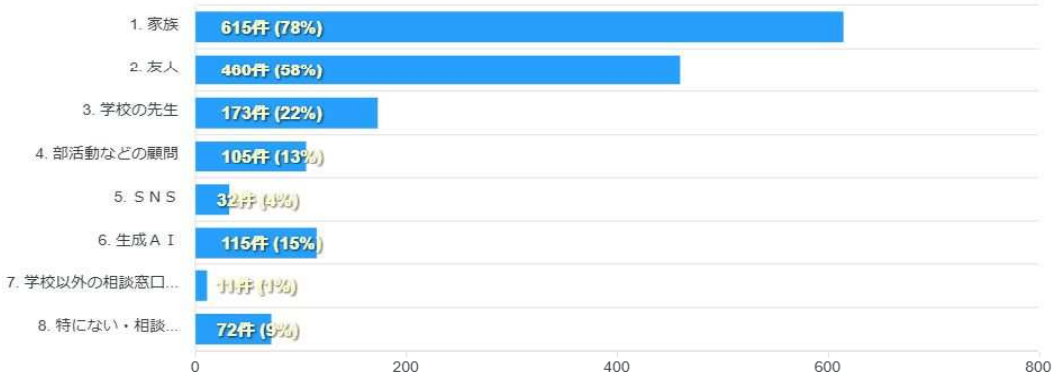
高校生が意見を言いやすい場や意見を言う機会があるかどうか知らない、わからないと答えた人が約７割となりました。一方、「ある」と答えた人は約１割に留まりました。



24　困った時に相談できる大人はいますか。いる場合は、誰ですか。（当てはまるものすべて選択）

〔1. 家族　2. 友人　3. 学校の先生　4. 部活動などの顧問　5. ＳＮＳ　6. 生成ＡＩ
7. 学校以外の相談窓口（市や県の相談窓口など）　8. 特にない・相談しない〕

約８割の人が家族に相談できると答えました。次いで、友人を選んだ人が約６割と多くいました。生成AIに相談している人も一定数いました。



25　相談しやすい窓口に必要だと思う要素は何ですか。（当てはまるものすべて選択）

〔1. 匿名性　2. SNSで相談できる　3. 夜間や休日も相談できる　4. 相談員の年齢が近い
5. 話しやすい雰囲気（服装や話し方など）　6. 相談場所に行きやすい　7. 何が相談できるかわかりやすい　8. 特にない〕

相談しやすい窓口には、「匿名性」と「話しやすい雰囲気」が必要と考える人が多くいました。

